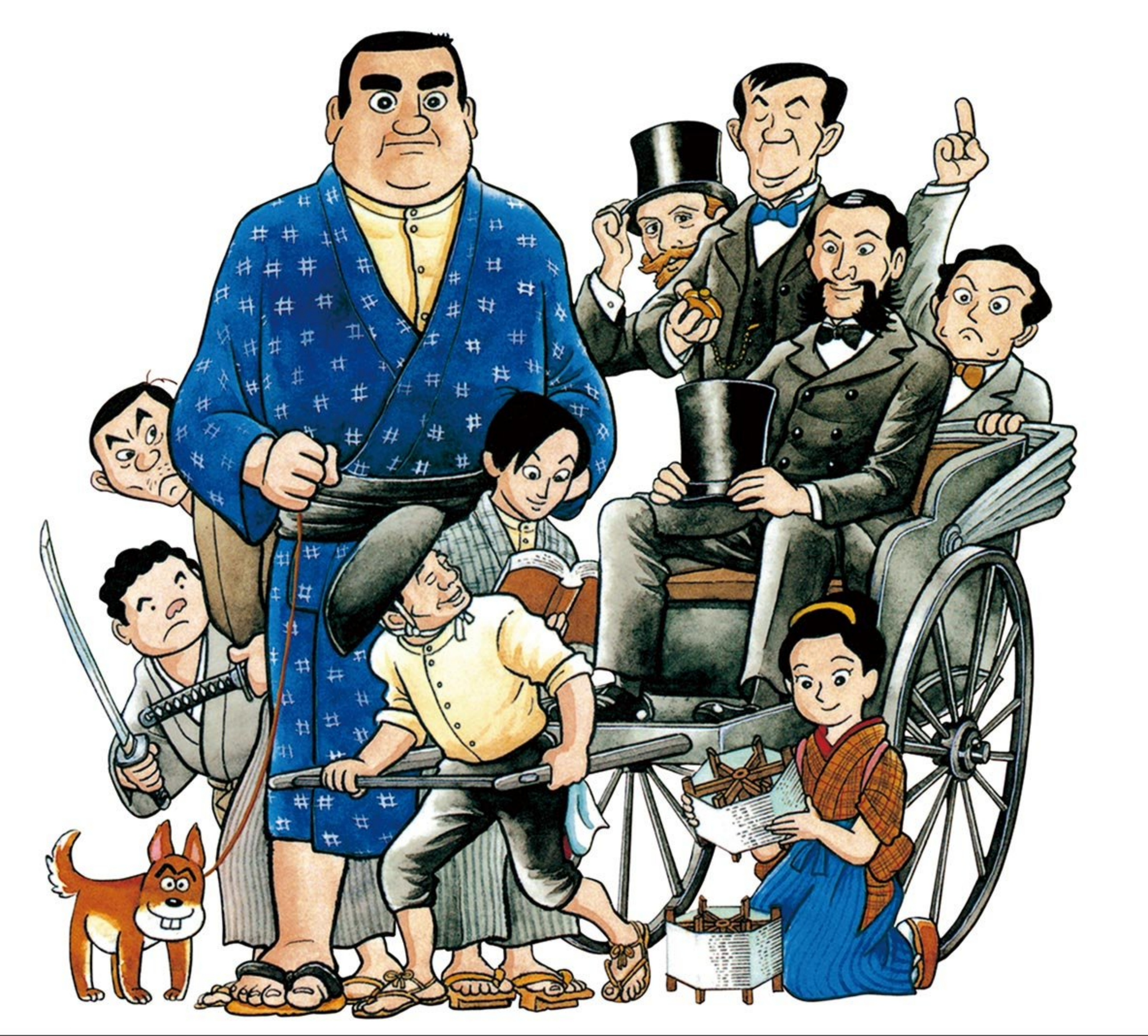
小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

監修/児玉幸多 学習院大学名誉教授

17 明治維新 ●明治時代前期

決定版



●まんが

あおむら　純

1941年、山口県に生まれる。アニメーションの作画などをへて現在にいたる。歴史まんがの分野で大活やくし、少年少女のファンも多い。

17巻にご協力いただいた方がた

●監修
児玉幸多（学習院大学名誉教授）

●まんが
あおむら純
●シナリオ
田村貞雄（静岡大学名誉教授）
たいらまさお
西原和海
●考証
石井謙治（日本海事史学会名誉会長）
萱野　茂（平取アイヌ文化保存会会長）
小泉和子（生活史研究所代表）
佐々木利和（東京国立博物館文部技官）
鈴木友也（日本美術刀剣保存協会専務理事）
高田倭男（高田装束研究所所長）
玉井哲雄（千葉大学名誉教授）

●指導（教育現場の立場から）
高山博之（京都教育大学名誉教授）

●指導・執筆・協力
今井幹夫（富岡市史編さん室室長）
大塚　力（戸板女子短期大学教授）
岡田威夫（共立女子高校）
小此木エツ子（東京農工大学工学部）
萱野　茂（平取アイヌ文化保存会会長）
北根　豊（東京大学明治新聞雑誌文庫）
田村貞雄（静岡大学名誉教授）
森　杉夫（元大阪経済大学教授）
高橋千劔破

●取材協力
鹿児島県立図書館　ガスミュージアム　片倉工業富岡工場　神奈川県立博物館　慶應義塾大学　慶應義塾福澤研究センター　鉄道博物館　国立国会図書館　西郷南洲顕彰館　サッポロビール史料館　重要文化財旧開智学校　関ヶ原町歴史民俗資料館　伊達市開拓記念館　逓信総合博物館　東京都江戸東京博物館　東京都埋蔵文化財センター　東京大学明治新聞雑誌文庫　長崎県立美術博物館　二風谷アイヌ文化博物館　野々上慶一　博物館明治村　マスプロ電工美術館　横浜開港資料館

●イラスト
池尻克美　中西立太　三谷ゆきひこ
深山のぼる　山根篤
●作画協力
大岡龍二　小井土繁　小杉彰　小林進
小山春夫　阪上吉英　芝知照　田中正仁
坪井幸一　馬場秀夫　森正　山本貴久雄
●装丁・レイアウト
功野真矢　佐野恒雄（ＣＳＪ）　DOMDOM
成澤哲夫（ＮＥＤ）
●版下
大山デザイン　昭和ブライト　タナカデザイン
●編集協力
エディトリアル・プランニング　銀杏社
真英社　鈴木悦子　風人社
●編集担当
柏原順太　宮部良雄　八巻孝夫

（五十音順・敬称略）

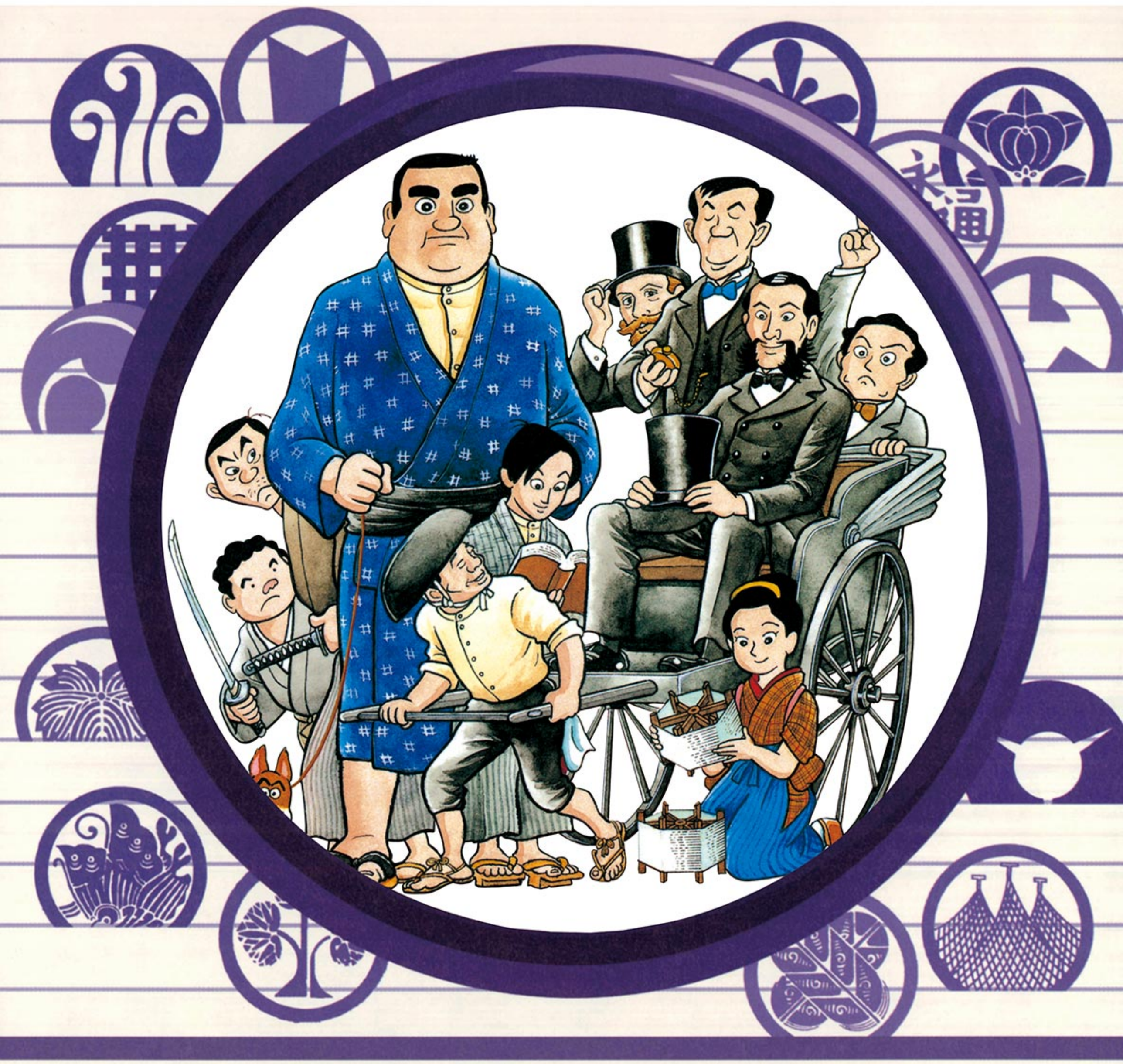
小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

17

明治維新

●明治時代前期



監修/児玉幸多　まんが/あおむら純

年表の巻の歴史

●この巻には、青色の部分の時代・年代が、かかれています。

巻数	時代	年代
1	旧石器（岩宿）	前3万
	縄文（紋）	前1万
	弥生	前1000
		紀元1
2	古墳	100
	飛鳥	200
3	奈良	300
4	平安	400
5		500
6		600
7	鎌倉	700
8	南北朝	800
9	室町	900
10	戦国	1000
11	安土桃山	1100
12	江戸	1200
13		1300
14		1400
15		1500
16		1600
17	明治	1700
18		1800
19	大正	1900
20	昭和・前期	
21	昭和・中期～平成	

時代・年号

明治 一　二　三　四

西暦

●1868　●1869　●1870　●1871

日本のおもなできごと

維新政治がはじまる。

五箇条の御誓文が出される。

江戸を東京とする。

版籍奉還が行われる。天皇が東京にむかう。

東京―横浜間に電信ができる。

人力車の営業が許可される。

「横浜毎日新聞」が創刊される。（はじめての日刊紙）

廃藩置県が行われる。

日清修好条規がむすばれる。

岩倉具視一行が欧米視察に出発する。

西暦

●1868　●1869　●1870　●1871

世界のおもなできごと

スペインが王政を廃止する。

アメリカで大陸横断鉄道が完成する。

スエズ運河が開通する。

普仏戦争がおこる（～71）

イタリアが統一される。

ドイツ帝国ができる。

パリ＝コンミューンができる。

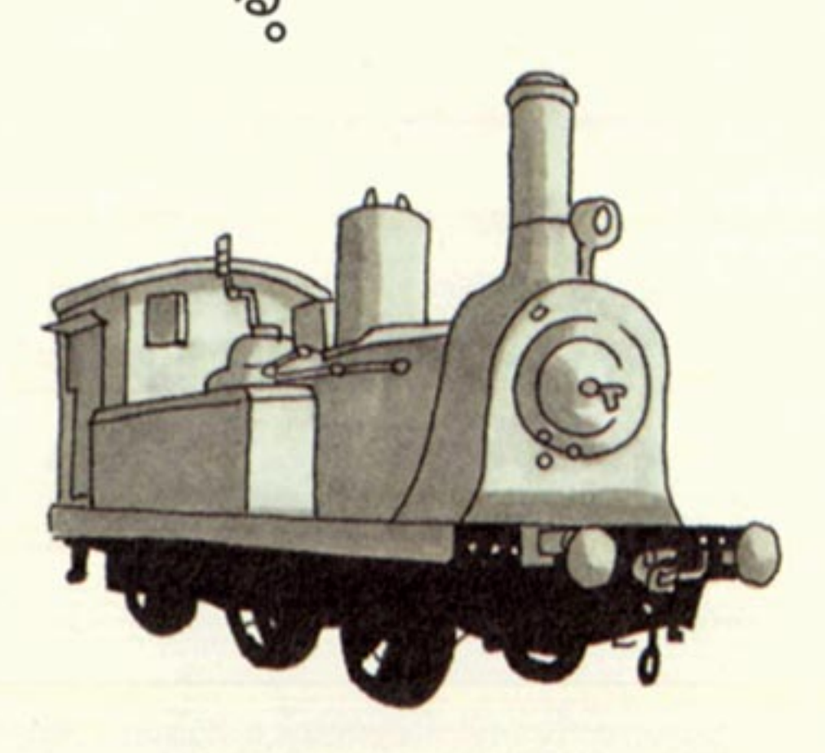
イギリスで労働組合法ができる。

明治時

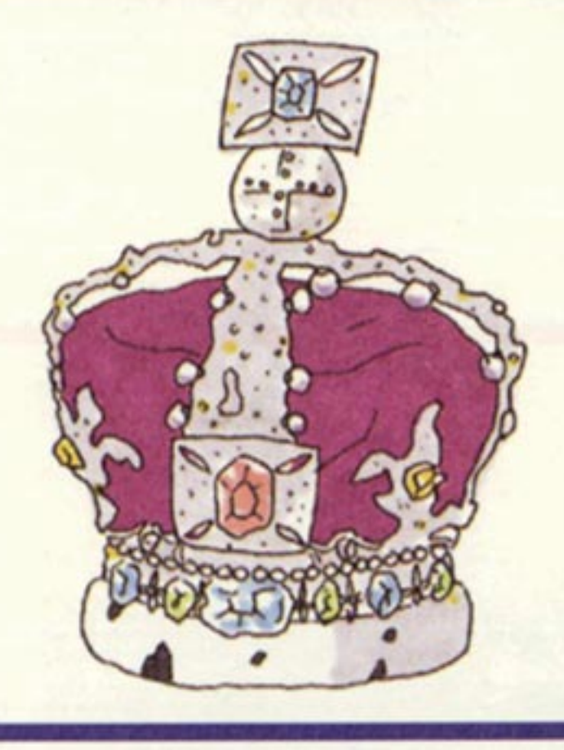
二一　一〇　九　八　七　六　五

●1878　●1877　●1876　●1875　●1874　●1873　●1872

琉球王国を廃止し、琉球藩とする。
福沢諭吉が**「学問のすゝめ」**をあらわす。
学制が発布される。
新橋―横浜間に鉄道が開通する。
富岡製糸場が操業を開始する。
太陽暦が採用される。
徴兵令が出され、各地で反対一揆がおこる。
キリスト教禁止令がとかれる。
ウィーン万国博覧会に日本が参加する。
地租改正がはじまる。
朝鮮派遣問題で、西郷隆盛や板垣退助らが辞職する。
板垣らが**「民選議院設立建白書」**を提出する。
佐賀の乱がおこる。（以後、士族の乱がつづく。）
台湾に出兵する。……琉球が日本領としてみとめられていく。
ロシアと、千島・樺太交換条約をむすぶ。
新聞紙条例・ざんぼう律が公布され、言論が圧迫される。
日朝修好条規がむすばれる。
西南戦争がおこる。（士族の最後の反乱）
片岡健吉ら、「国会開設建白書」を提出する。
第一回内国勧業博覧会がひらかれる。
大久保利通が暗殺される。



●1878　●1877　●1876　●1875　●1874　●1873



ドイツ、ロシア、オーストリアが三帝協商をむすぶ。
朝鮮で大院君が失脚し、閔妃一族が政権をにぎる。
万国郵便連合が成立する。
メートル法条約が調印される。
トルコ憲法が発布される。
露土戦争がおこる。（～78）
エジソン、蓄音機を発明する。
エジソンが電燈会社を設立する。

はじめに

明治の新政府と士族の反乱

◆文明開化

この巻では、いよいよ明治時代にはいります。人びとの頭からチョンマゲがなくなったり、洋服すがたがふえてきたりして、日本人の生活や文化が、だんだん、現代のわたくしたちに身ぢかに感じられてくることでしょう。

それは、もちろん、欧米の影響によるものでした。徳川政権をたおした新政府が、欧米の文明を積極的にとりいれようとしたからです。そうして、一日も早く、日本を欧米なみの文明国にしたいとかんがえたのです。これを「文明開化」といいます。

幕末、日本は欧米の国ぐにと不平等な条約をむすんでいました。これらの条約をあらためるにも、日本は、りっぱな文明国にならなくてはならないとかんがえたのです。

◆いろいろな改革

新政府が、年号を「明治」とあらためたのは、一八六八年のことでした。それから数年のうちに、新政府はやつぎばやに、いろいろな政治改革をこころみまし

た。

江戸時代の身分制度をなくし、「農・工・商」の人たちは「平民」とよばれるようになりました。そして、「平民」にも名字がゆるされるようになります。

それまでの「藩」が「県」にあらためられ、藩主にかわって、新政府の役人が県をおさめることになりました。

また、「徴兵令」がさだめられ、新しい軍隊がつくられましたし、徴税の方法もあらためられました。学制がさだめられ、はじめて小学校ができたのも、このころのことです。

◆士族の反乱

しかし、こうした改革についていけない人も少なくありません。新政府が、もとの薩摩藩や長州藩の人間によって左右されていることに、不満をいだくものもありました。さらに、新政府の内部でも権力の争いがありました。

なかでも、士族（もとの武士階級）は新政府に批判的で、西日本では、かれらの反乱があいつぎました。

そして鹿児島では、西郷隆盛がついに兵をあげます。これを「西南戦争」といいます。

この内乱は、新政府がむかえた最大の危機でした。この戦争に勝利することによって、新政府は、いちだんと安定するようになったのです。

もくじ

- この巻の歴史年表
- はじめに
- おもな登場人物

第3章 北の開拓と殖産興業

- 士族の開拓
- 開拓使の計画
- 札幌農学校とクラーク先生
- 明治政府のアイヌ政策

第2章 文明開化

- 大画面・鉄道開業式
- マリア＝ルーズ号事件
- 大画面・第一国立銀行
- 三田の演説館

第1章 明治の新政府

- 大画面・明治天皇の行列
- 廃藩置県
- 岩倉使節団、欧米へ
- 留守政府の改革
- 大蔵省と司法省の対立

第4章

士族の反乱

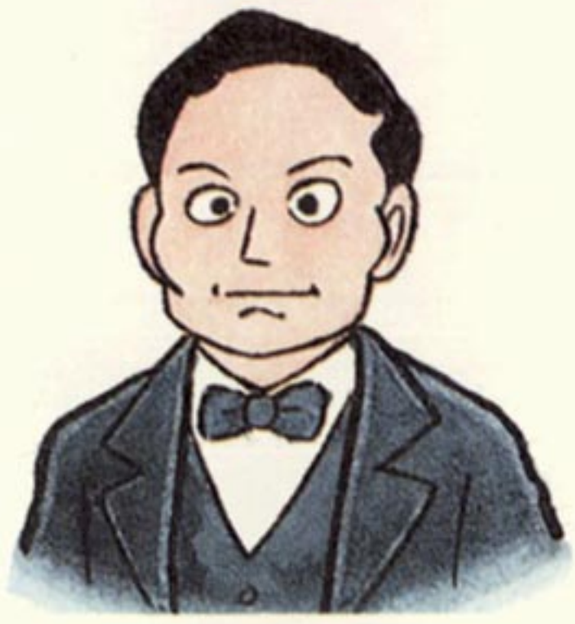
- 大画面・富岡製糸場
- 西郷の朝鮮派遣問題
- 大久保利通と内務省
- 佐賀の乱
- 地租改正
- 大画面・田原坂の戦い
- 大久保利通の暗殺

おもな登場人物

※この巻に登場するおもな人物を紹介します。登場人物をくわしく知るための事典として、役立たせてください。

第1章

井上馨（一八三五～一九一五年）



尊王攘夷運動に活やくする。維新後、大蔵大輔として腕をふるい、江藤新平らと対立。

岩倉具視（一八二五～一八八三年）

王政復古に力をつくし、三条実美とともに明治政府の中心となり、欧米諸国をまわる。

伊藤博文（一八四一～一九〇九年）

岩倉使節団の副使として、欧米諸国を視察する。最初の内閣総理大臣となる。

大隈重信（一八三八～一九二二年）

大蔵卿として地租改正、秩禄処分、殖産興業に努力し、最初の政党内閣を設立する。

第2章

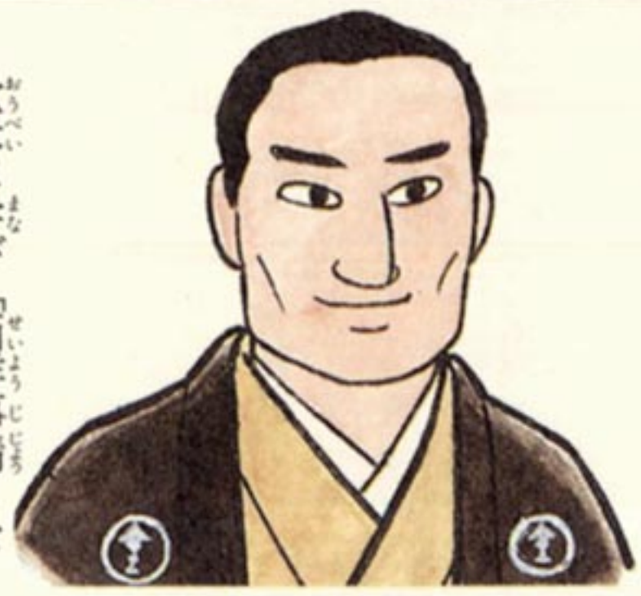
大江卓（一八四七～一九二一年）

陸援隊にはいり、討幕運動に参加する。のちに実業界に転じて活やくする。

陸蒸気の客※

新橋・横浜間に開通した陸蒸気に乗ったときの失敗談を茶店で語る。

福沢諭吉（一八三五～一九〇一年）



欧米に学び「西洋事情」をあらわす。「学問のすゝめ」を書いて学問のあり方を説く。

村田勝太郎※

静岡県から上京し、慶應義塾にはいり、福沢諭吉の教えをうける。

（注）※は架空人物。

17 明治維新

●明治時代前期

士族たち

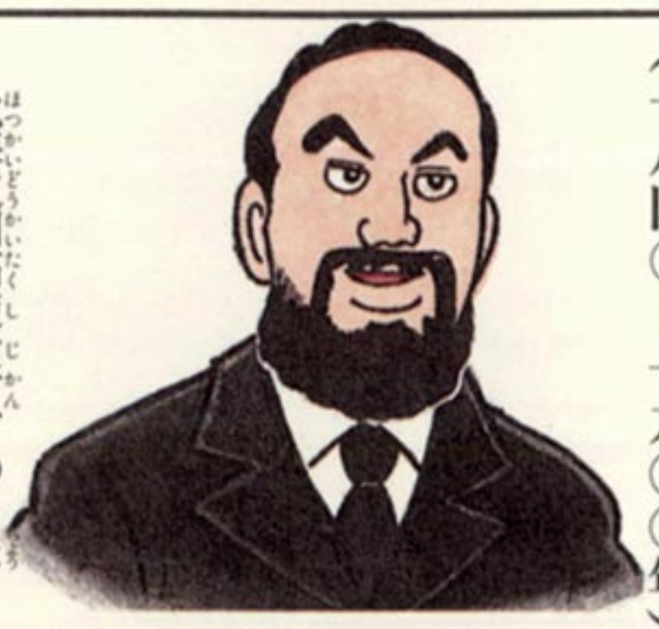
北の開拓民

第3章

クラーク
（一八二六～一八八六年）

北海道開拓使の招きで来日し、札幌農学校の教頭としてアメリカ式教育を行う。

黒田清隆
（一八四〇～一九〇〇年）



北海道開拓使次官、のち長官として活やく。官有物払い下げ事件で非難をあびる。

ケプロン
（一八〇四～一八八五年）

札幌の都市づくり・大農経営の採用など北海道の開発の基礎をつくる。

富岡の工女※

官営の富岡製糸工場で働く女性。一等工女となって、各地の工場で技術指導にあたる。

第4章

江藤新平
（一八三四～一八七四年）

新政府の参議になるが明治六年の政変で政府を去り、佐賀の乱をおこし死刑になる。

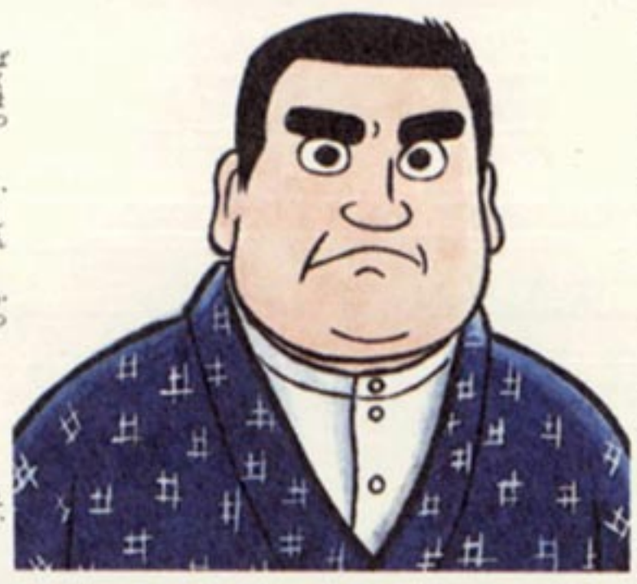
板垣退助
（一八三七～一九一九年）

民選議院設立建白書を提出し、自由民権運動の中心人物になる。自由党をつくる。

大久保利通
（一八三〇～一八七八年）

明治政府の中心にあって地租改正や殖産興業をすすめ、実権をにぎる。

西郷隆盛
（一八二七～一八七七年）



幕末・維新に活やくした英雄。鹿児島私学校の人びとにおされて、西南戦争をおこす。

（注）※は架空人物です。

小学館 eBooks

第一章

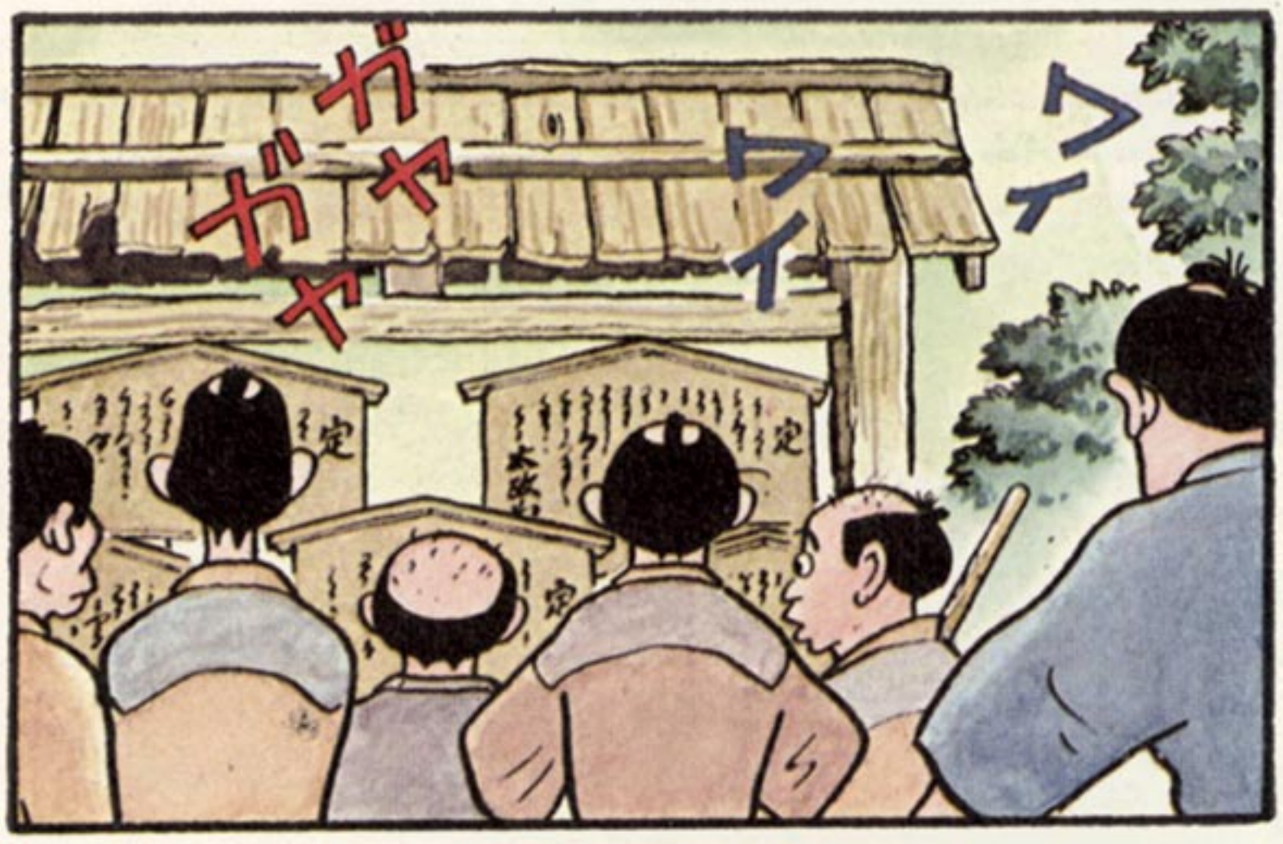
明治の新政府

——明治時代前期——

一八六八年二月、*
東海道のある村

ワイワイ

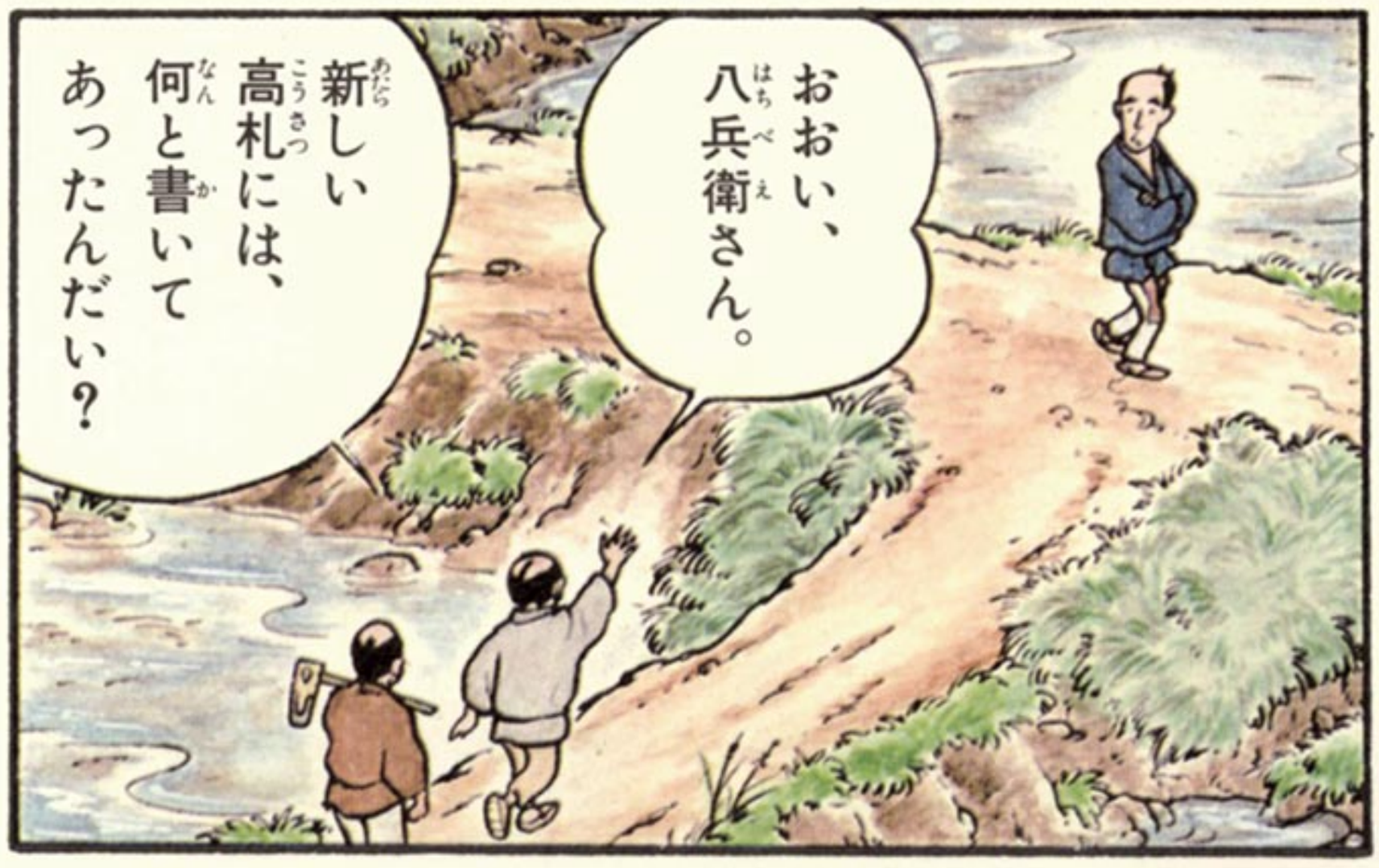
はて、何だろう？



*この本では、太陽暦が実施された一八七三年（明治六）の前年までは、旧暦の月日を用いています。

五倫というのは、どういうことです？

五倫とは、君臣の義、父子の親、夫婦の別、長幼の序、朋友の信。まあ、正しく生きなさいということじゃ。



＊東山道…中部、関東、東北地方の山地を中心とする国ぐに。

＊赤報隊…第十六巻第四章参照。

一八六八年（明治一）九月、
*沼津の宿近くのある村――

おおい！名主さまの家にあつまってくれ。

いそがしいのに、いったい何だろう。

まあ、とにかく行ってみよう。

*沼津…静岡県沼津市

天子さまが、京を出発されて江戸へおいでになる。この村からも、人と馬を出さなくてはならない。

天子さまが江戸へ!? 助郷か…、やれやれ。

参勤交代の時期には、宿場周辺の農民がかり出されました。これを助郷といいます。助郷は農民にとって大きな負担でしたが、一八七二年に廃止されました。

パカポコ

テクテク

*三島…静岡県三島市

*大井川…静岡県の中央をながれる川。江戸幕府は、橋をかけることも、船でわたることも禁止していた。

…去年の十月のことだったな…。

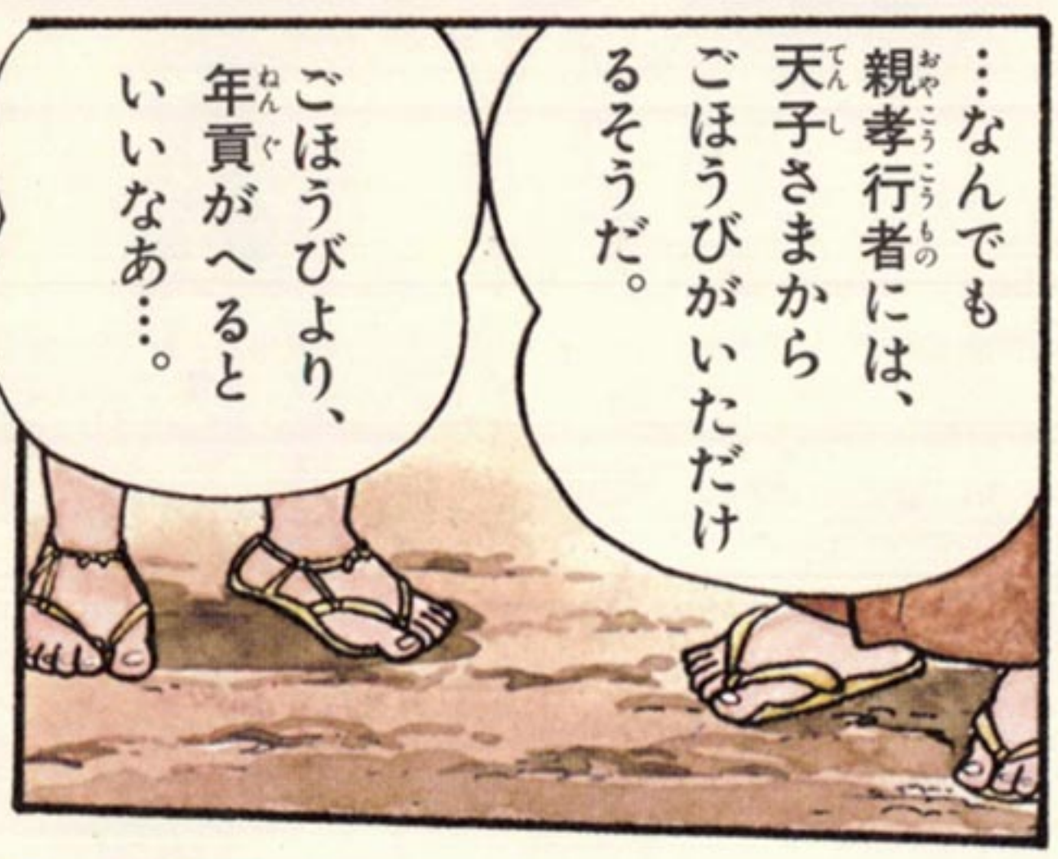
どこからともなくお伊勢さまのお札がふって…。

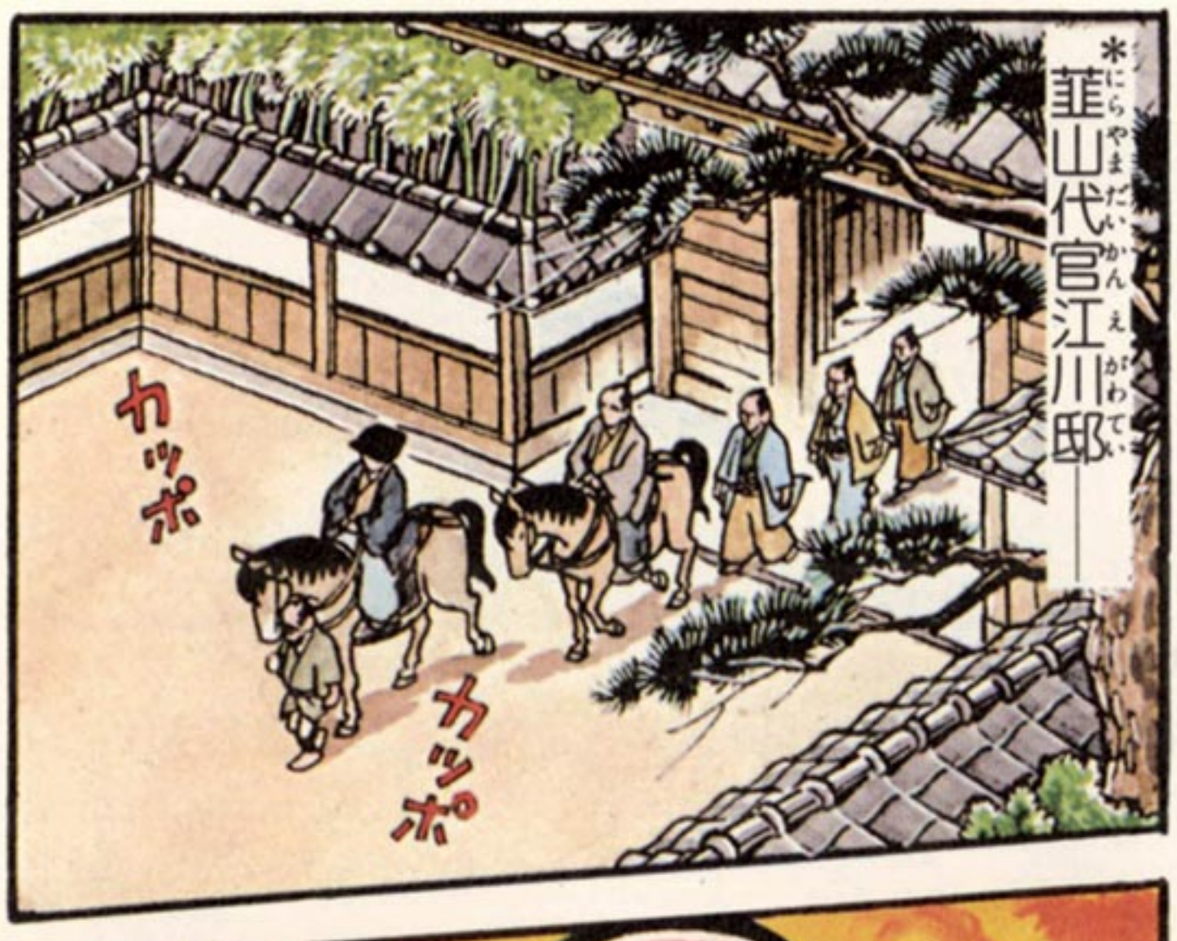
豊作おどりだ、めでたいな。ええじゃないか。

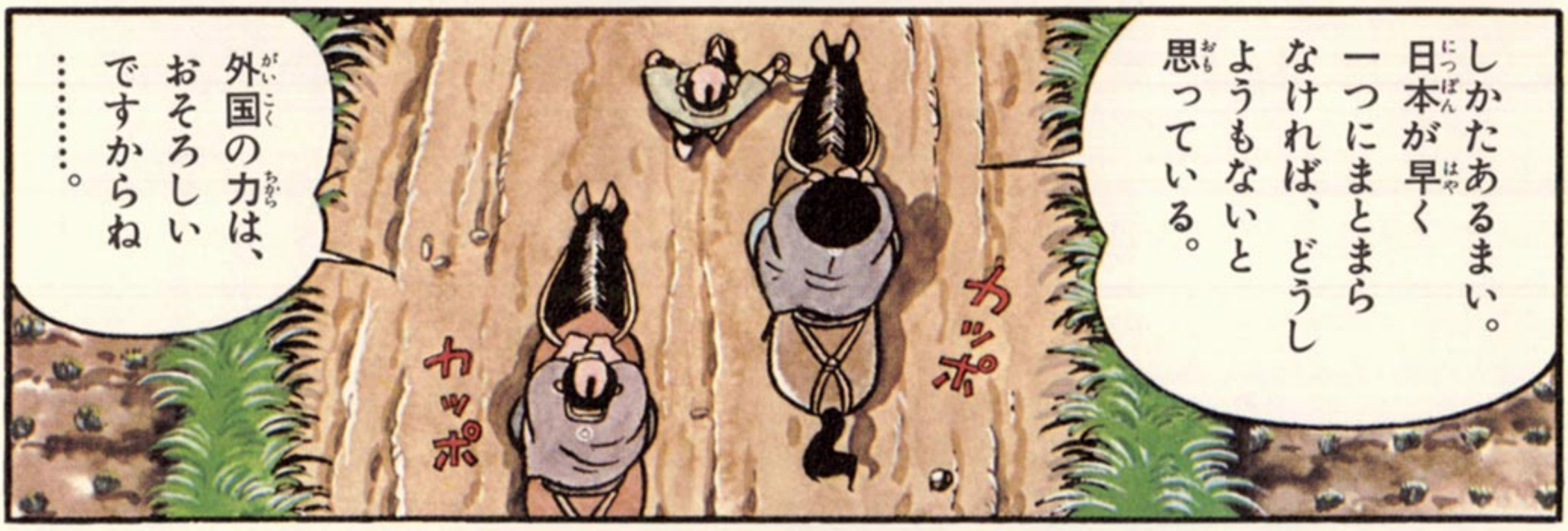
*世なおしおかげにゃそういない。

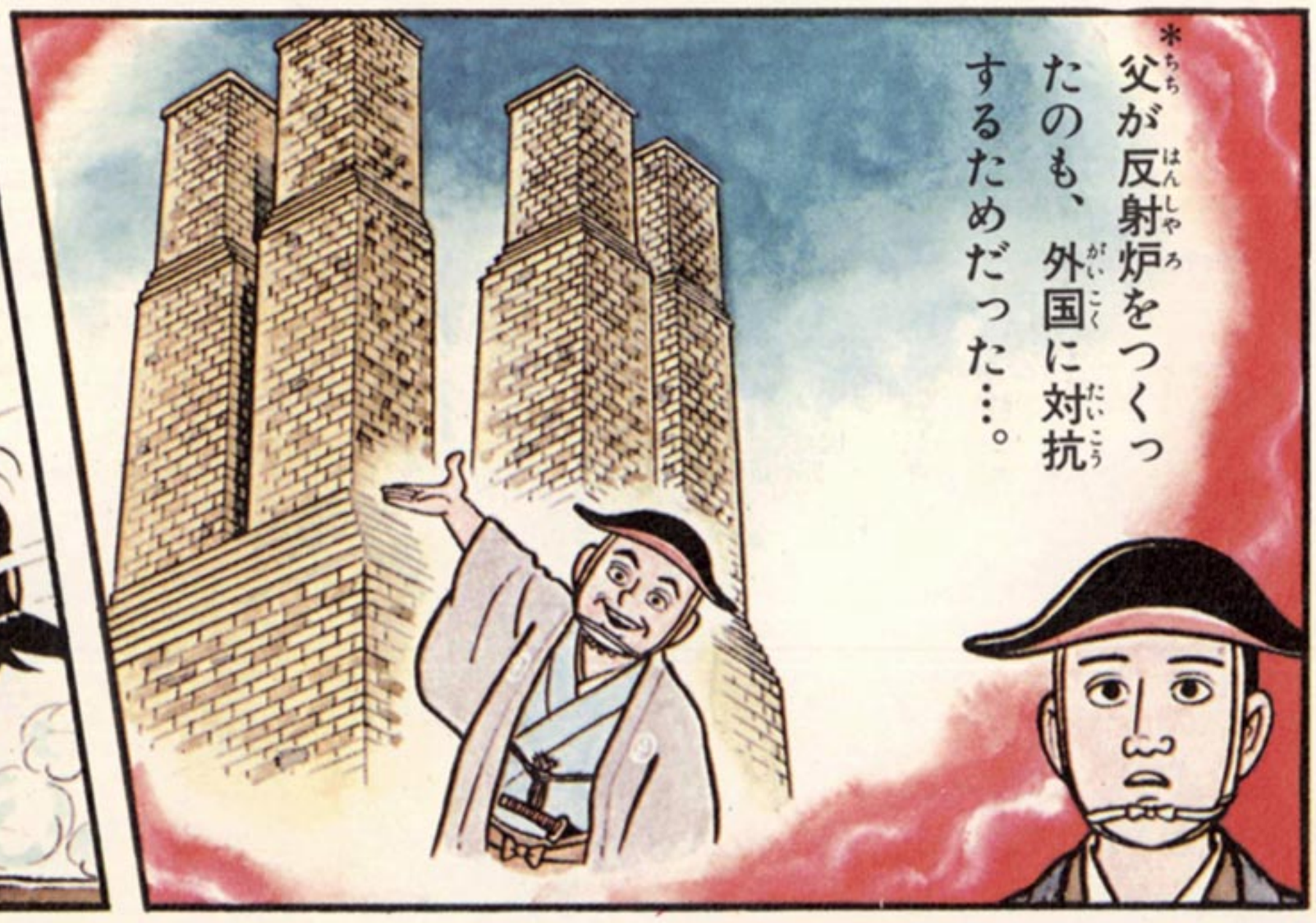
照皇太神宮

*お札がふってきたとき、三島の人びとはこのように歌いながらおどり、世なおしに期待した。









*韮山…静岡県伊豆の国市韮山

*第十六巻第一章参照。

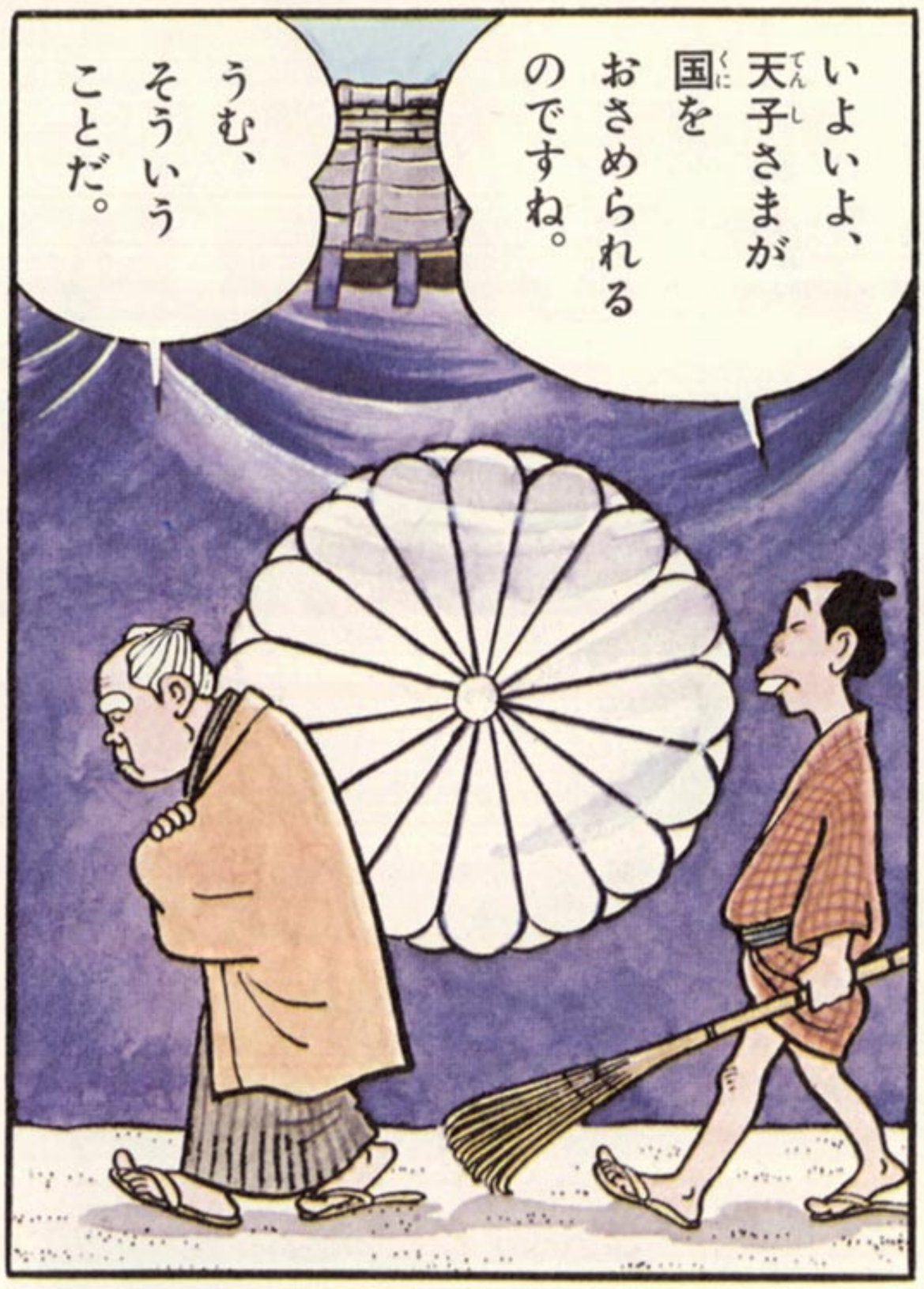
三島の宿本陣、樋口伝左衛門の屋敷――

宿場のそうじも、すんだようだのう。

すっかりきれいになりましてございます。

旅籠のちょうちんやのれんは、かたづけておくようにとのご注意もあった。

＊駿府…静岡県静岡市

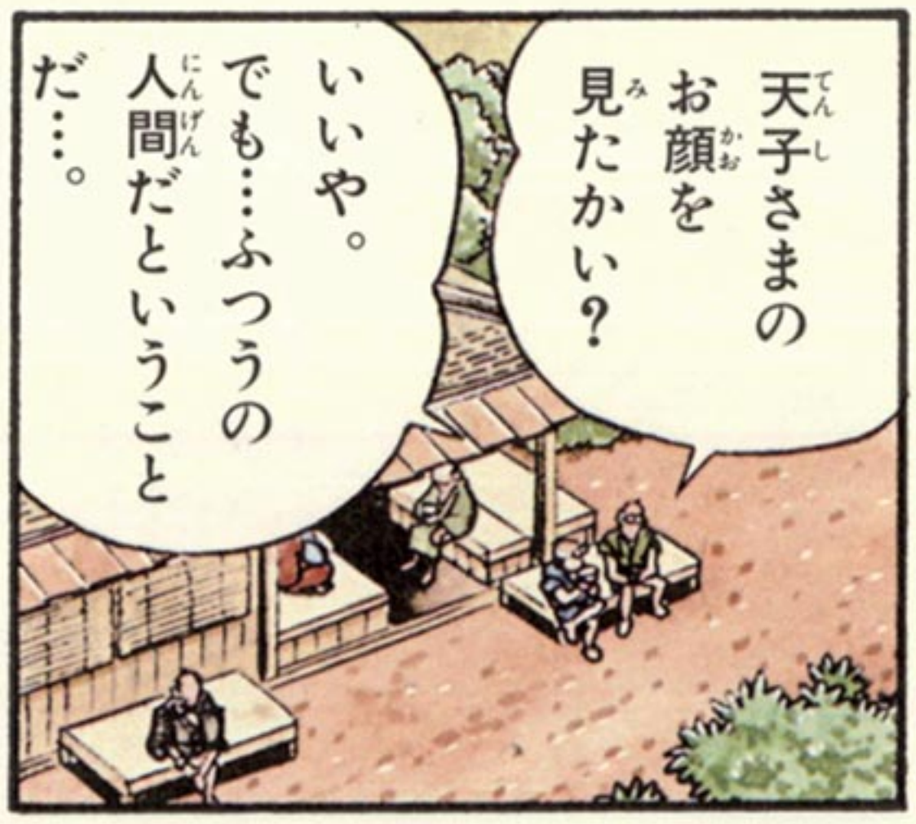


一八六八年十月七日、天皇の一行は三島の宿に到着しました。

東京
藤沢
小田原
三島

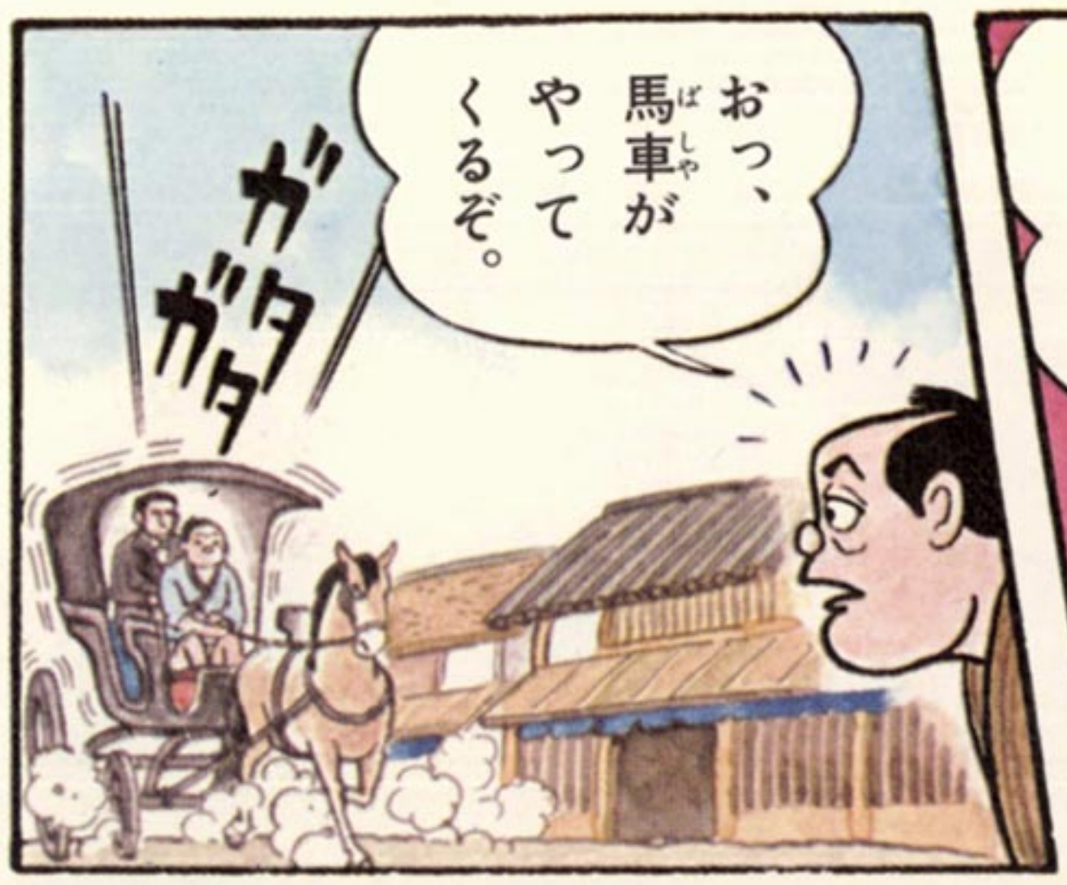
天皇の行列は二千三百人にもおよび、とちゅう、親孝行者や年をとった者に金品をおくりました。これまで天皇のことをあまりよく知らなかった民衆たちに、天皇と新政府の権威をしめそうとしたのです。

天皇の一行は、十月十三日に東京につき、江戸城に入りました。



天皇は十二月に京都にもどり、翌一八六九年、ふたたび東京におもむきました。そして、東京は事実上の首都となったのです。

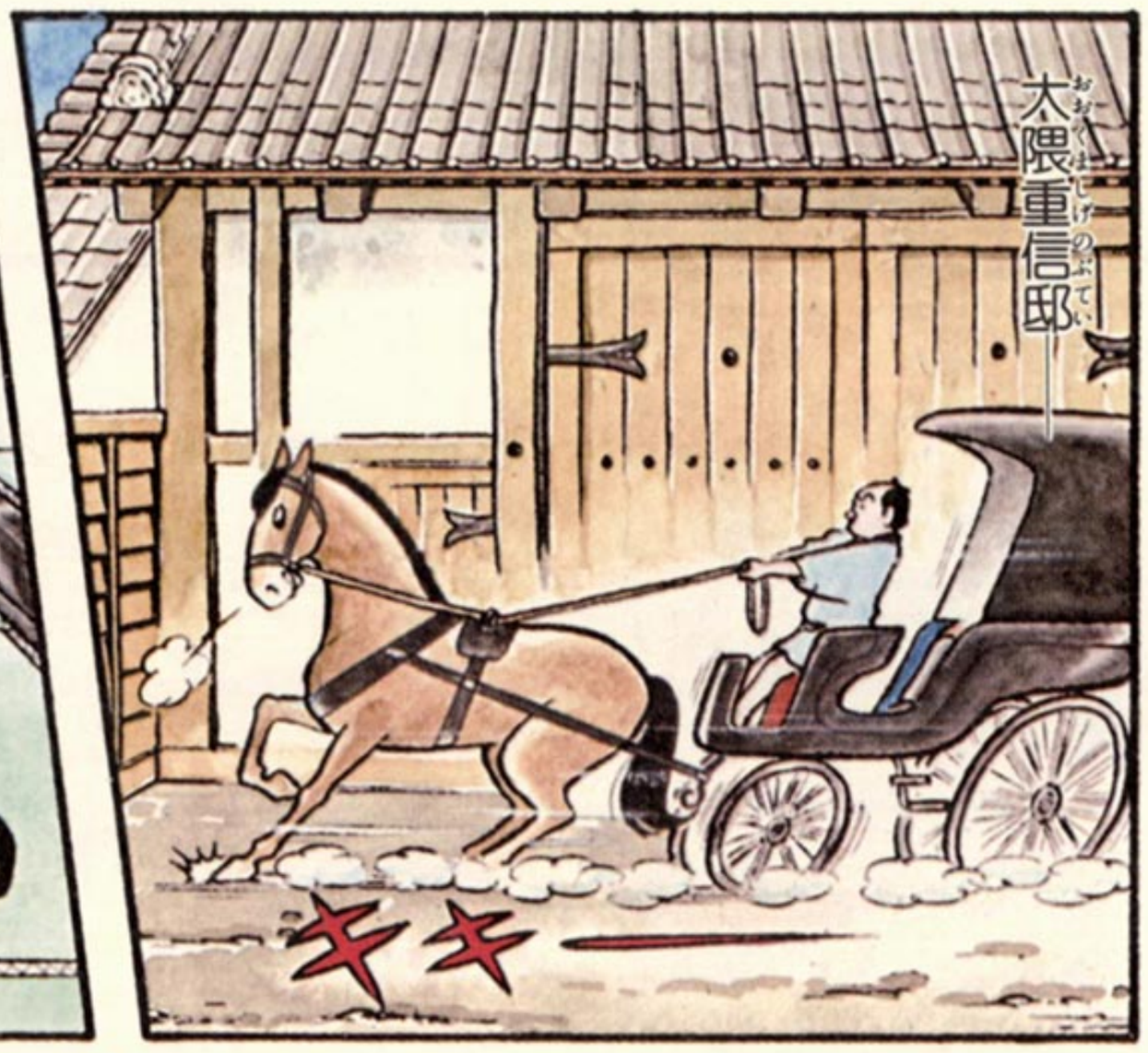
一八六九年(明治二)、東京

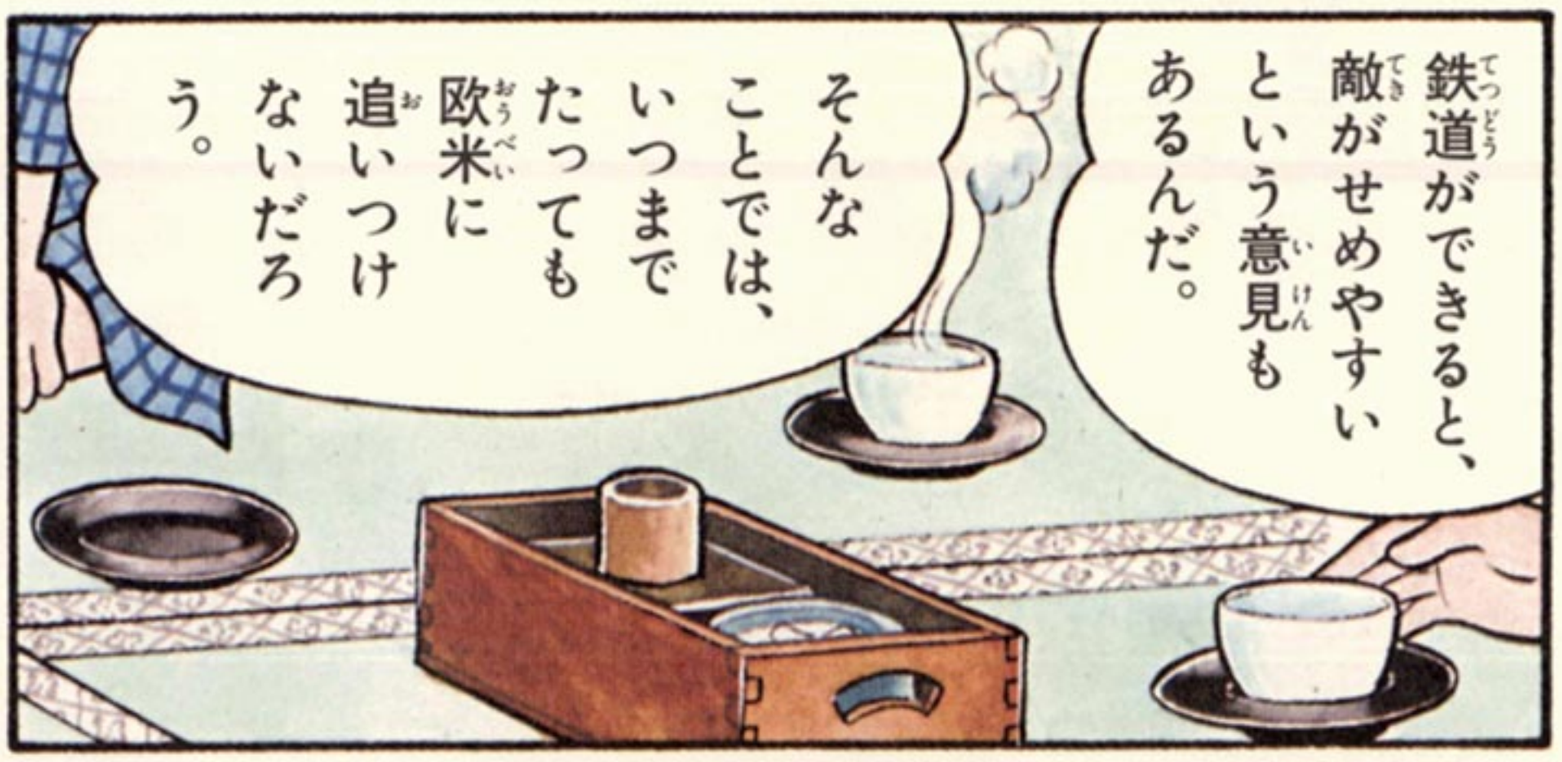


*薩長土肥…薩摩、長州、土佐、肥前の各藩のこと。

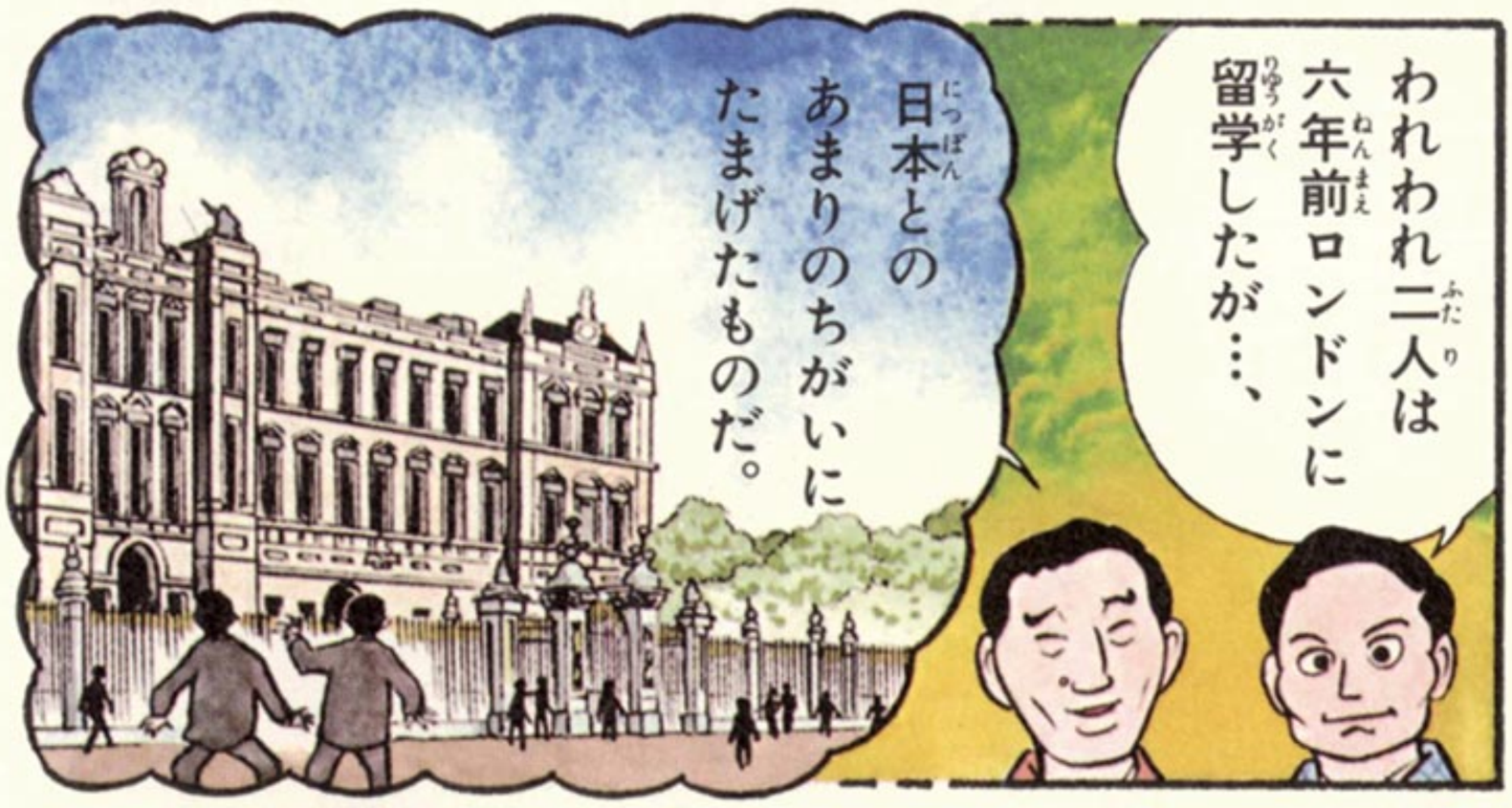
*箱館戦争…榎本武揚を中心とした旧幕府軍と新政府軍が、箱館五稜郭でたたかった戦争。第十六巻第四章参照。

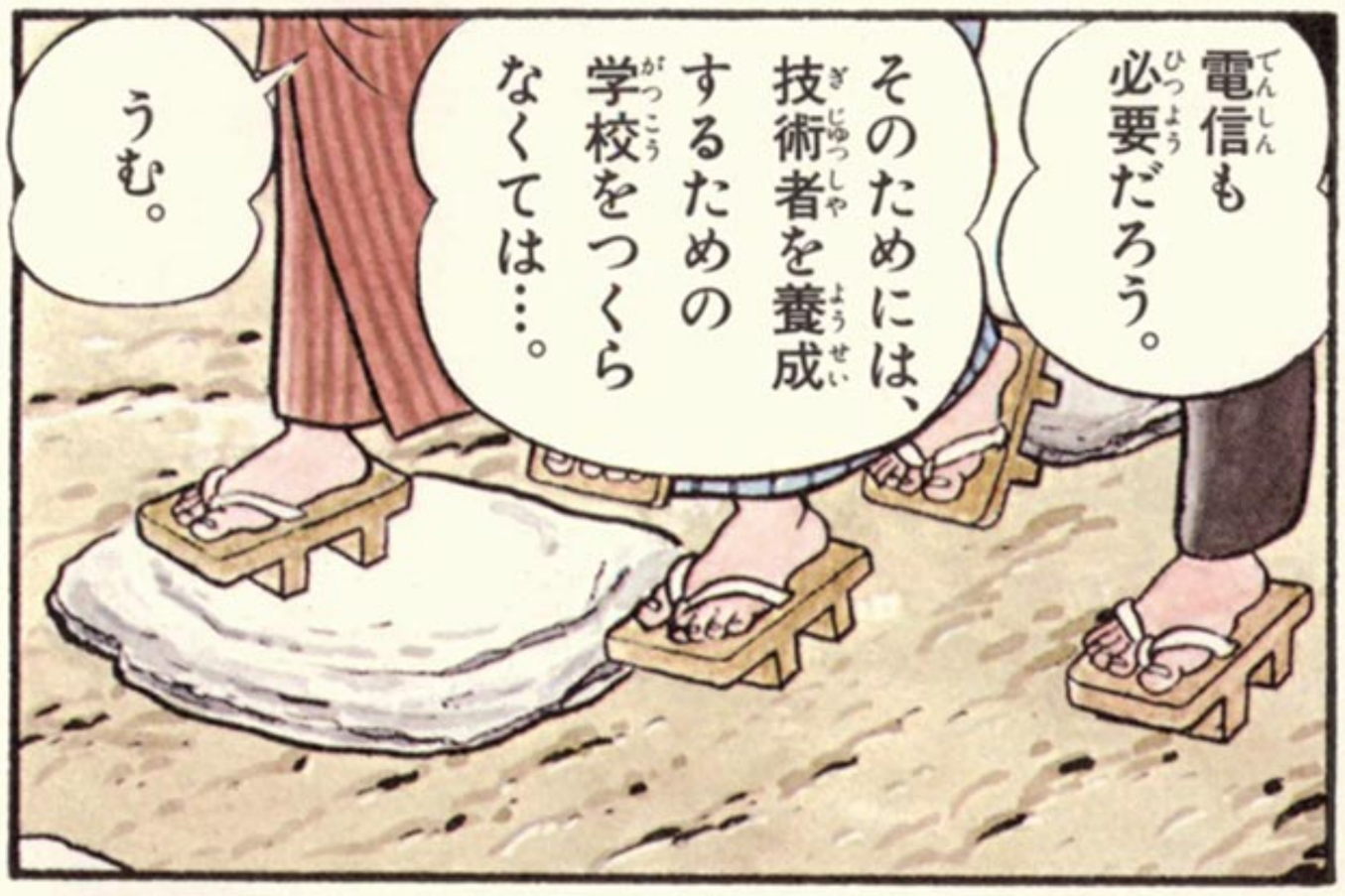
ゴゴッ
大隈重信
ゴトッ
ガタッ
道ぐらいなんとかしなくては…。欧米に追いつくには、こうしたところからでもととのえていきたいものだ。
ゴトゴトガタ
ガタッ
ピシッ
大隈さんだ。梁山泊に帰るところだ。
梁山泊？
知らないのか？築地にある大隈さんの屋敷のことさ。新政府の若い連中が、いつもゴロゴロしているそうだ。
ガタピシッ
ガタン
ゴロゴロして、いったい何をしているんだい？
日本をこれからどうするか、議論しているんだそうだ。
どんな話をしているのかねえ。
最近、なんだかそうぞうしい乗りものがあらわれたな。

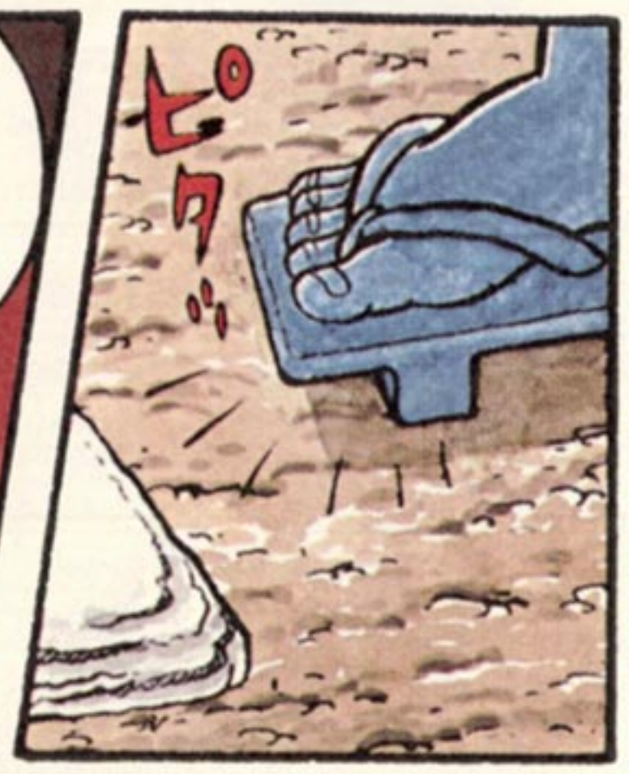




大隈や伊藤の熱心なはたらきかけによって、新政府は、一八六九年十一月、鉄道の建設を決定しました。







このように、大隈邸では政府の役人である井上や伊藤などのほか、政治家をめざす地方の青年などがあつまって、日夜、白熱した議論をたたかわせていました。

新政府は、新しい社会のしくみをつくるため、江戸時代の身分制度をあらためました。

さて、このころの新政府の政策を見てみよう。

公卿　大名　華族

……。

武士　士族

ラ・ラ・ラ・ラン♪

農民　商人　平民

わしら、みんな平等だ。

そして一八七四年ごろまでに、今まで禁止されていたいろいろなことが自由になりました。

職業の自由

平民に名字を許可する。

佐藤くま吉

鈴木くま吉

これなら、まちがえられずにすむな。

結婚の自由

庄屋のむすめとも結婚できる。

これから、農業でもやるか。

散髪廃刀の自由

頭と腰が軽くなった。

衣服の自由

見ろっ、トップモードじゃ！

旅行の自由

日本中をまわりたい。

田畑の*勝手作・売買の自由

×両△円だ。

パチパチ

うん、買った。

*勝手作…米、麦など穀物以外の作物を自由につくってよいこと。

一八六九年(明治二)に、版籍奉還が行われました。

つまり、わたしたち大名は、天皇に土地(版)と人民(籍)をおかえししたのじゃ。

そして、そのまま知藩事となって、今までどおり国をおさめることになった。

一八七一年に、廃藩置県が行われました。

今までの藩は、なくなってしまうのね。

エヘン

県令

交代だよ。

政府からは県令がやってきて、わたしたち大名は、東京に移住することになったのよ。

しかし、東京に行った殿はいいですぞ。華族という身分で生活も安心。

県令

わたしたち士族は*家禄もわずか…。これからどうしてくらしていくか…。

*家禄…武士が藩主から米でもらっていた俸給。維新後、新政府が肩がわりすることになった。

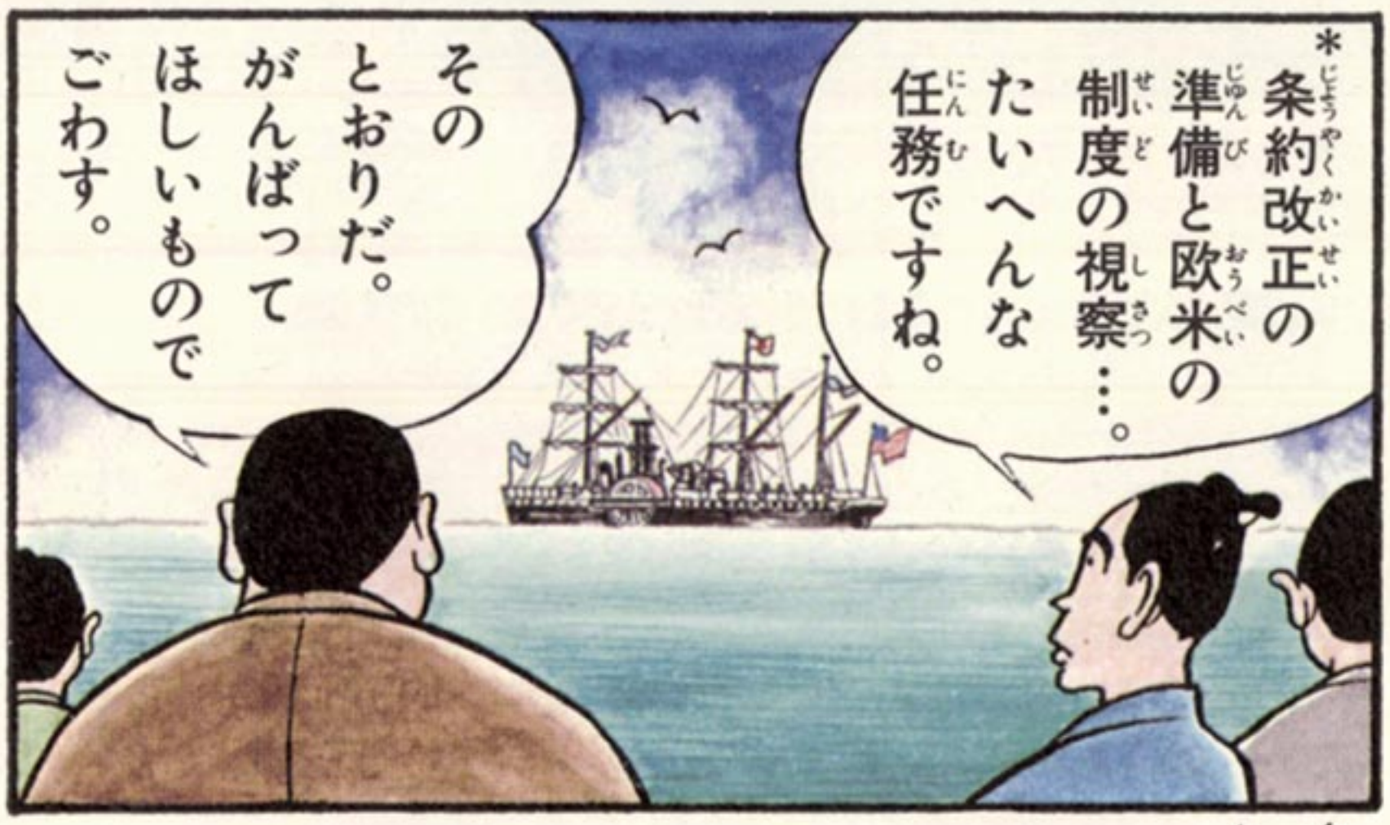
廃藩置県によって、それまで藩ごとに行われていた政治が、一つにまとまりました。政府の命令が、直接、国のすみずみまでいきわたるようになったのです。政府のおもな役職のほとんどは、倒幕の中心であった薩長土肥などの藩出身者がしめました。

一八七一年(明治四)十一月十二日、横浜――。特命全権大使岩倉具視一行が、欧米へむけて横浜を出発しました。

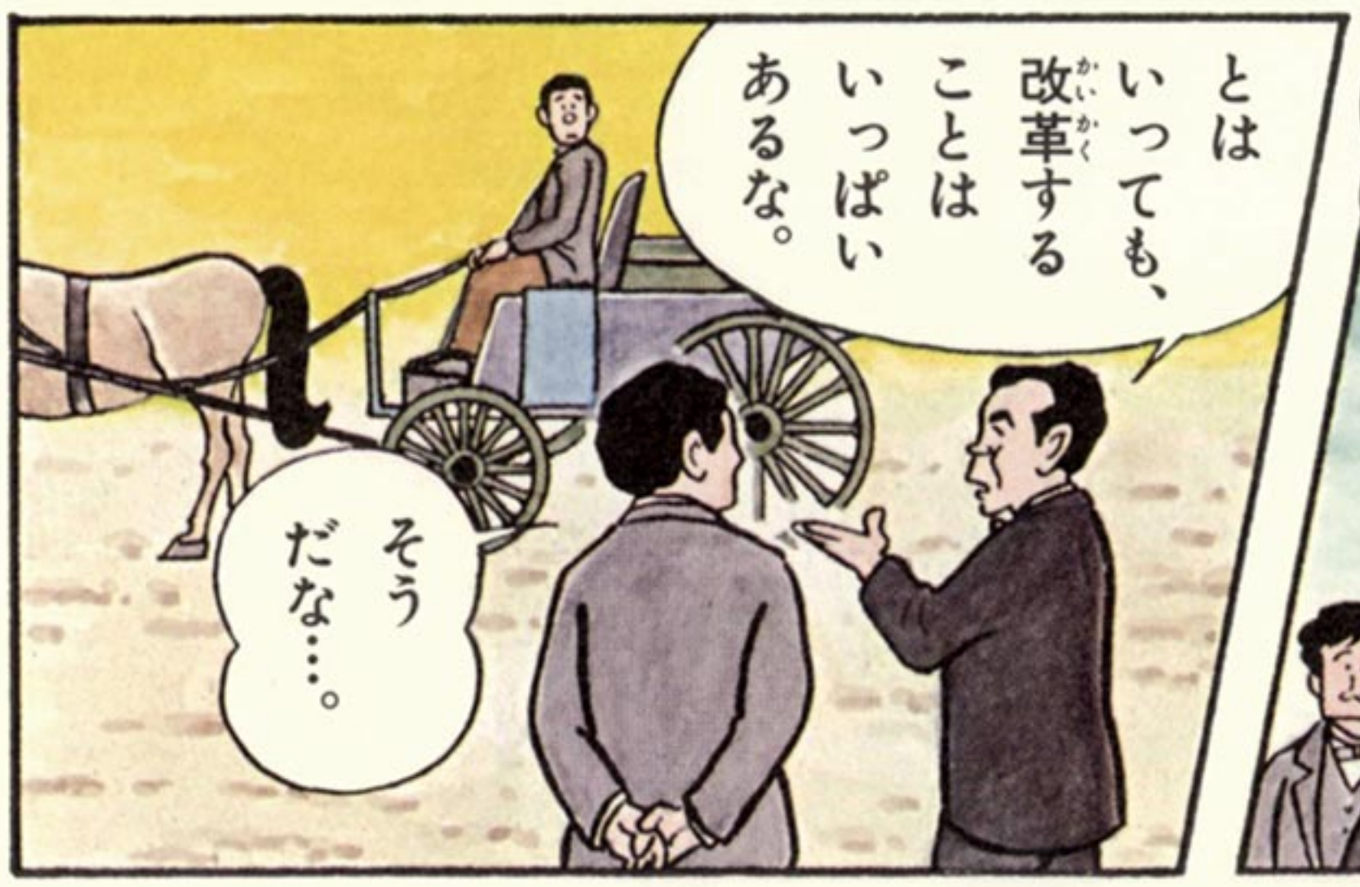
行ってらっしゃあい！

気をつけて！

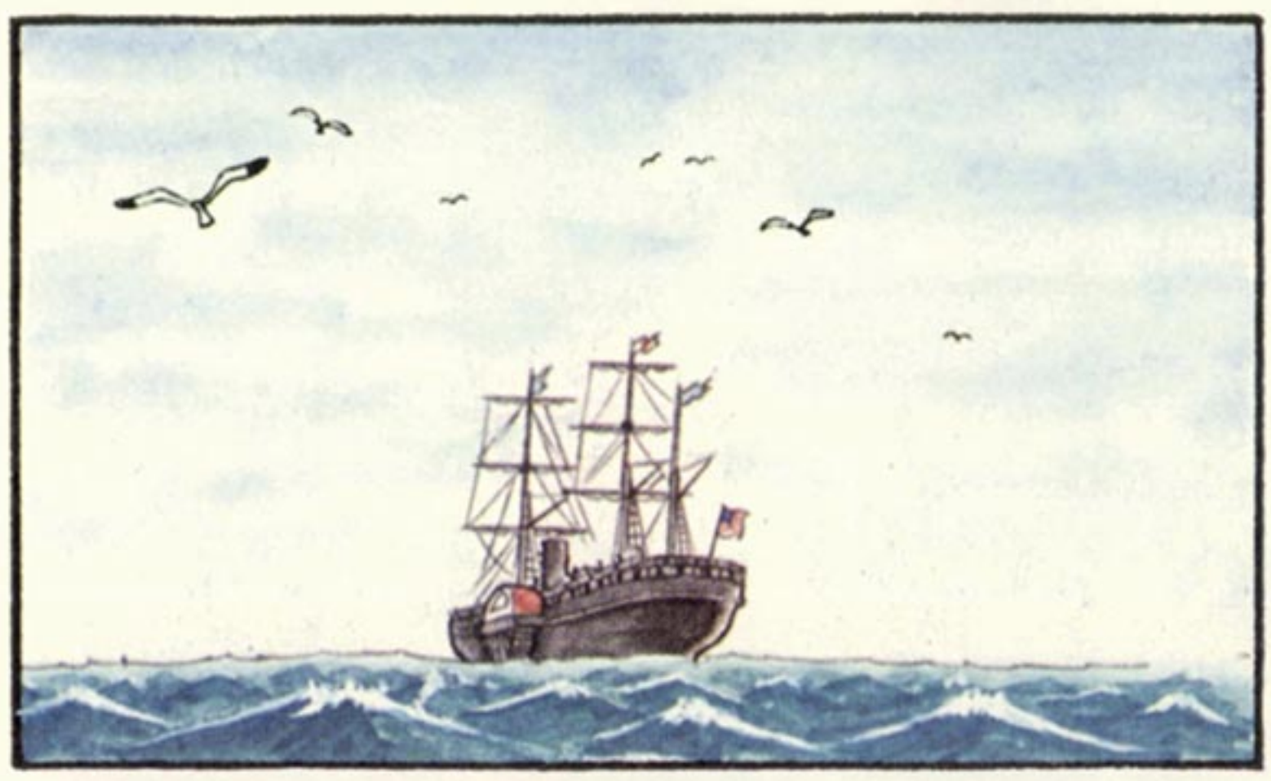
＊条約改正…江戸幕府が各国からおしつけられた不平等条約の改正。第十六巻第二章参照。



留守中に、大改革と人事異動はやらないという約束だ。
ふむ。


とはいっても、改革することはいっぱいあるな。
そうだな…。

行きましょうか。
うむ。



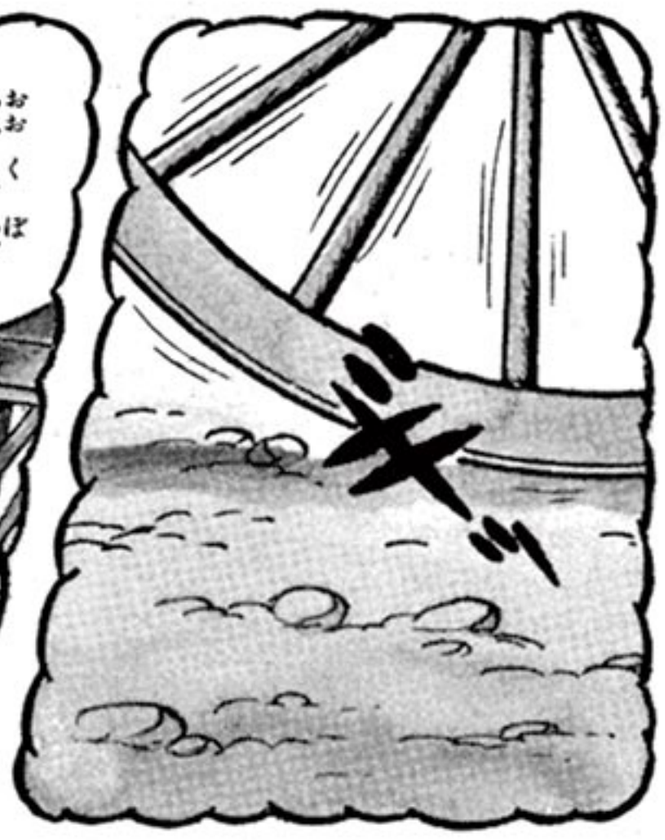
後に自由民権運動を指導する中江兆民も、留学生としてこの船にのっていました。
中江兆民

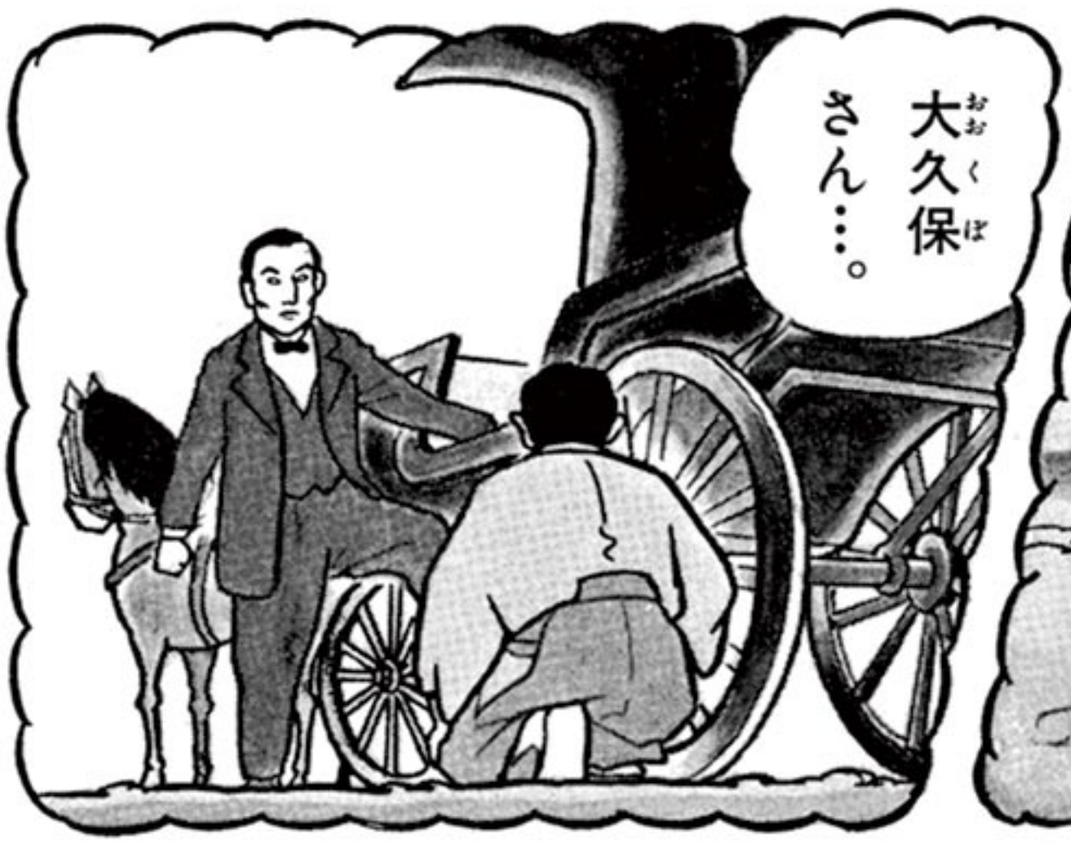
おたがいに、新調の服はにあいませんなあ。

中江さんは、留学生のメンバーに入るのに、たいへんだったそうですね。
はは、そのとおりです。
江川英武

面識のない大久保さんが、よくわたしと話してくれたものだ…。
おねがいします。

＊江川英武…第一章参照。





*中江篤介…中江兆民の本名。

*官立の学校…国がつくった（国立の）学校。

*後藤…後藤象二郎

*板垣…板垣退助

この船には、岩倉を中心に政府のそうそうたる人たちがのっていたのじゃ。
大久保利通
伊藤博文
わしたちがのっていたのだ。
特命全権大使
岩倉具視
山口尚芳
木戸孝允
このほかに書記官などの随行員四十八名、また留学生約五十名がつきしたがいました。
津田梅子
なかには、わずか八歳の津田梅子をふくむ女子留学生五名もまじっていました。
一方、留守をまもる三条実美以下を「留守政府」とよびます。
三条実美
西郷隆盛
板垣退助
大隈重信
井上馨
江藤新平
副島種臣
この留守政府も、内部ではすでに対立があって、たいへんだったんじゃよ。
一八七一年十二月六日、サンフランシスコに入港。
おお、やっとついたぞ。

サンフランシスコでの視察をおえた一行は、大陸を横断し、首都ワシントンにむかいました。

サンフランシスコ

シカゴ

ワシントン

一八七二年(明治五)一月二十一日、使節団はワシントンにつきました。一行は、*ホワイトハウスをおとずれ、グラント大統領と会見し、ついで国会議事堂をおとずれました。二月三日から条約改正についての交渉がはじめられましたが……。

*ホワイトハウス…アメリカの大統領官邸。

大久保・伊藤の両副使は委任状をとりに帰国し、六月十七日、ふたたびワシントンにやってきました。しかし、岩倉大使は交渉をうちきり、目的を欧米諸国の視察に変更したのです。

ロンドン
ボストン
ワシントン

一行は、七月三日、ヨーロッパにむかいました。

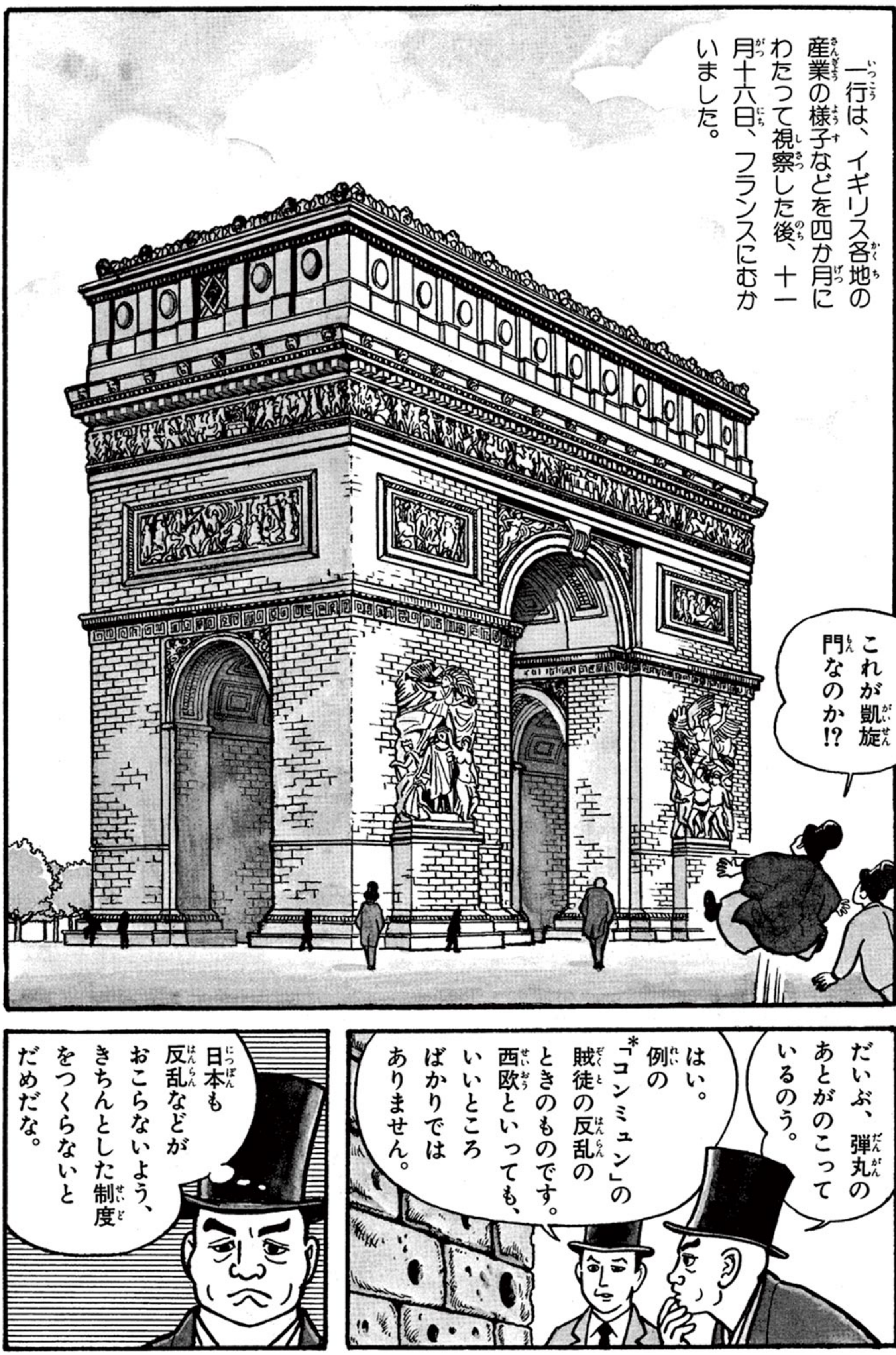
イギリスの首都、ロンドン――

イギリスでは選挙でえらばれた第一党が政府をつくるそうだ。

日本も、将来は、このような民主政治となるのが理想だと思うが…。

今の日本で、こうした制度を採用したら、どうなることやら…。

一行は、イギリス各地の産業の様子などを四か月にわたって視察した後、十一月十六日、フランスにむかいました。

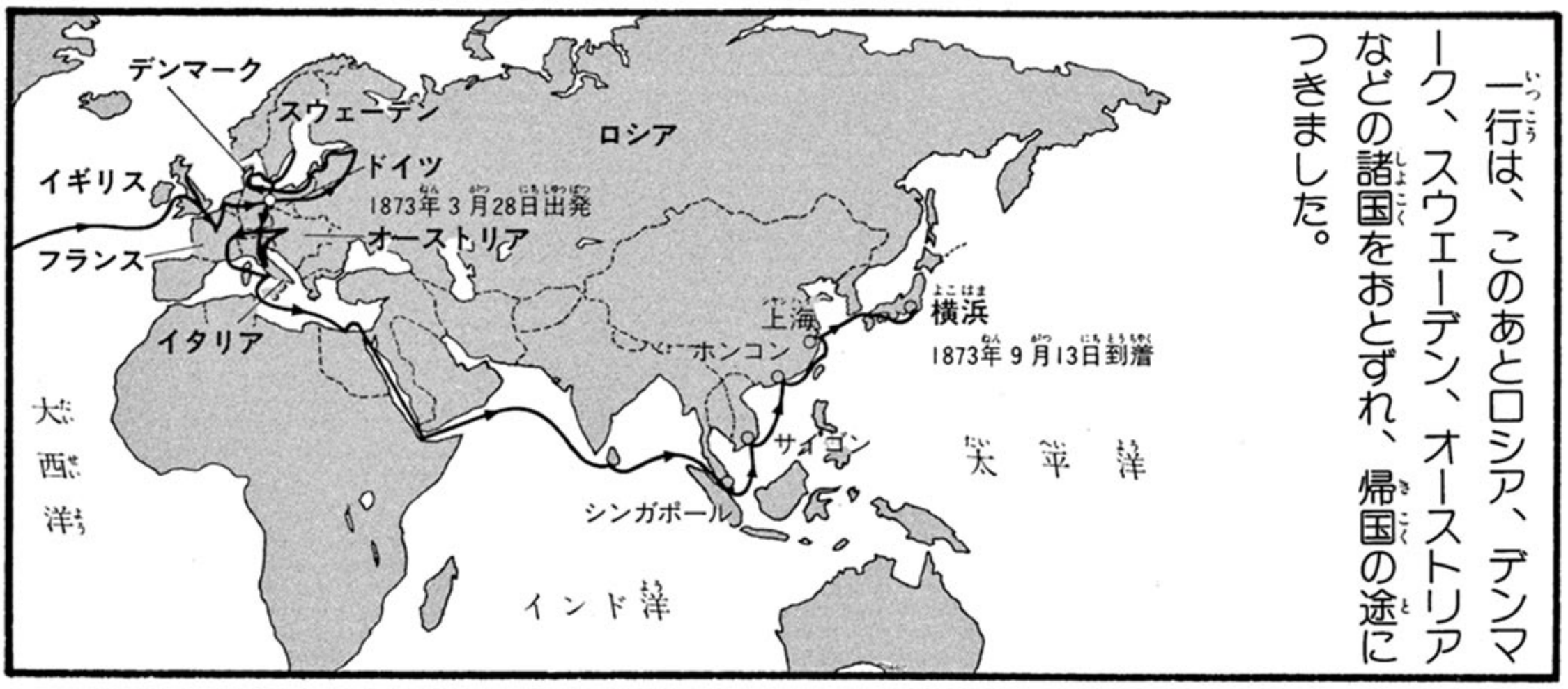


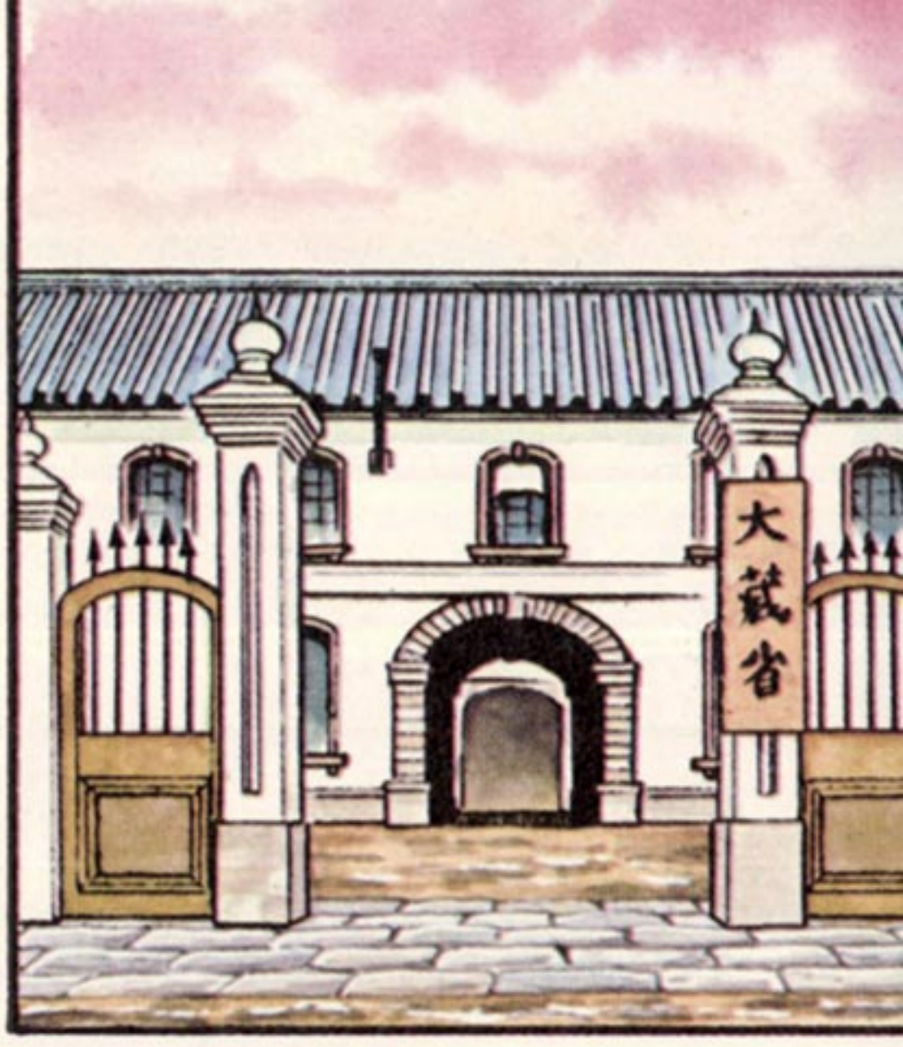
*コンミュン…パリ・コンミューンのこと。一八七一年三月から八十二日間、パリに成立した労働者階級の革命政権。

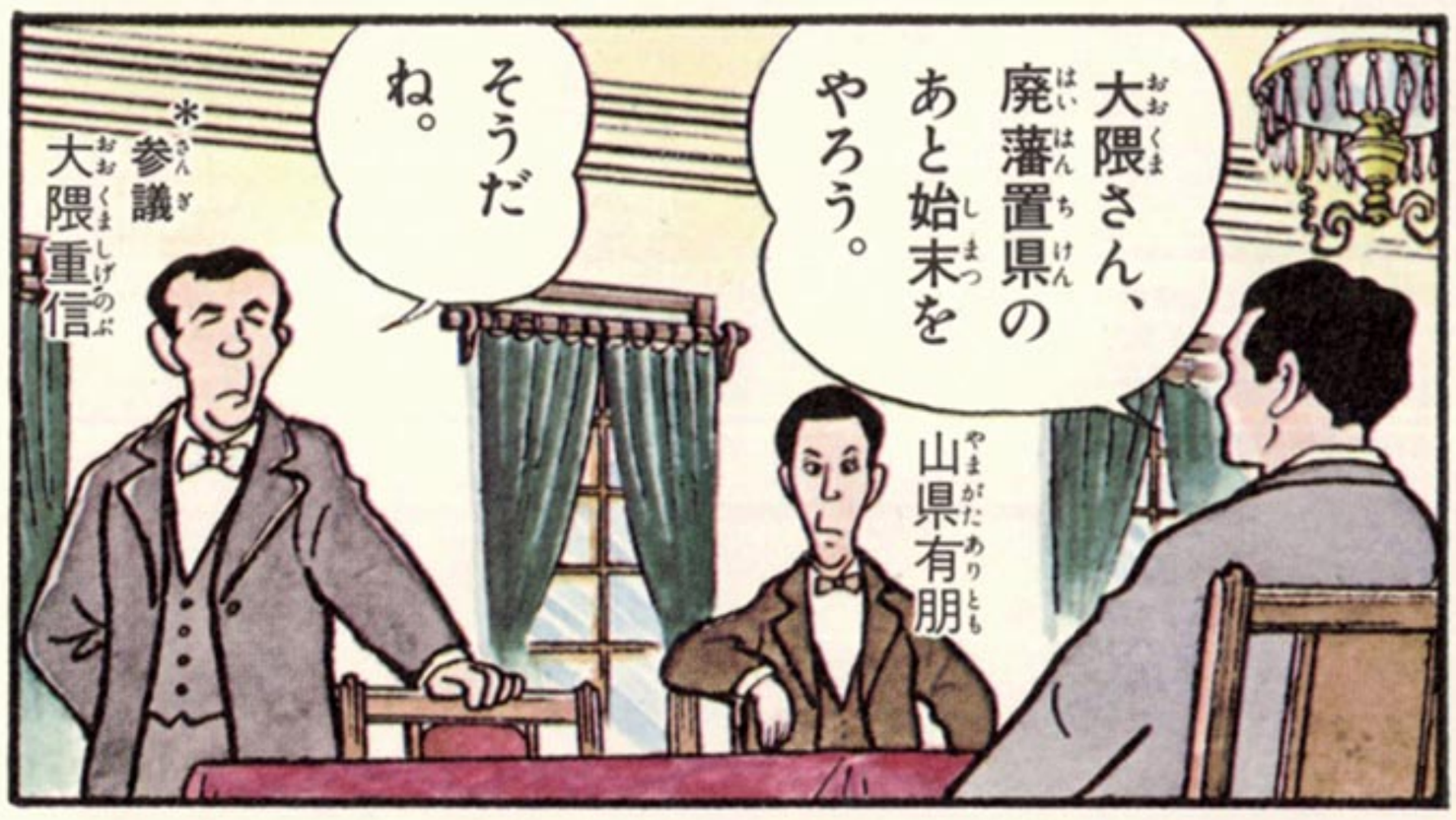
一行は、フランスをあとにすると、ベルギー、オランダをへて、三月九日ドイツのベルリンにつきました。

＊プロイセン…ドイツの王国。宰相（首相）ビスマルクのもとで力を強め、一八七一年、プロイセン王を皇帝とするドイツ帝国が成立した。英語名はプロシア。

一行は、このあとロシア、デンマーク、スウェーデン、オーストリアなどの諸国をおとずれ、帰国の途につきました。



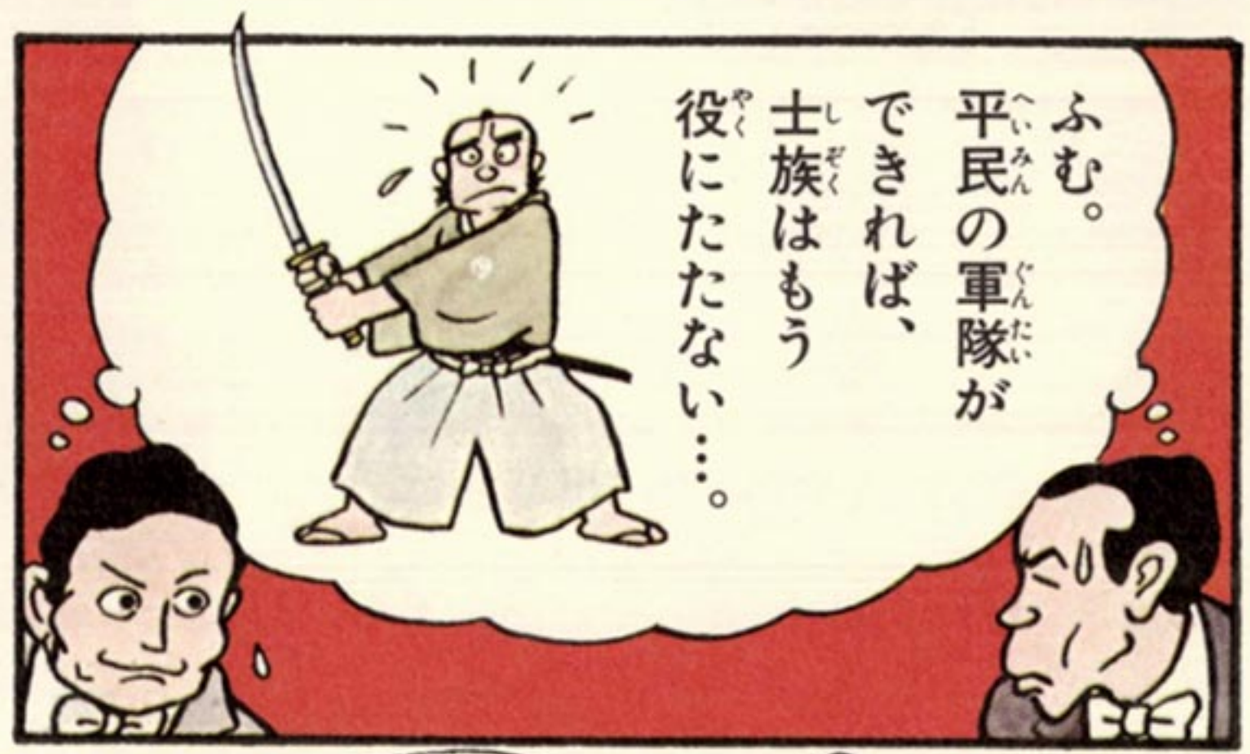




*参議…明治初期の政府の役職。薩長土肥の代表的な人物が任命され、政府の実権をにぎった。

*大蔵大輔…大蔵省の次官。このころの大蔵省は、国の財政だけでなく、政治のいろいろな分野をうけもった。

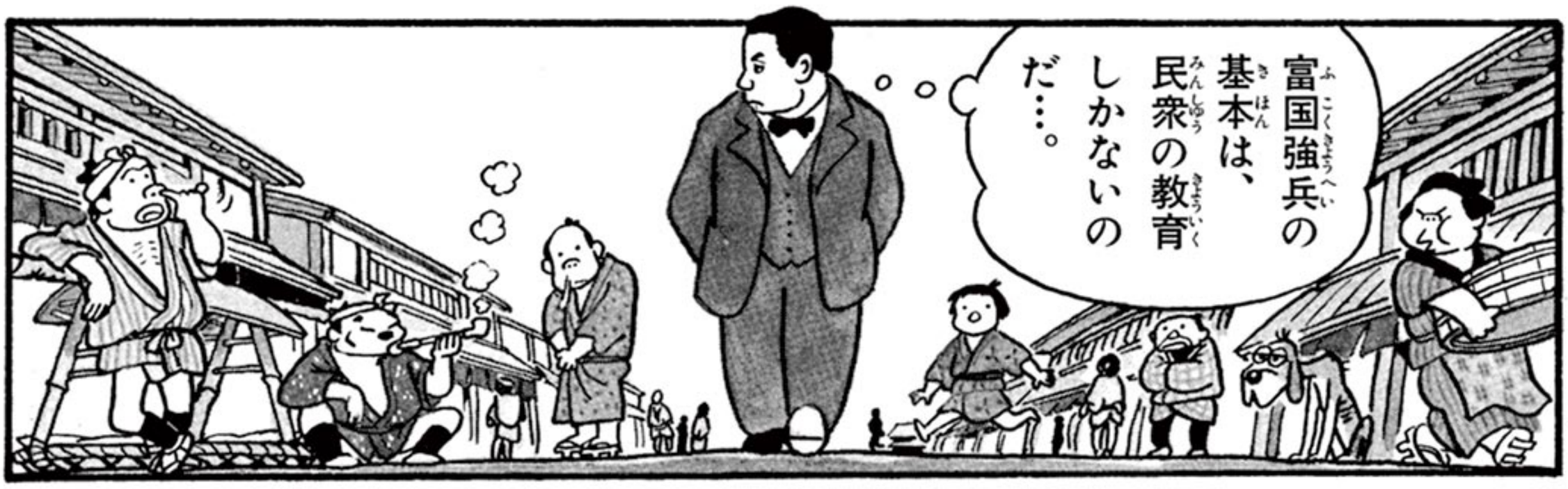
*秩禄…士族への俸給のこと。



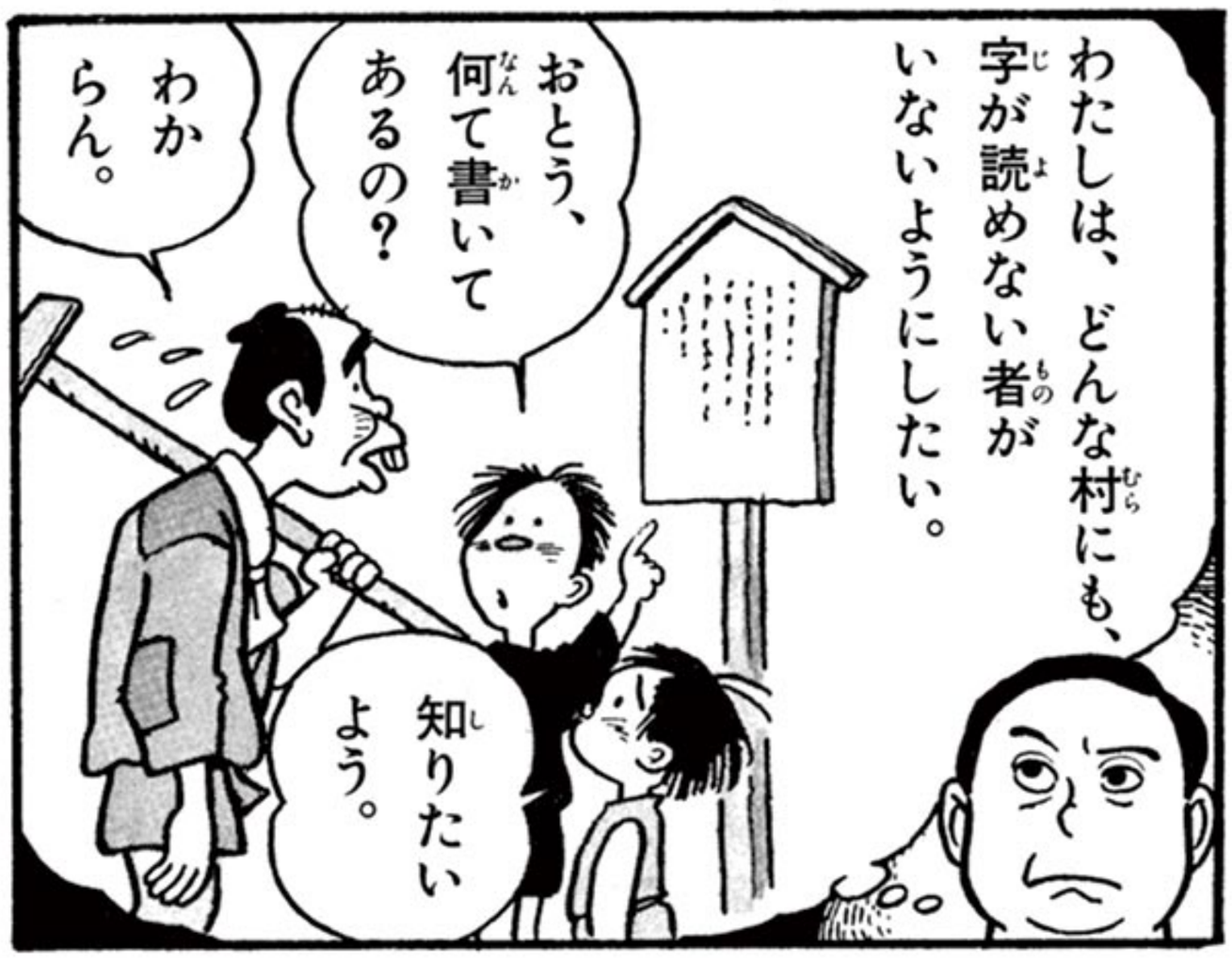
しかし、士族への秩禄をうちきる政策（これを秩禄処分といいます）は、政府内部にも反対があり、すぐには実行できませんでした。

*兵部大輔…陸軍省、海軍省の次官。軍事の仕事を担当した。

一方、*文部卿大木喬任を中心に、学校制度をつくる準備がすすめられてきました。



*文部卿…文部省の長官。



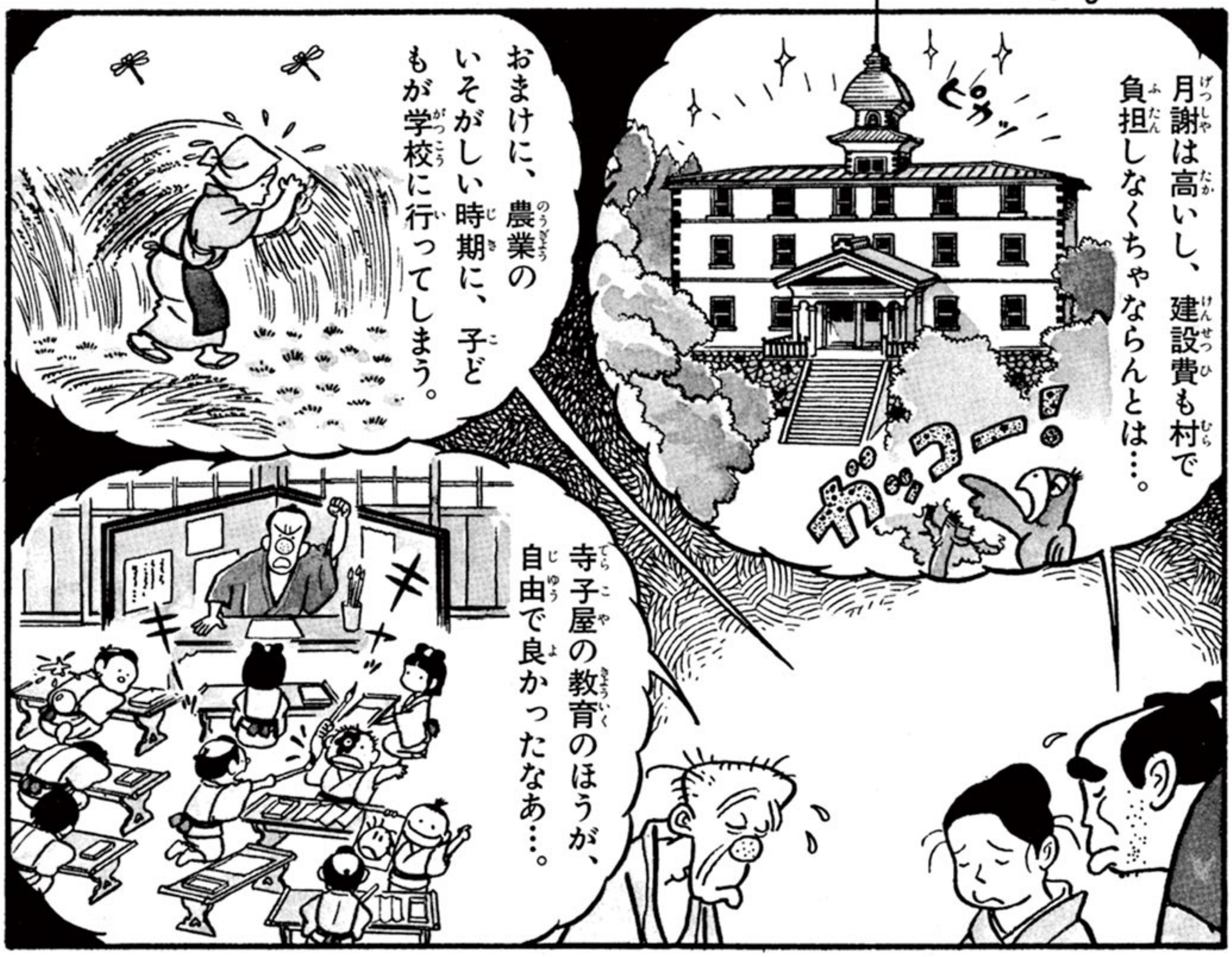
文部省は教育・学術・文化をあつかう官庁。

岩倉大使一行の留守中、大きな改革を行わないという約束をよそに、つぎつぎと新しい改革がすすめられたのじゃ。

一八七二年(明治五)、学制が発布されました。

小学校っていうのができて、おまえたちも行くことになった。

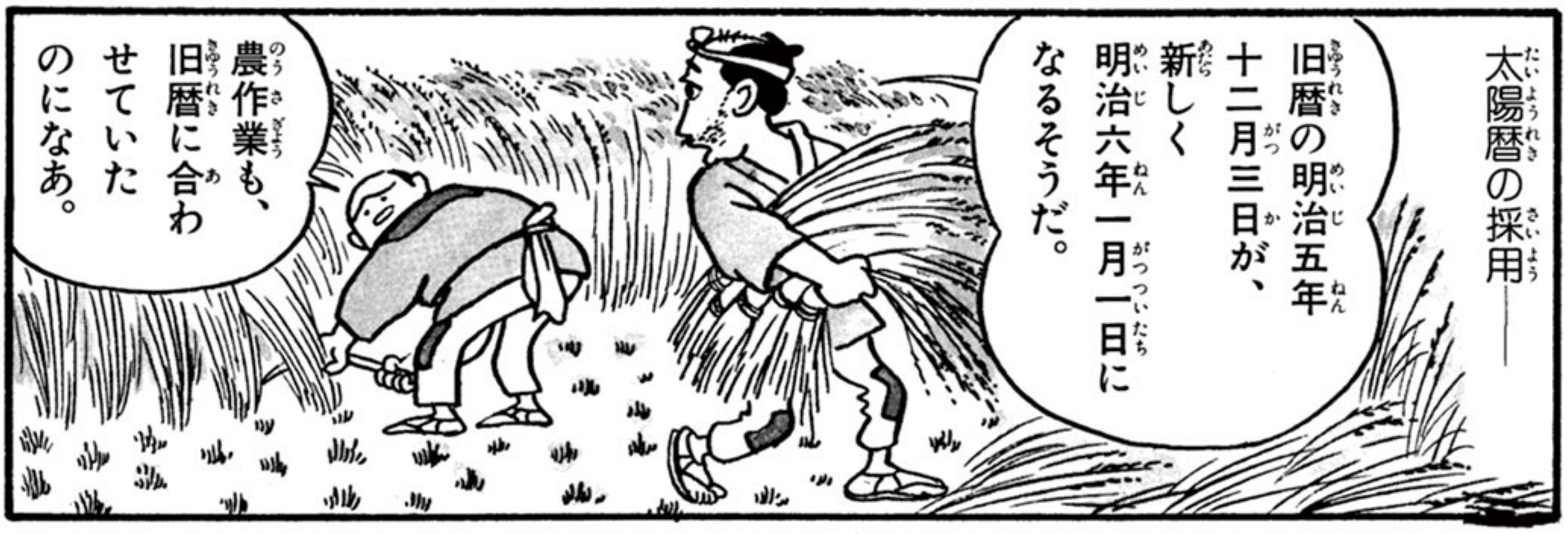
学校？



月謝は高いし、建設費も村で負担しなくちゃならんとは…。

おまけに、農業のいそがしい時期に、子どもが学校に行ってしまう。

寺子屋の教育のほうが、自由で良かったなあ…。



太陽暦の採用——

旧暦の明治五年十二月三日が、新しく明治六年一月一日になるそうだ。

農作業も、旧暦に合わせていたのになあ。

一八七二年(明治五)十一月には「徴兵告諭」が出され、翌年一月には徴兵令が発布されました。

満二十歳になった男子は徴兵されて、生き血をしぼりとられるらしい。

ゲェッ

「徴兵告諭」のなかに血で税をとるとあったが、わしらの生き血をとるのか!?

まて、「血税」とは、身をもって国のためにはたらくという意味だ。兵役のことなんだ!

なんだそうか。

しかし、はたらき手をとられることには、かわりないなあ。

なんとかなんねえか。

一家の主人である長男は、徴兵に行かなくてもよいのだ。養子になるという手もあるぞ。

わしらのような役人や、税金をたくさんおさめた人は、行かなくてすむのじゃ。

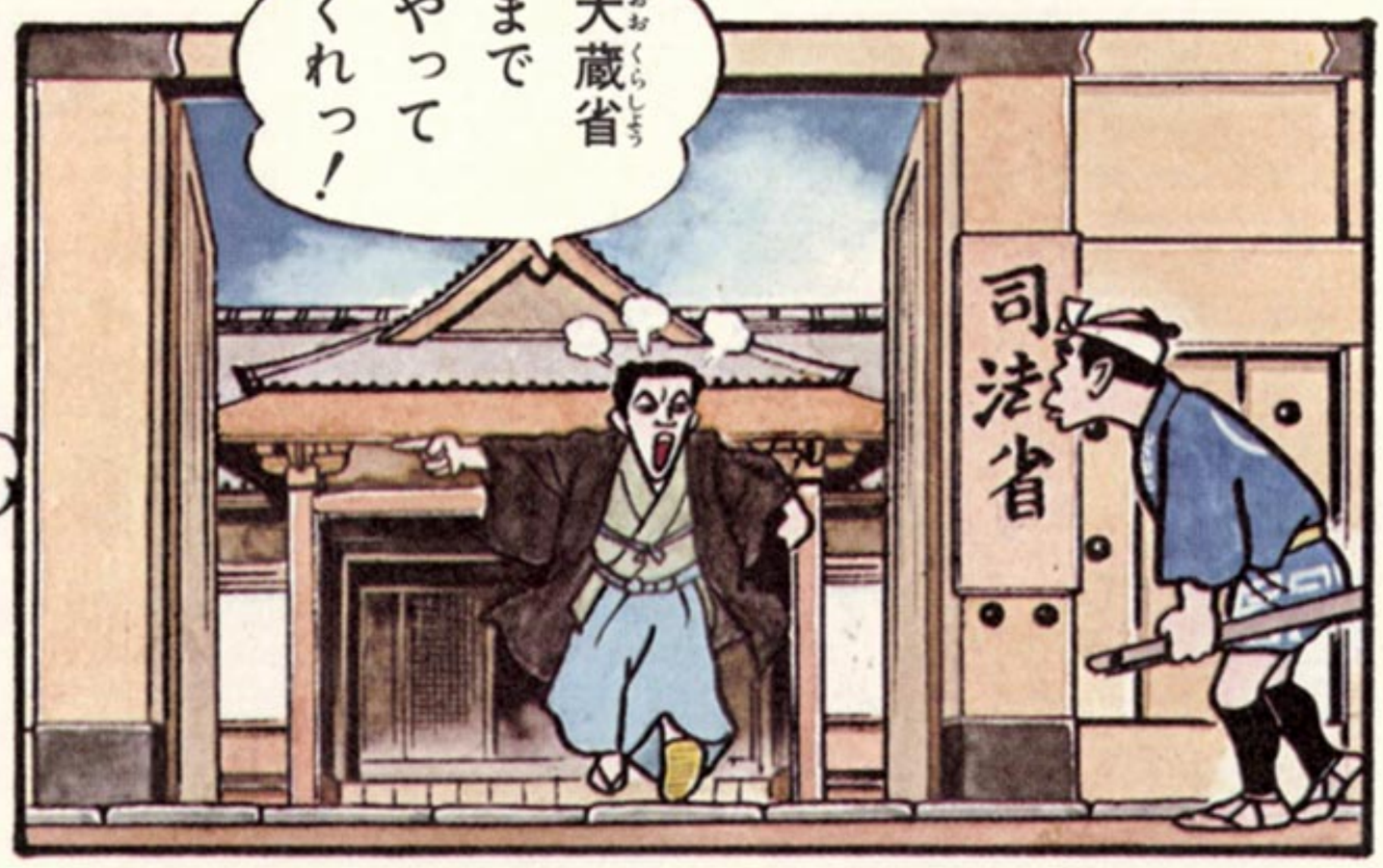
新しい世の中になったのはいいが…。

ブッ ブッ

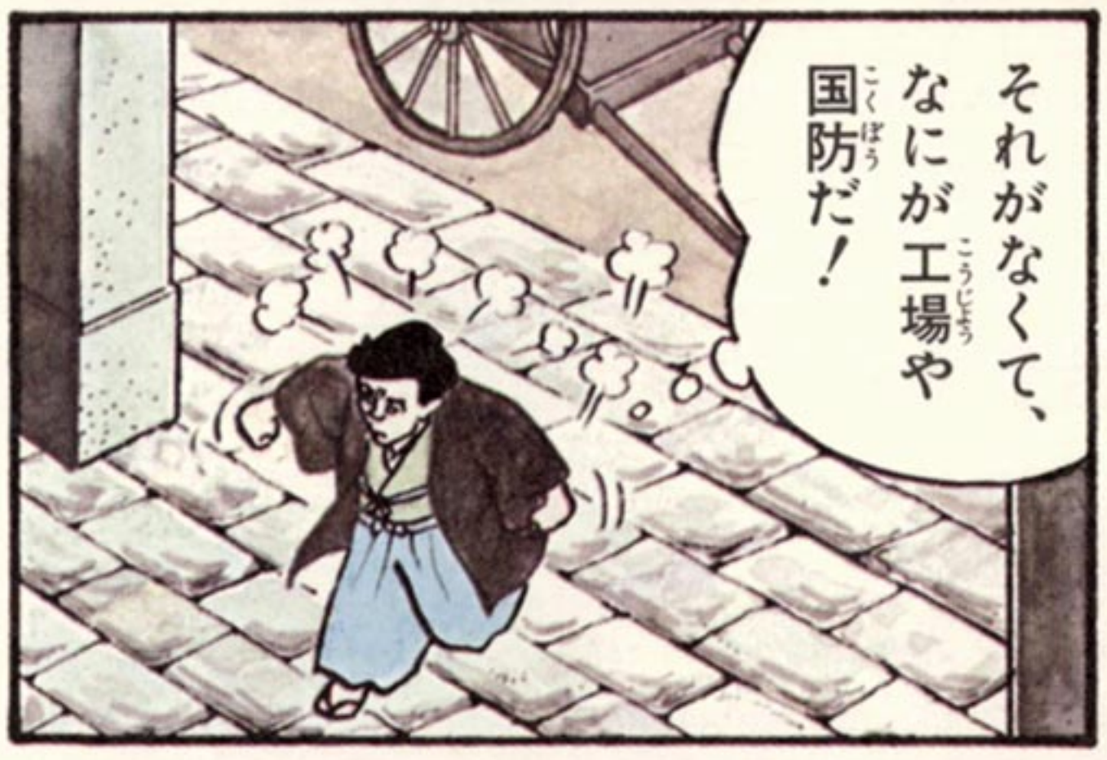
ゾロ ゾロ

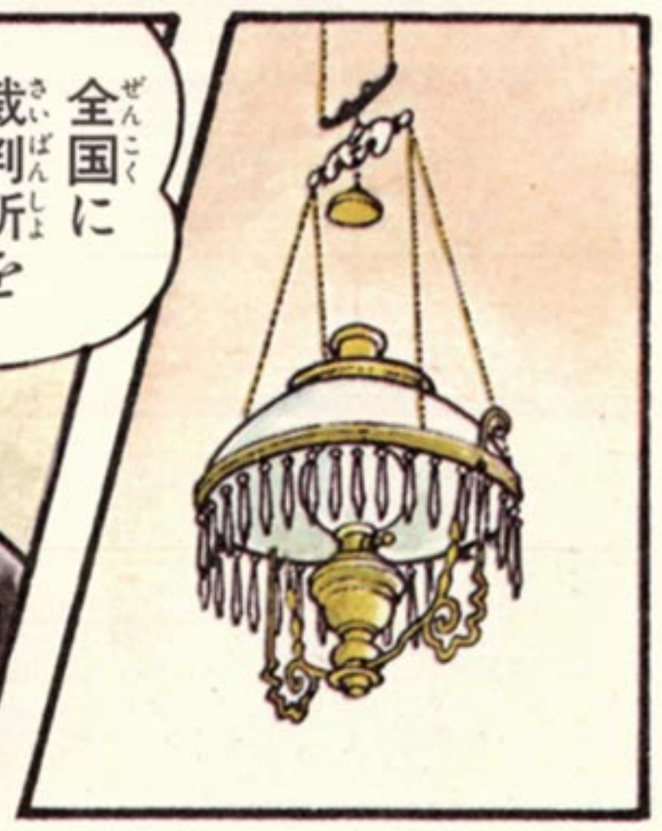
わしらの意見も、聞いてほしいわい。

民衆たちの不満もあったが、だんだんと近代社会のしくみがととのってきたのだ。



*司法卿…司法省の長官。司法省は法律をとりあつかう官庁。

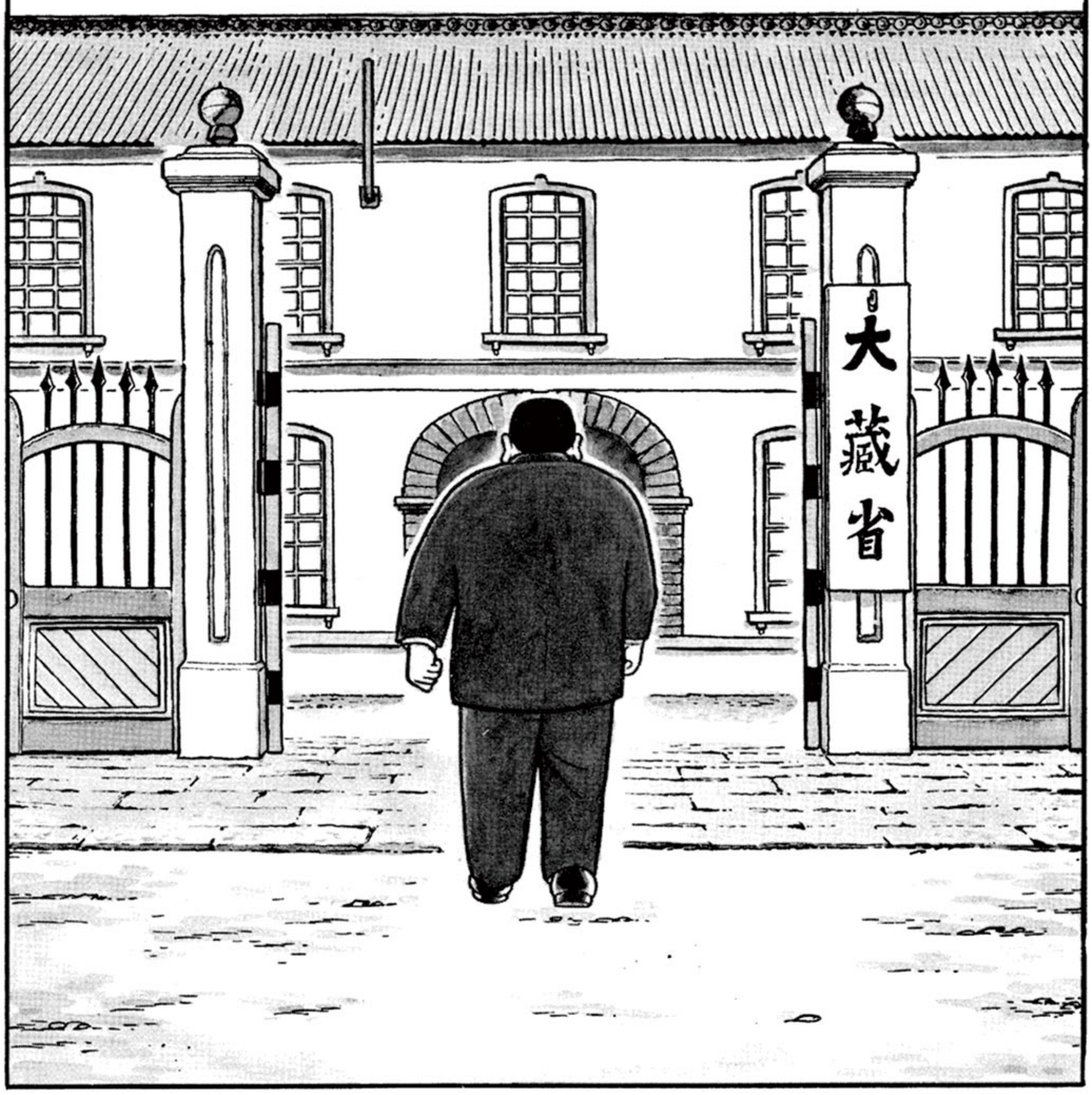




大蔵省
プリ
プリ
ドサッ
こんな政府ではだめだ！国民のためには、絶対に法律の準備が必要だ。
ドーン！
プリ
プリ
おっ、江藤くんだ…。何をおこっているのか？
プリ
プリ
また、井上くんと、予算のことでけんかでもしたのだろう。
参議 西郷隆盛
ううむ、大久保さんたちのいない間に、改革もすすんだが、問題もふえてきもうした。
大蔵省

大蔵卿の大久保利通が岩倉使節団にくわわっていたため、大蔵省の実権は、大蔵大輔である井上馨がにぎっていました。国家予算の作成をめぐって、大蔵省と各省の対立は、ますます深刻になっていきました。

井上は、産業の発達や軍事力の充実をはかる政策を、積極的にすすめました。このため、法律制度や教育制度の整備をすすめる司法省、文部省とはげしく対立しました。なかでも、司法卿の江藤新平は、大蔵省をまっこうから非難しました。こうしたなかで、一八七三年(明治六)五月、井上馨以下、大蔵省の首脳部が辞職しました。この後も、政府部内の対立はさらに大きくなり、西郷の朝鮮派遣問題がおこると、分れつの危機をむかえることになります。この様子は、第四章で見ていくことにしましょう。



小学館 eBooks

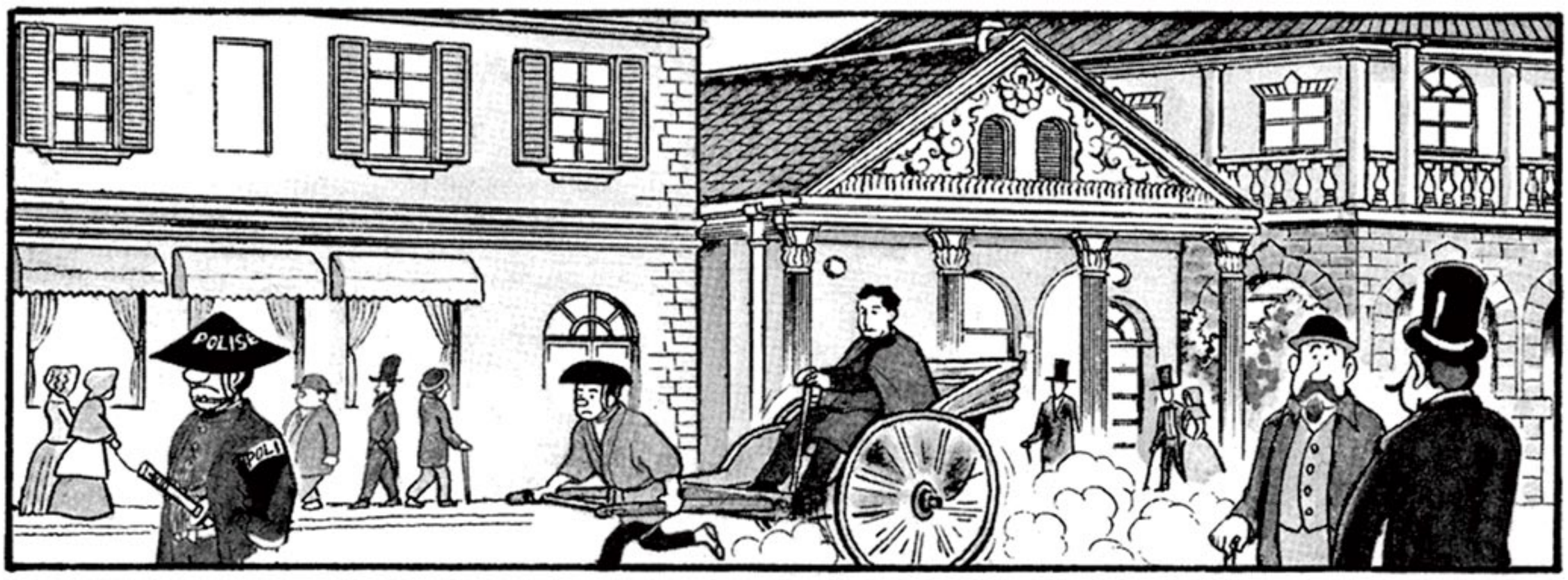
第二章

文明開化

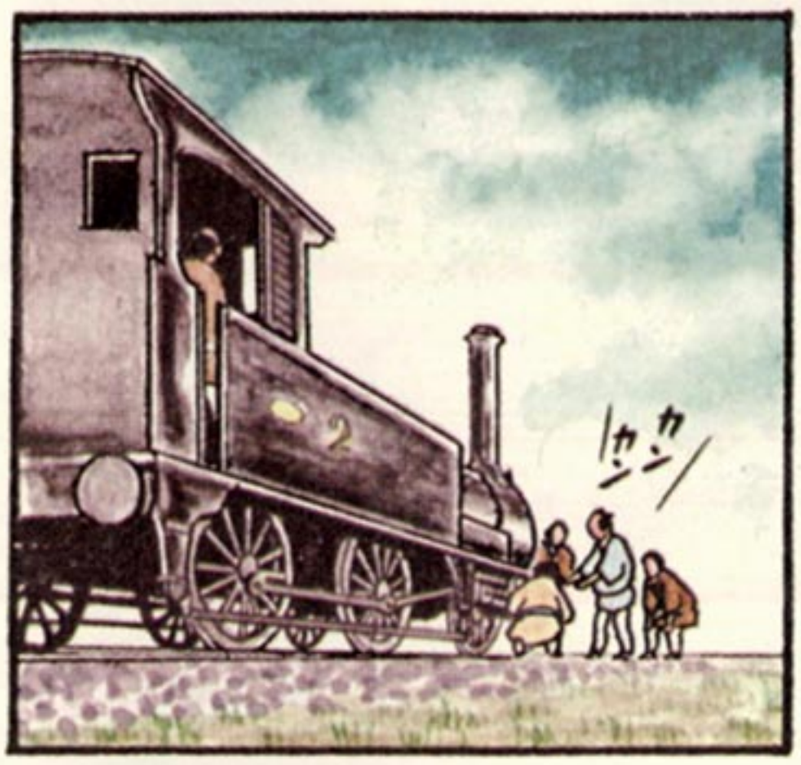
——明治時代前期——

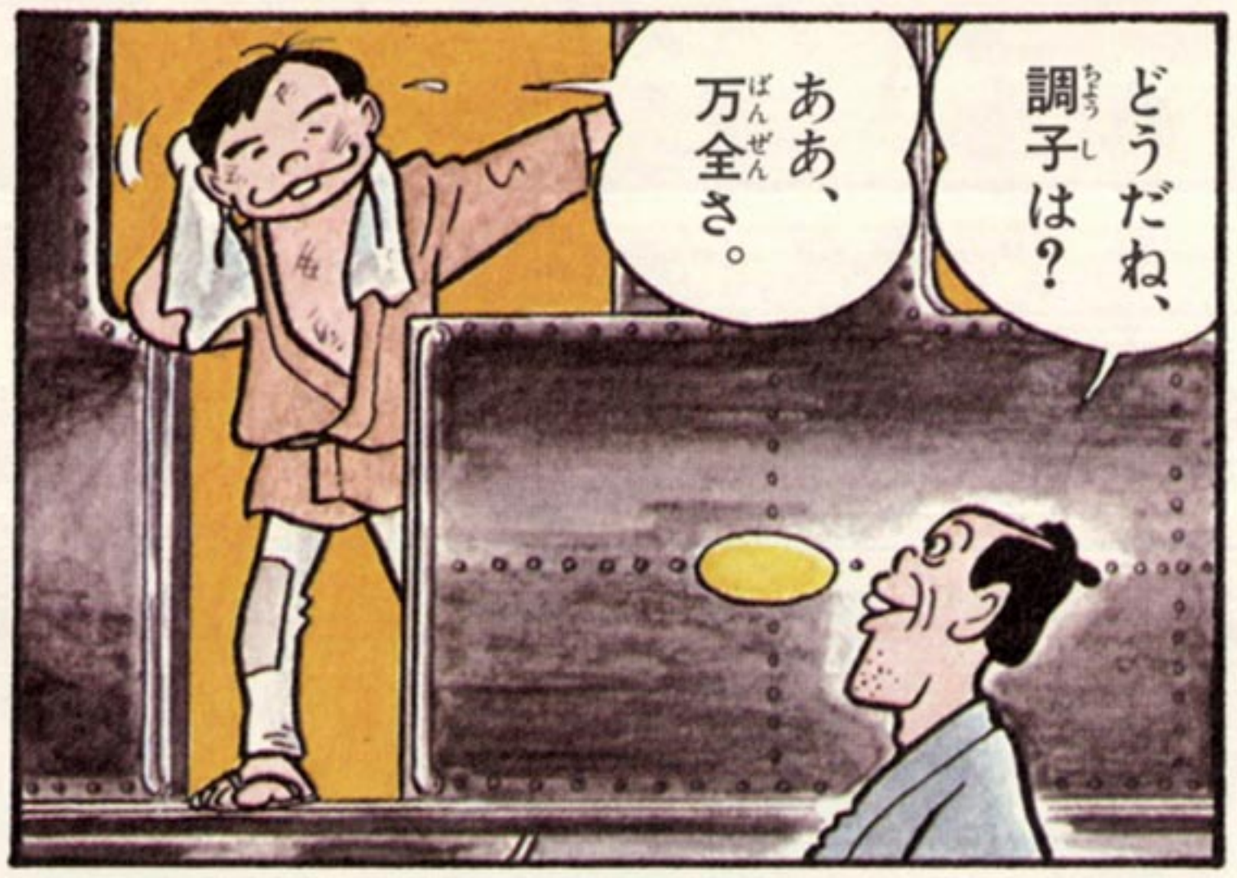
一八七二年(明治五)九月

ここは横浜です。



*権令…一八七一年、廃藩置県によっておかれた県の長官で、任命された人の位が高い人を県令、低い人を権令といった。



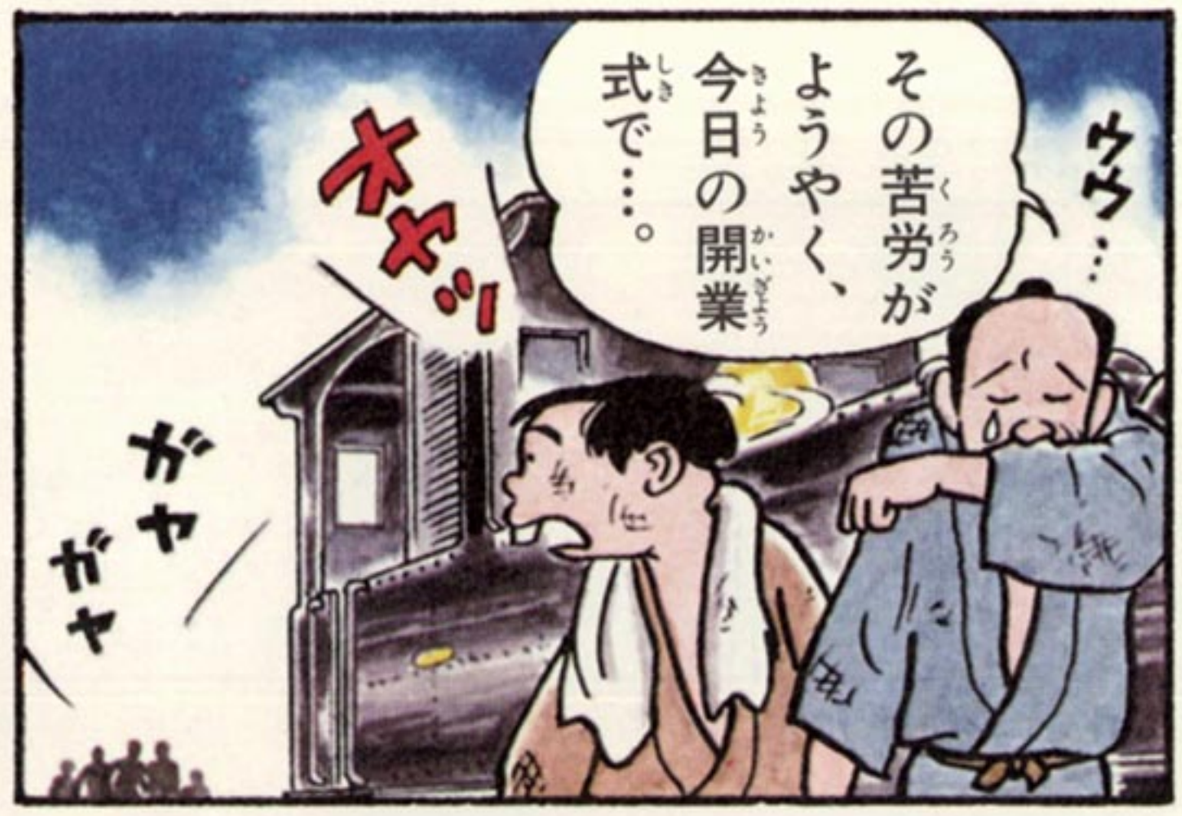


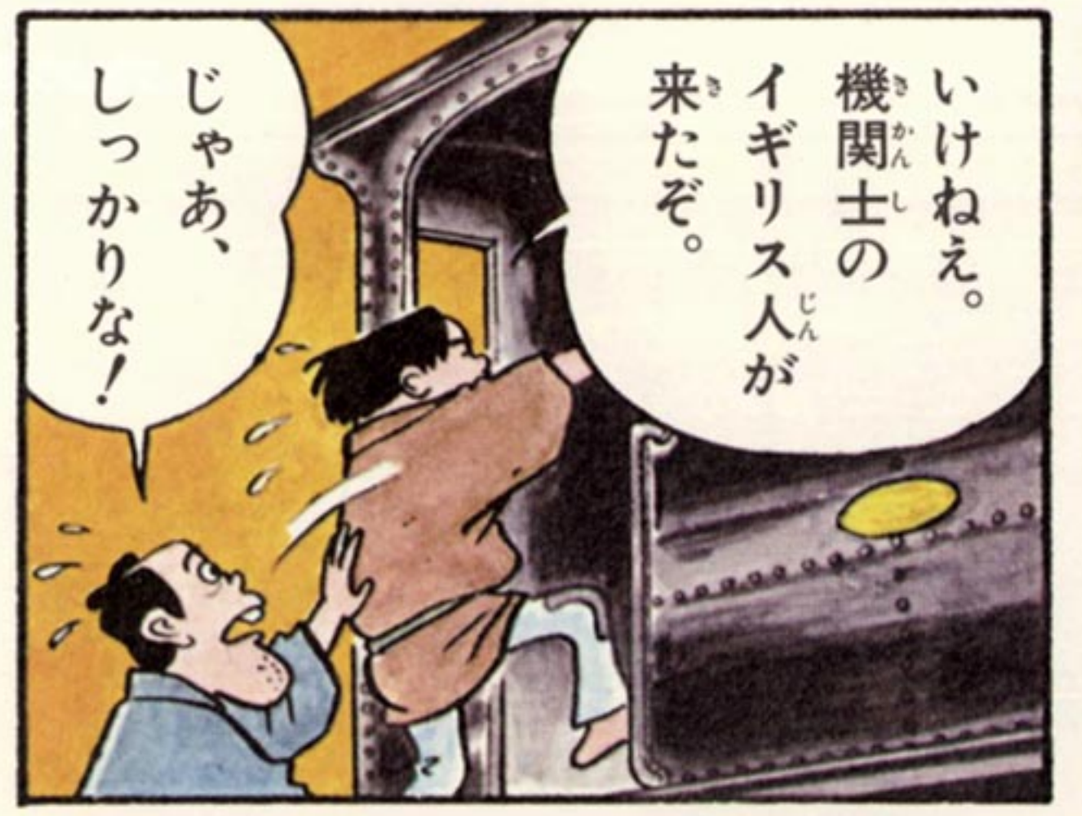
*新橋駅…元の東京都港区汐留貨物駅にあたる。

この機関車は全長約七・七メートル、重さは約二十二・三トン。新橋―横浜間を一時間足らずで走ってしまうからたいしたもんさ！

じゃが、機関車があっても線路がないと走れない。線路の敷設工事が、急ピッチで行われたんじゃ。

工事は、イギリス人技術者の指導のもとで行われました。山すそを切りくずし、海岸をうめたてるなど、難工事の連続でしたが、約二年半で完成にこぎつけたのです。





＊横浜駅…現在の神奈川県横浜市桜木町駅にあたる。

こちらは＊横浜駅前―

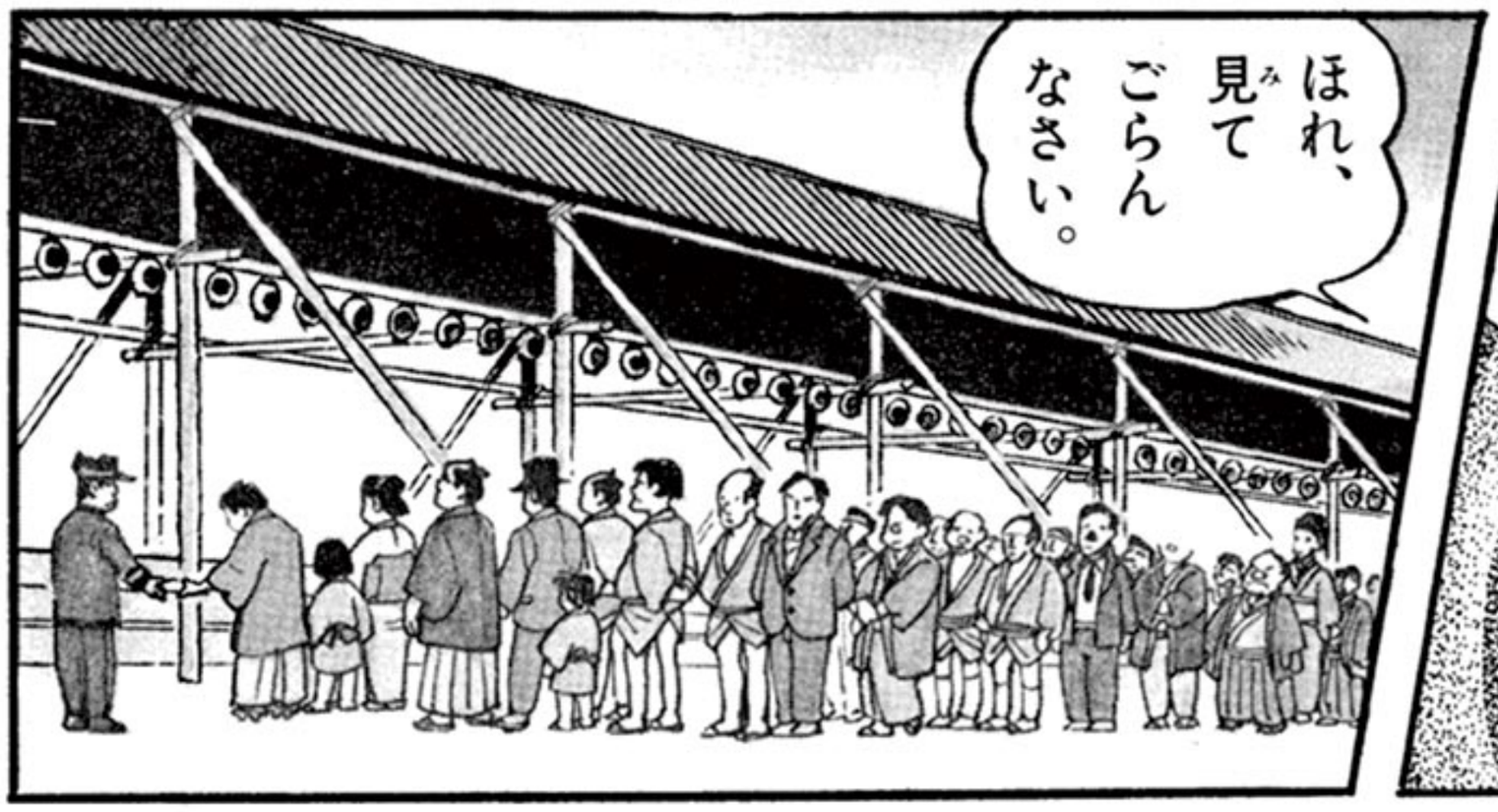
ワイワイ

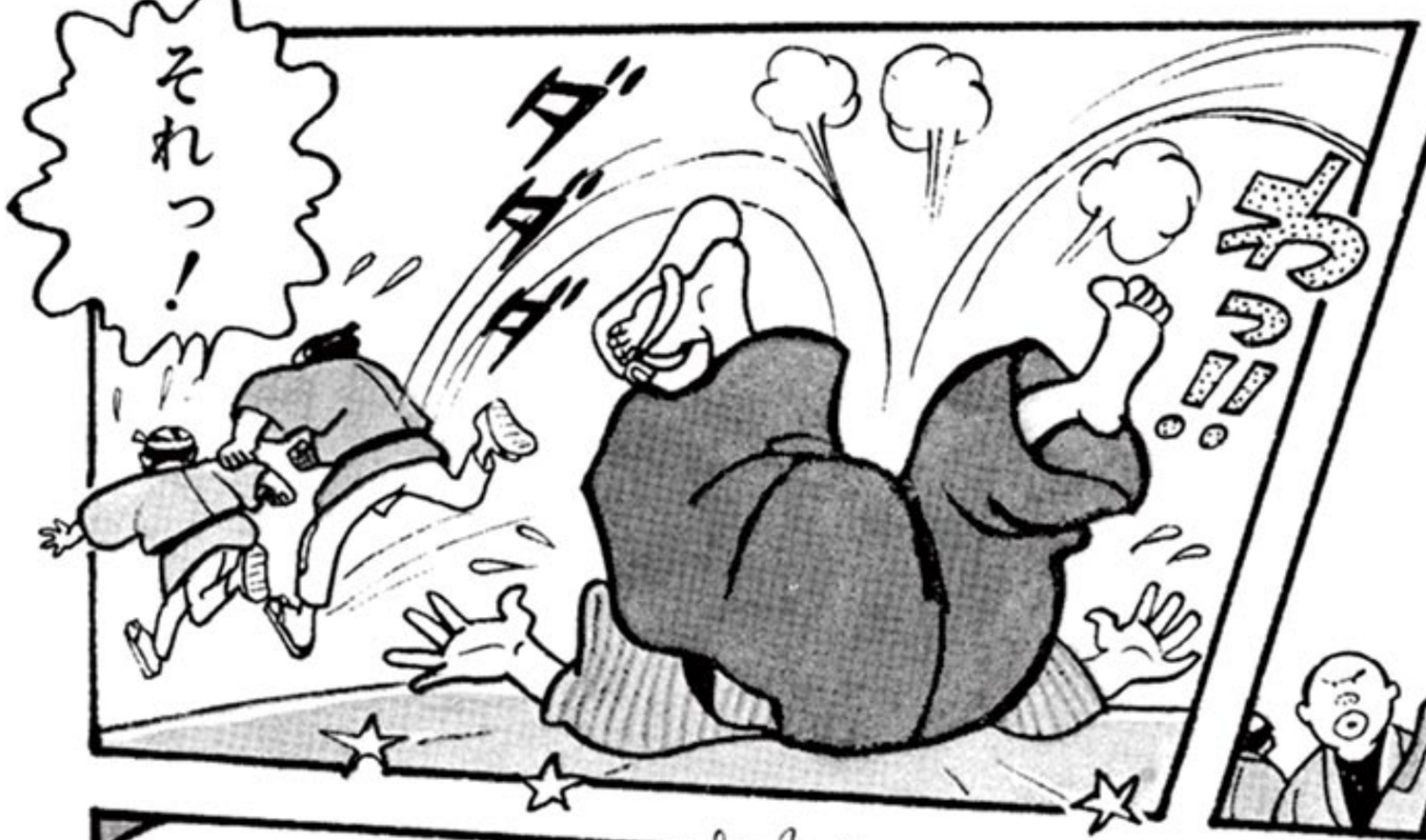
ガヤガヤ

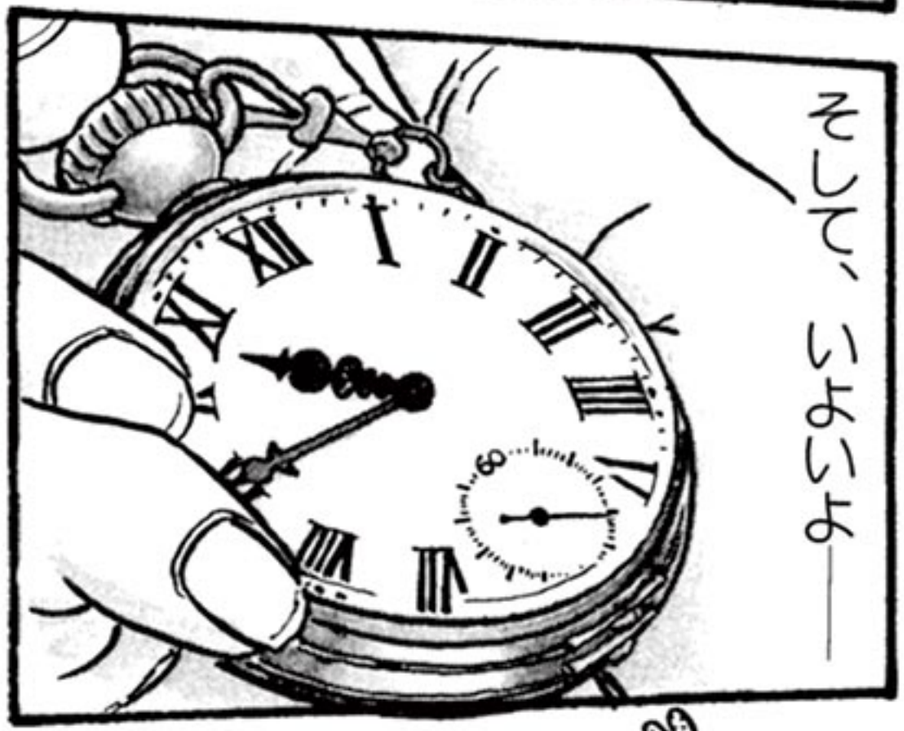
クイクイ

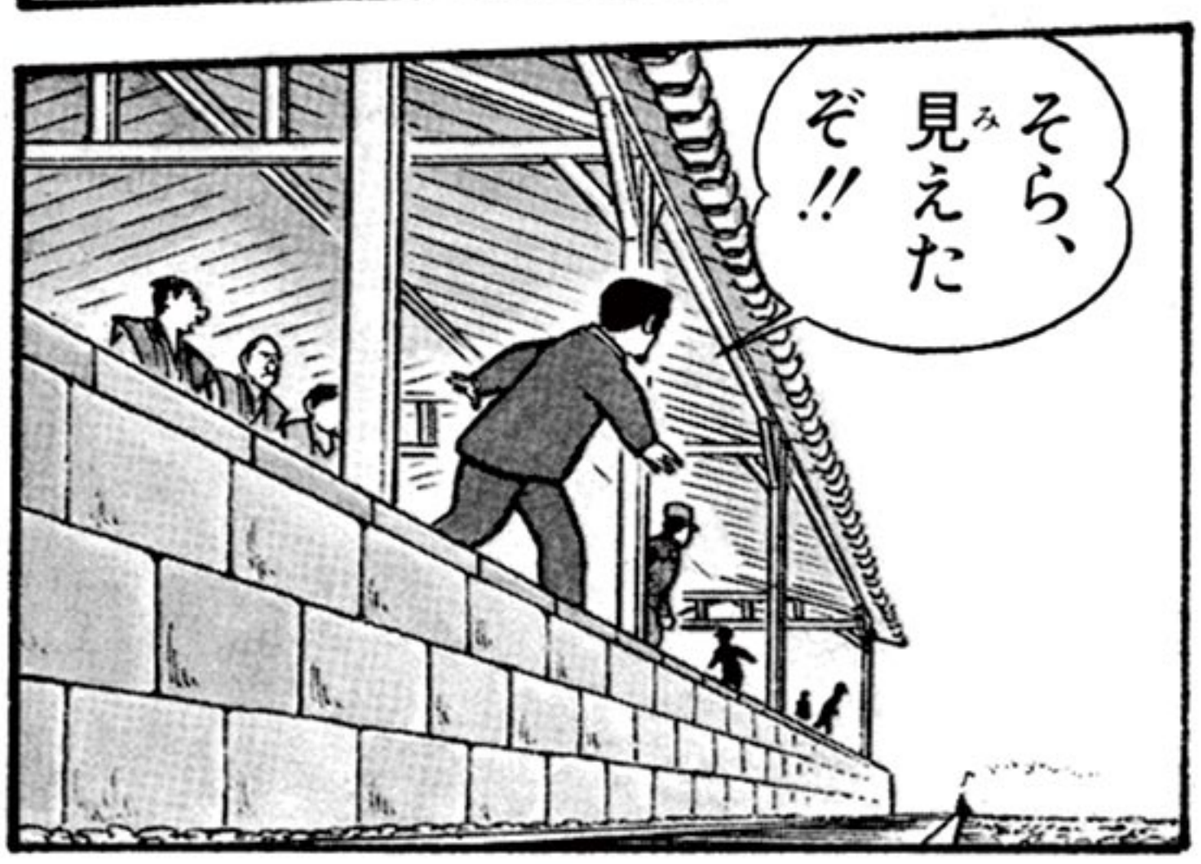
たくさんの人だなあ。

わしら、五時間もまっているんだよ。









*お召し列車…天皇や皇族がのる列車。

その日、新橋駅で鉄道開業をいわう式典が行われ、明治天皇は、みずから式にのぞみました。天皇、政府高官、各国の外交官をのせたお召し列車は、午前十時に新橋駅を出発し、一時間ほどで横浜駅につきました。

どうして、こんなものが走るのじゃ!?

日本も文明国のなかま入りじゃ!!

うへえ!! おそろしや! おそろしや!

＊黒田清隆…北海道開拓次官。

横浜駅の会場でも、新橋駅と同じく盛大な式典が行われました。

このマリア＝ルーズ号事件は、文明開化にあけくれる当時の日本に、課題をなげかけた事件だったのだ。

一八七二年（明治五）六月十五日、横浜に入港していたペルーのマリア＝ルーズ号から、清国人の一人が、イギリス船にすくいをもとめてきました。

たすけてください。マリア＝ルーズ号には、清国人が二百三十人も、どれいとしてとじこめられているのです。

＊外務卿…外務省の長官。

事件は、イギリス公使を通じて日本にもちこまれました。＊外務卿副島種臣から事件の審理を命ぜられた大江卓は、清国人全員を保護し、人道上の立場から裁判をすすめました。

判決！

人身売買はゆるさない。全員、本国に帰すように！

バンザーイ

ところが、裁判中にマリア＝ルーズ号の船長は――

日本にだって、人身売買はあるじゃないですか。

なんということを…。

いろいろ考えさせられた事件であった…。

日本にも、まだまだ問題点がたくさんある…。

身分差別や人身売買などがなくなってはじめて、ほんとうの開化といえるのだが……。

パカパカ

政府は、一八七二年十月、すべての人身売買を禁止しました。一方、前年八月、士農工商の下で差別されてきた人びとが、いわゆる解放令によって、平民とされました。

*陸蒸気…汽車のこと。蒸気船にたいし、陸上を走ることからこうよばれた。

窓から見ると、沿道は見物人でいっぱいじゃった。

シュッ

シュッ

ワーイ

おかげで、おりるとき…。

ゴロ ゴロ ガガ…

はっはっはっ…

そのうえ、運賃が高い。東京から横浜までが一両二朱！

へええっ、そいつは大金だ！

おかげで、さいふはからっぽさ…。

だんな、お勘定はだいじょうぶで…!?

ブ ブ ブ ブ

さあ、そろそろ出かけようか。

数日後、ここは横浜——

商談もうまくいったわい。

あ〜あ

しかし、通訳がいなければ、どうなったことか…。

ペラペラ

取引はOKよ！

キョトン

これからは、外国語の勉強が必要ですね。

うむ。

せっかくだから、陸蒸気にのって東京見物でもして帰ろうか。

はい！

賛成！

おや、けんかだ！

この町人ふぜいが!!

やめなさい！

*中津藩…大分県中津地方を領地とした藩。*ペリー…アメリカの海軍軍人。第十六巻第一章参照。

*浦賀…神奈川県横須賀市の港。*緒方洪庵…江戸時代後期の蘭学者。大坂で蘭学塾(適塾)をひらき、多くの青年を指導した。

オランダ語だけではだめだと思った先生は、江戸に出て熱心に英語を勉強したんだ。

Good morning.

そして、幸運にも*勝海舟らの幕府の使節団にくわわり、アメリカにわたることになった。

その後、ヨーロッパの国ぐににもわたり、見聞を広めたんだ。

そして、江戸で英語塾をひらき、一八六八年に慶應義塾と名づけた。

身分によって人を差別することはいけない。どんな仕事の人も、力を合わせてはたらくことがたいせつだ。

福沢先生のおっしゃるとおり、士族であろうとだれであろうと、平等なんだ。さあ、元気を出して！

はい！

福沢先生か……。

ぼくも、先生のもとで勉強してみたいな…。

この後、村田貞右衛門親子は、東京見物のため上京し、むすこの勝太郎は慶應義塾に入塾して勉強することになりました。

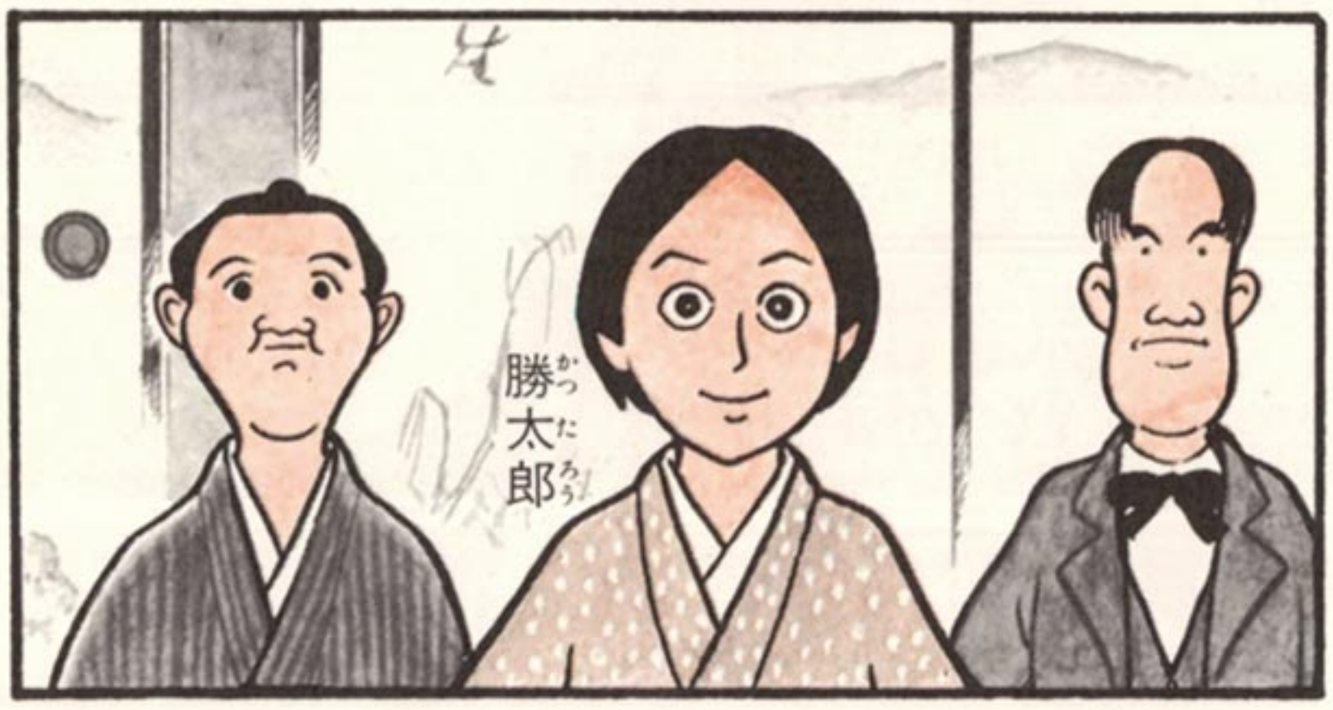
*勝海舟…第十六巻第二章参照。

*三田…現在の東京都港区三田。

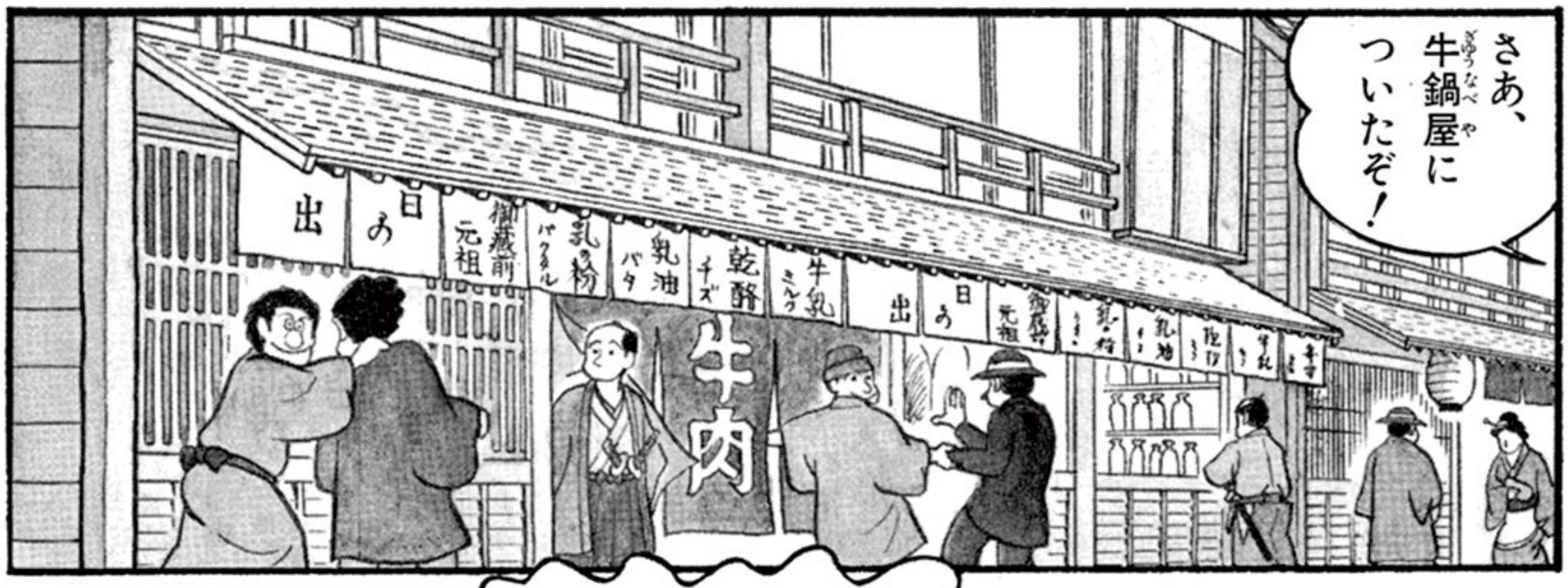
一八七四年(明治七)二月、
*三田の慶應義塾

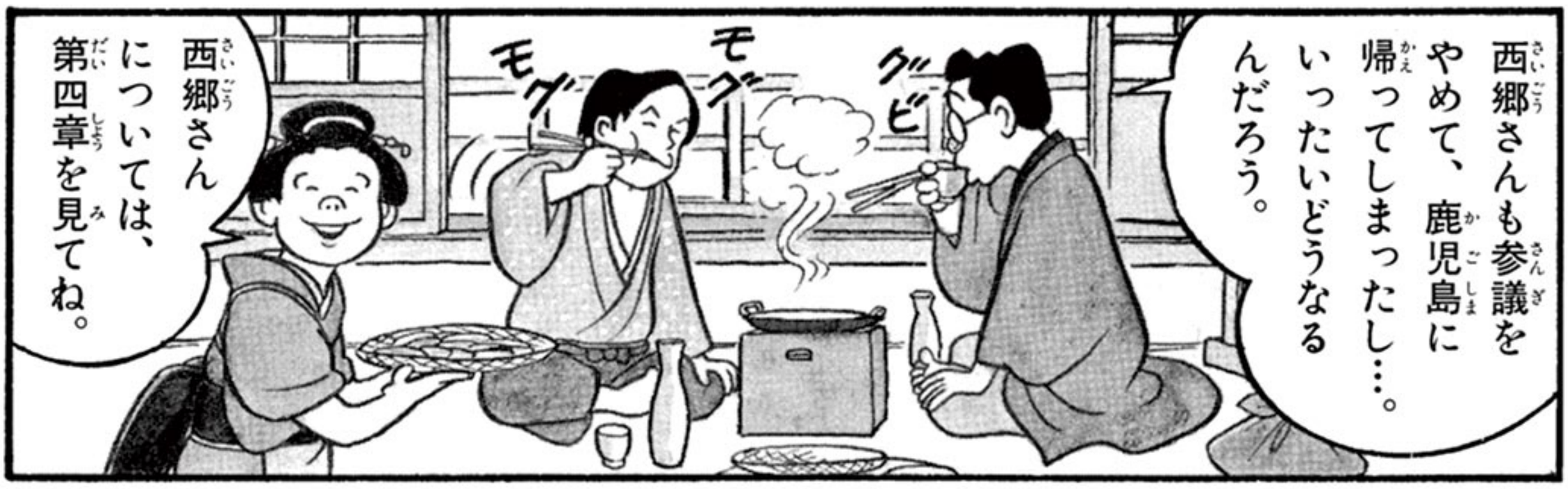
福沢諭吉

これからの学問は、じっさいに世の中の役にたたなくてはいけません。



さあ、新聞だ！新聞だ！
カラ
カラ
文明開化を知らないやつは、新聞せんじてのませたい。
一つくれ！
へい！
おっ！板垣さんのことだ。
どれどれ…、現在は、役人だけが天下をにぎっている。
これからは、人民がえらんだ代議士で議院をつくるべきだ…、とある。
うむ、なかなかのものだな。
農民や町人が政治に参加できる日が、ほんとうに来るのでしょうか。





明治時代になると、食生活にも、西洋の飲食物がとり入れられるようになりました。とくに、それまでいやがられていた牛肉を食べることが流行しました。また、牛乳、パン、ビールなども広まりました。

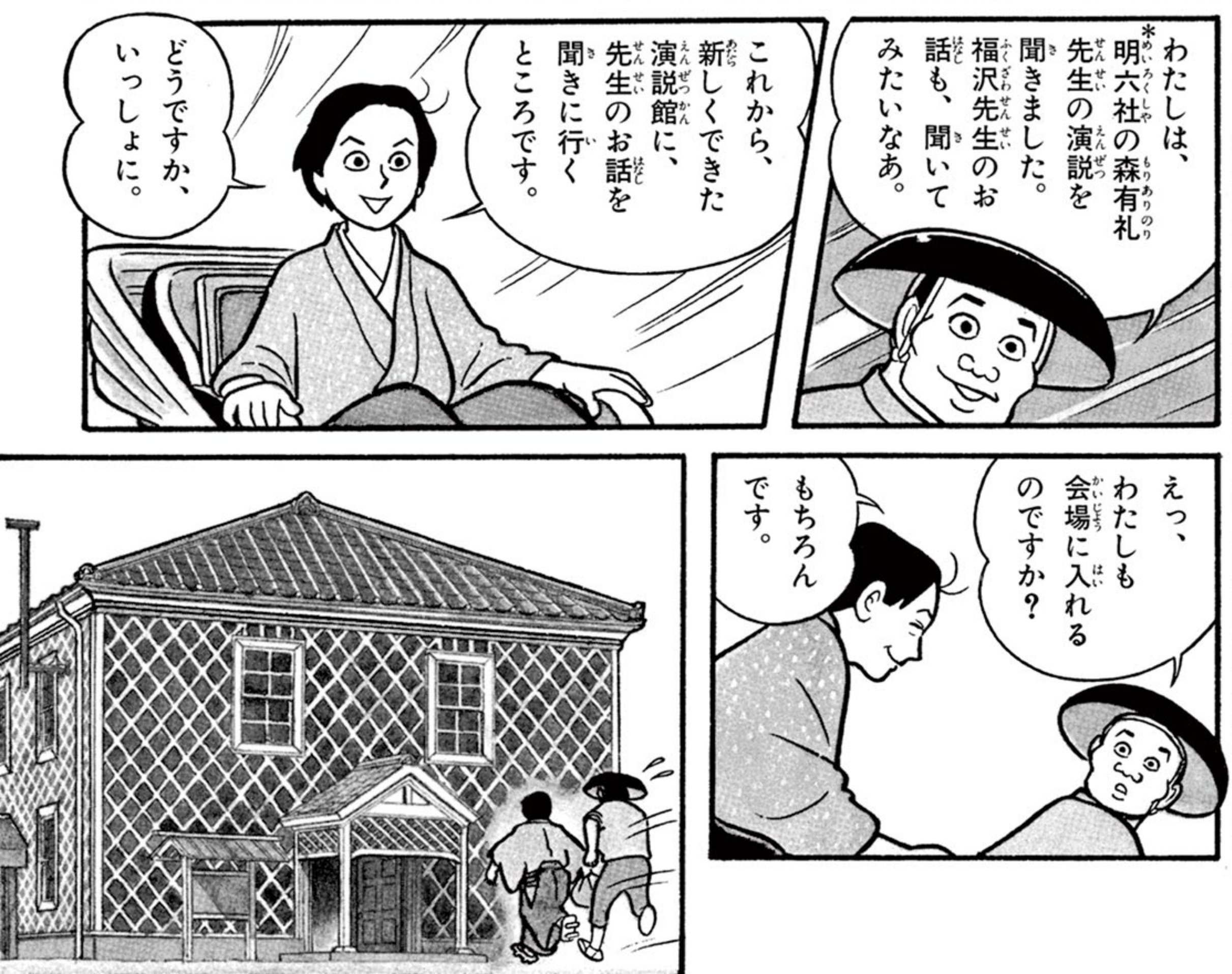
翌一八七五年
初夏、勝太郎の
下宿——

左の建物は、第一国立銀行です。五階建ての洋風大建築は、文明開化期を代表する建築物として、東京の名所となりました。

政府は、一八七一年（明治四）に新貨条令を発布して、円、銭、厘の新しい貨幣単位をさだめ、貨幣の統一をすすめました。一八七二年には第一国立銀行ほか、合わせて四つの国立銀行ができました。

銀座のれんが街

ほう、勝太郎さんは慶應義塾の学生ですか。



＊明六社…一八七三年（明治六）に、森有礼、福沢諭吉らによってつくられた団体。「明六雑誌」を出し、新しい西洋の文化や思想を広めた。

国家の独立には、まず、一身の独立が必要です。ひとりひとりが、独立自尊の心をもつことです。

演説ということばは、福沢諭吉が英語のスピーチを翻訳したものです。福沢は、大勢の人の前で自分の意見を自由にのべることがたいせつだとして、慶應義塾内で三田演説会をひらきました。やがて演説会は、全国各地でひらかれるようになりました。

福沢諭吉

一八七六年、
勝太郎のふるさと、
静岡県のある村――

昔は、
よく
このお寺の
境内で、
あそんだもの
だなあ。

今は
小学校に
なっている。

ふふふ、
士族の
山本さんが
先生か…。

新しい新聞が、
縦覧所について
そうだ。

楽しみ
だな。

縦覧所？

ぼくも、
行って
みよう。

区長
さんの
家が、
縦覧所
か。

西洋の文化がとり入れられると、人びとの生活はしだいに変化しました。しかし、農村では、衣食住の生活様式がすぐにかわることはありませんでした。また、新しい学問や思想が福沢諭吉らによってしょうかいされ、自由や権利をとうとぶ考えが広まり、自由民権運動にうけつがれていきます。

小学館 eBooks

第三章

北の開拓と殖産興業

――明治時代前期――

*有珠郡紋別…北海道伊達市付近。

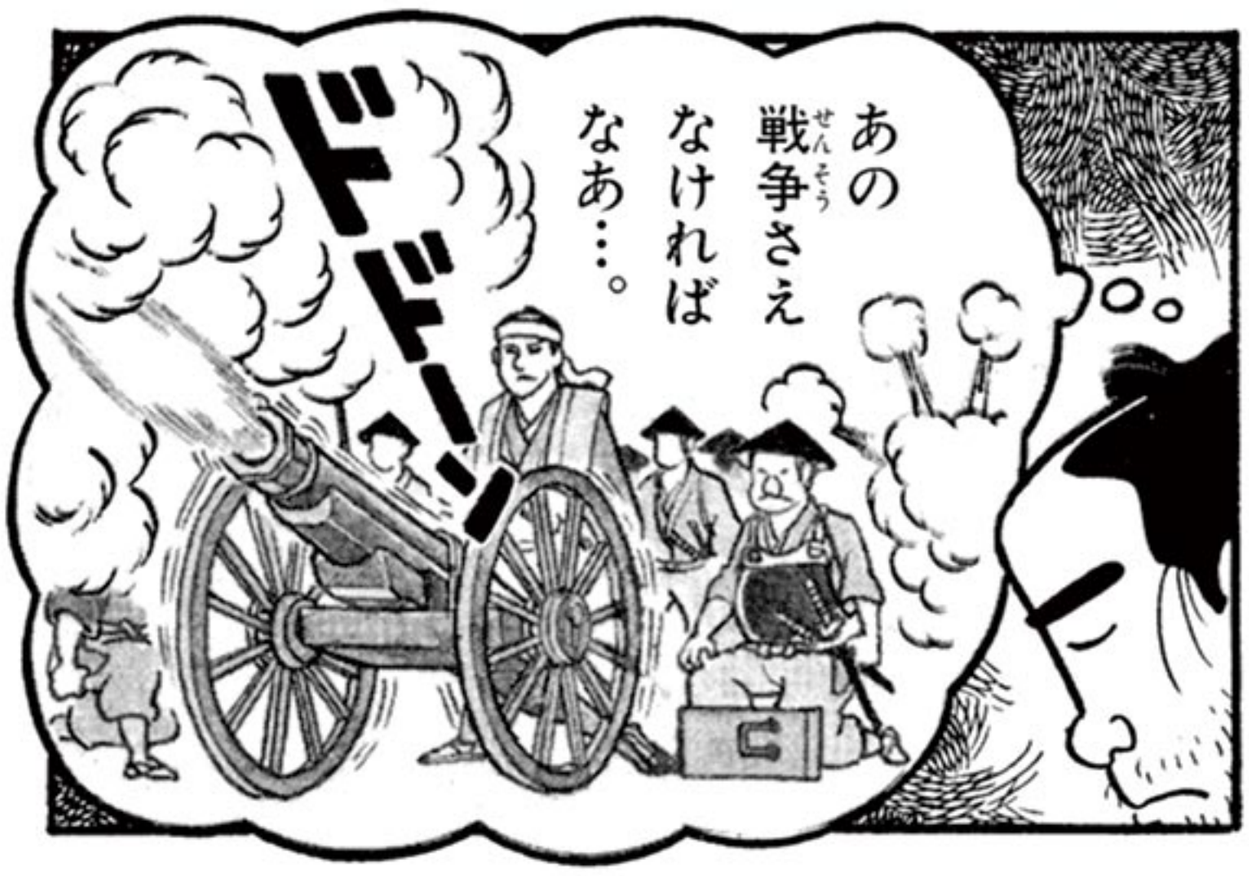
*仙台藩亘理領…宮城県亘理郡にあった仙台藩の支藩。

北海道には、先住民族のアイヌがすんでいましたが、明治時代になってから、急速に日本人が移住するようになりました。

またフキか…。アイヌの人が、仙台衆はフキばかり食うとわらってたよ。

お米が食べたいなあ。

がまんしなさい。はじめての土地だ、まだじゅうぶんに作物がみのらないのだから…。



一八六八年、戊辰戦争――

戊辰戦争では、旧幕府軍と官軍がたたかいましたが、仙台藩は幕府方についてやぶれ、亘理領主伊達邦成も領地をうしないました。

われわれは、朝敵になってしまったのだ……。

……。

領地をめしあげられて、明日からわれわれは、どうやってくらしていけばいいのだろう…。

殿は、家中をあげて北海道に移住するおつもりらしい…。

北海道!!

それよりほかに、生きのびる道はないのか…。

そんな弱気でどうする！殿みずから、新天地をひらくおつもりなんだぞ。

われわれ武士の面目にかけて、がんばろうではないか！

ナーニ!!

そのころ、新政府は*蝦夷地を北海道と改称し、各藩に開拓移住をよびかけていました。

*蝦夷地…江戸時代に、幕府は北海道をこうよんだ。

一八七〇年三月、最初の移住者二百五十五名が、*入植しました。

メリメリ

ドドーン

カン

カン

*入植…開墾地などに、新たに入ること。

しかし、冬は寒いし、米はできません……。

寒くてねられないよう。

ピューピュー

……。

だが、つらくてもやらねばならん。ここしかわしらのすむ所はないのだ。

これからは、おまえたちの時代だ！新しい技術も必要だろう。しっかりがんばるのだぞ！

ウン！

まかしといて！

戊辰戦争で土地をうしなった仙台藩士、会津藩士たちや各藩の下級武士は、つぎつぎと北海道に移住し、開拓の主役となりました。

一八七二年、大蔵省――

……。

井上馨

失礼します。書類の用意ができました。

ご苦労。

きみは、台湾にながれついた*宮古島の島民が、現地でころされた事件をどう思うかね？

はっ……。何ともうしましょうか…、*清に、き、きびしく抗議すべきかと……。

ドギマギ

うむ！そのためにも、琉球の立場をはっきりさせなくてはならない。

立場？

廃藩置県後、琉球は鹿児島県の管轄になっている。そして、琉球藩とされたが、あいかわらず清との関係がつづいている。

清

日本

琉球

*宮古島…沖縄県宮古島

*清…一六一六年から一九一一年までつづいた中国の国家。

民族や習慣の面からみても、琉球は日本に統合すべきだと思う。

ドーン！

なんとしても、清との関係をたち切らなくてはならない！

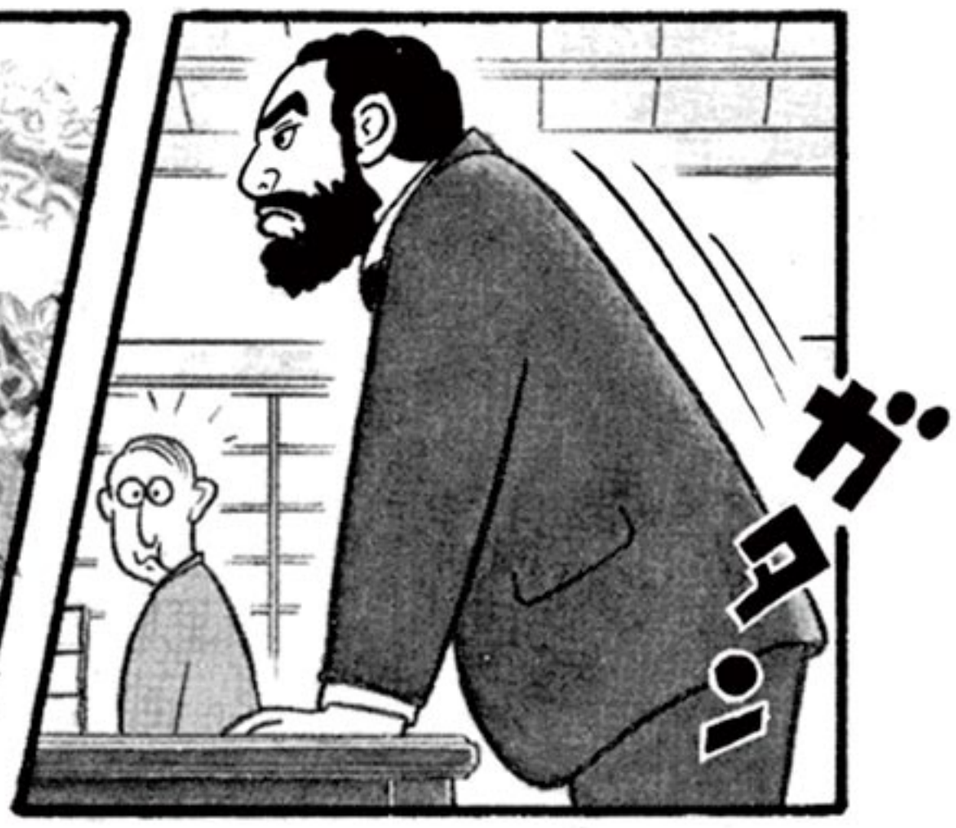
……。

＊副島…外務卿副島種臣。

北海道開拓次官
黒田清隆
フーッ

増上寺開拓使出張所——

いよいよ、これから十年が北海道開拓の時代だ！やらねばならぬことが山ほどあるぞ。


ガタッ

そのためには、士族の移住だけではとても間に合いませんね。
農民の移住も、もっと積極的にすすめましょう。
札幌の都市計画も、いそぎませんと…。

札幌を整備して、西洋のような町と建物をつくりたい。

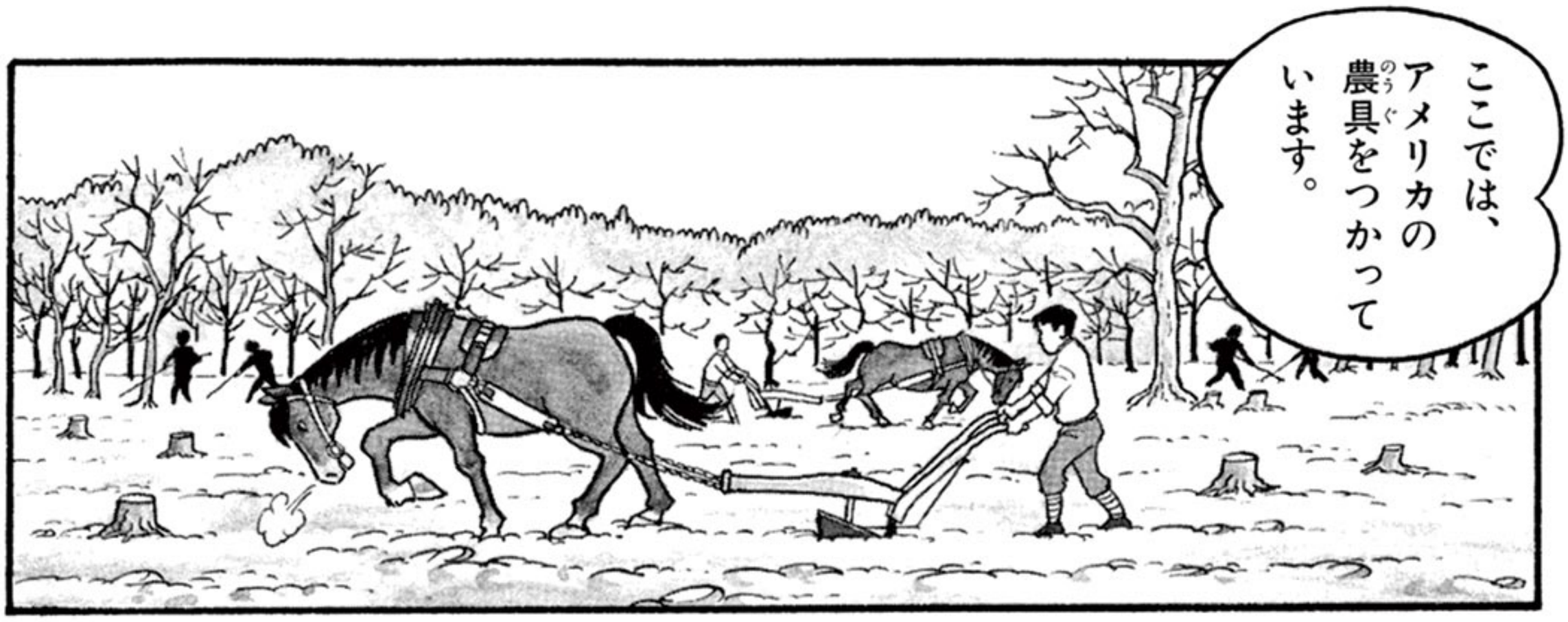
ひさしぶりに、札幌の視察に出かけよう。
はっ。

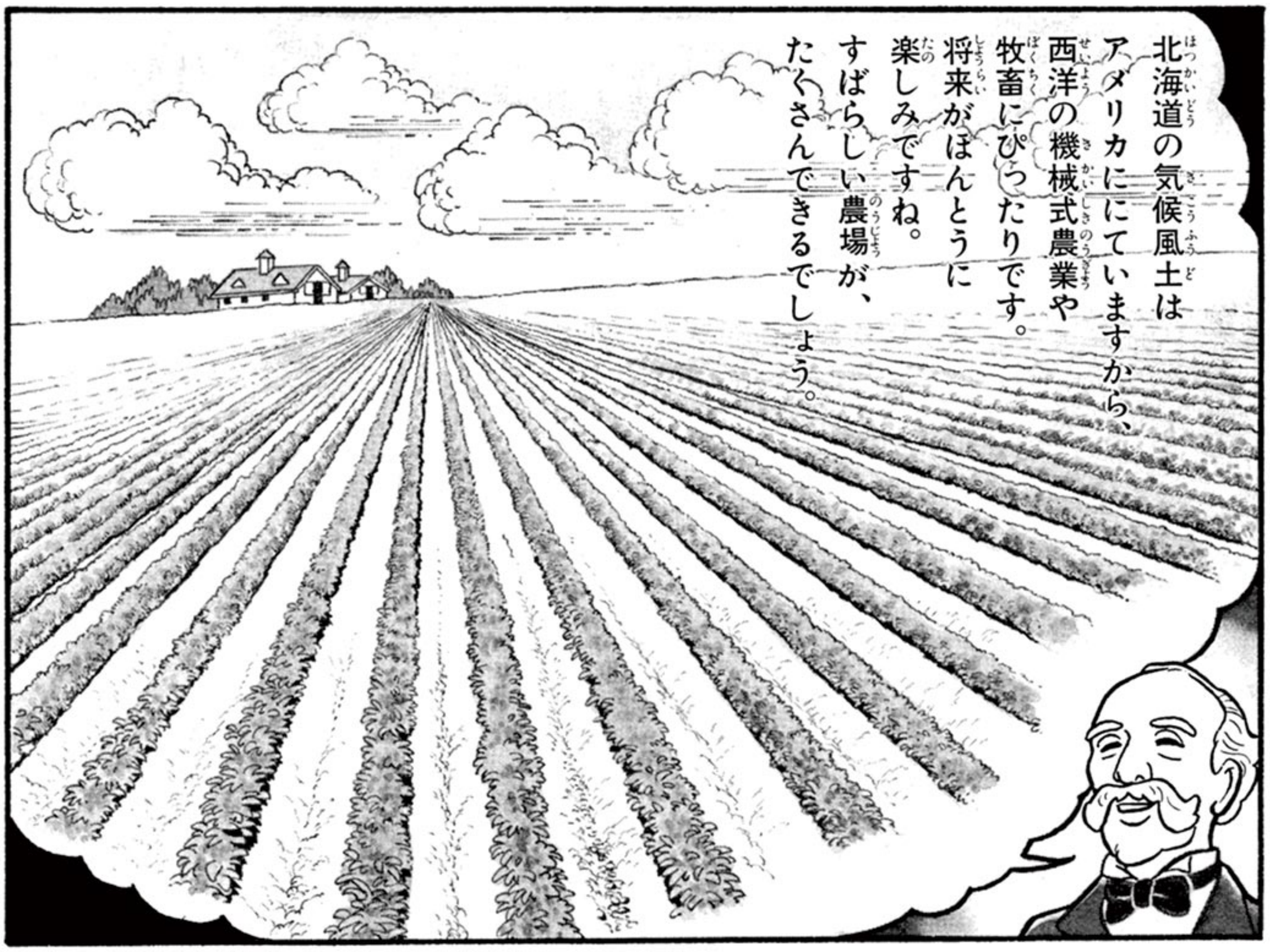
黒田清隆は、アメリカ農務省の高官であったホーレス＝ケプロンをまねきました。

一八七一年、ケプロンは、多くの技術者とともに来日し、四年間にわたって開拓計画を指導しました。

開拓使本庁舎

いよいよ、ケプロン先生ともおわかれですね。

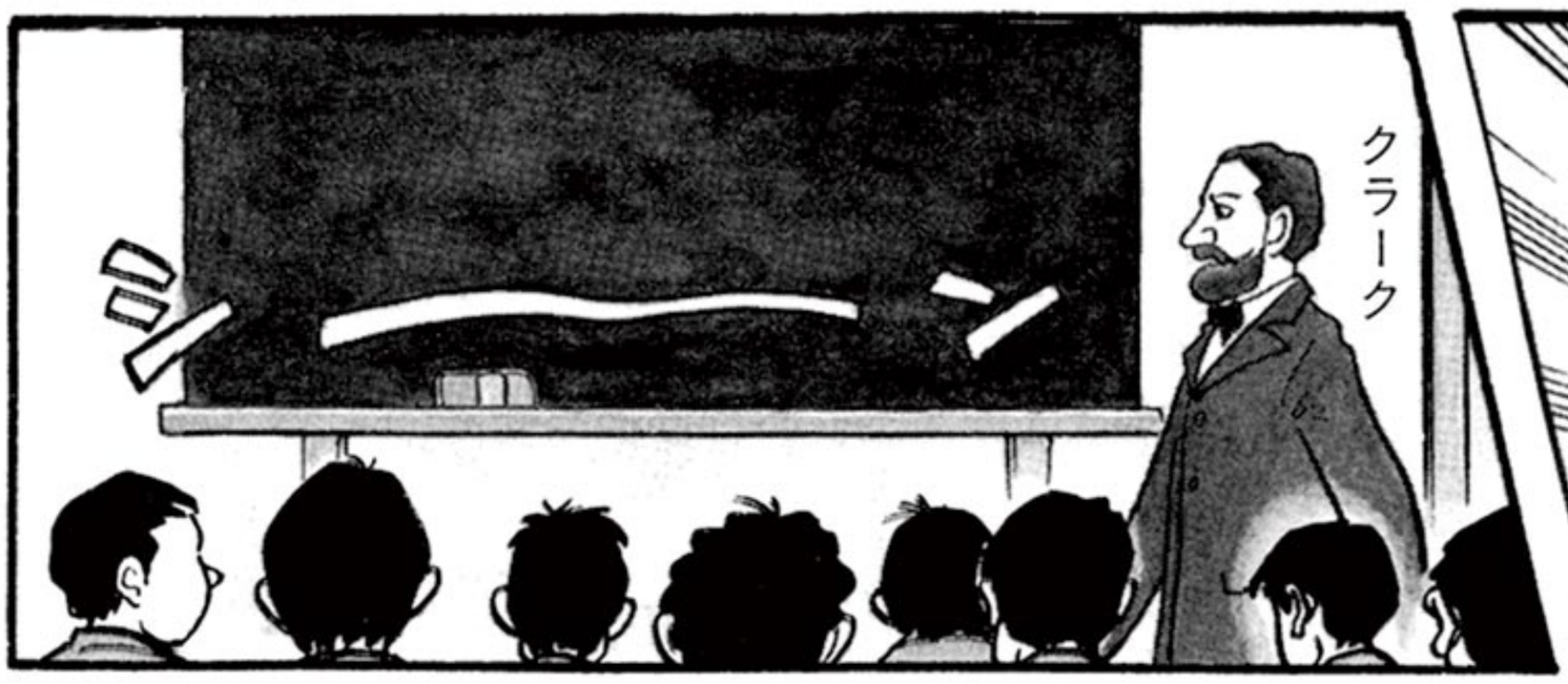

ここでは、アメリカの農具をつかっています。

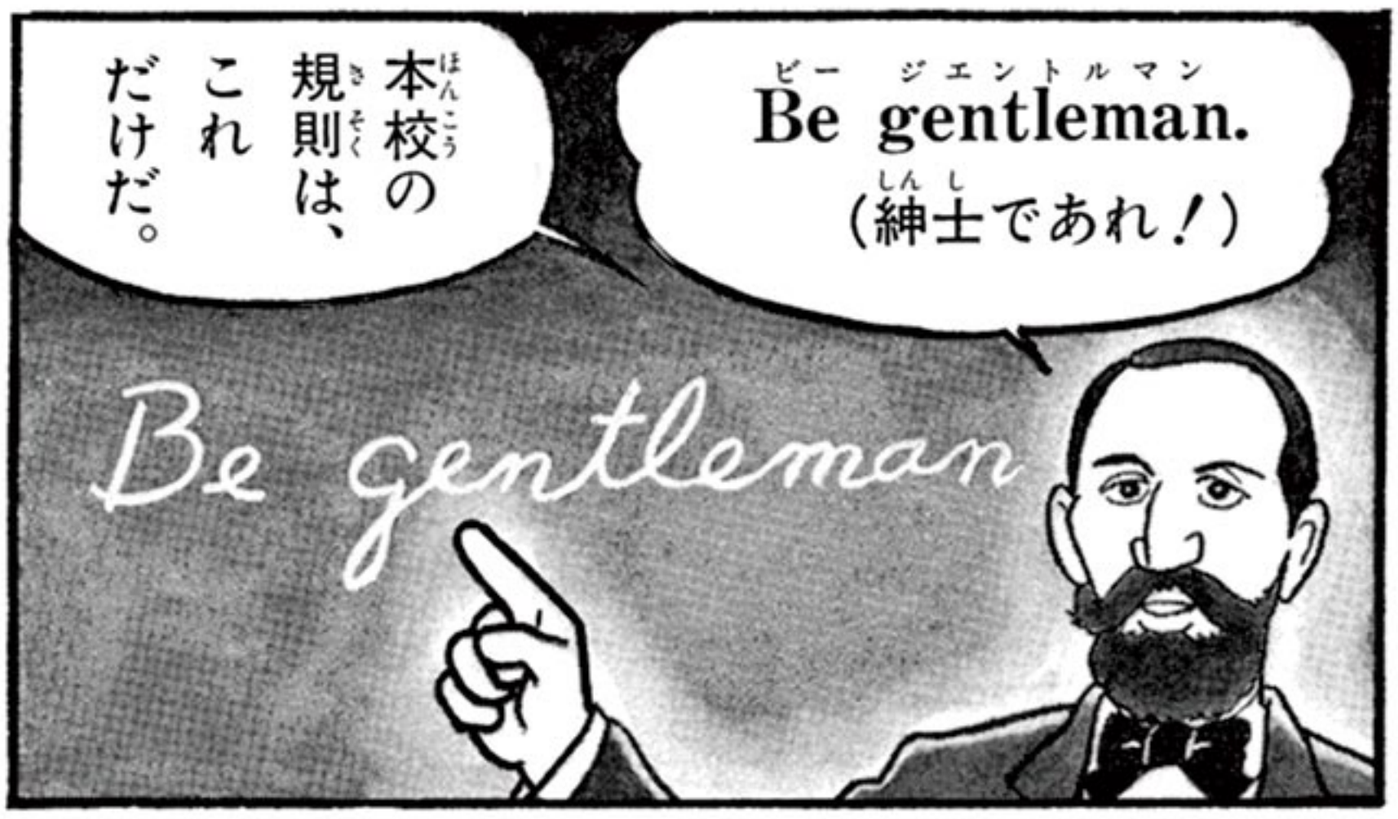

北海道の気候風土はアメリカにていますから、西洋の機械式農業や牧畜にぴったりです。将来がほんとうに楽しみですね。すばらしい農場が、たくさんできるでしょう。

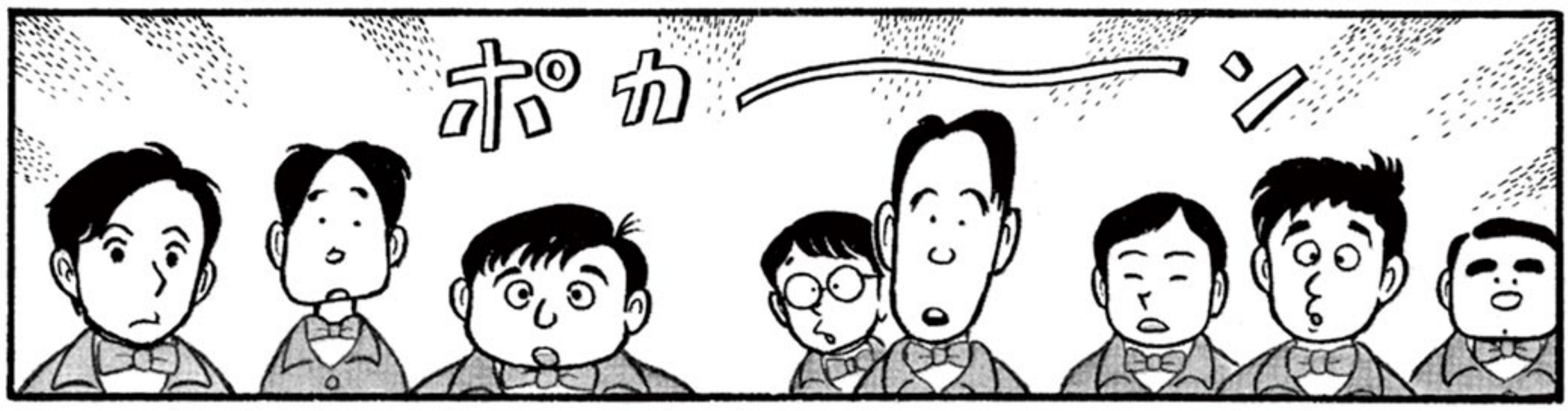
新しい農業を教えるための農学校も必要ですね。
わたしも同じ考えです。北海道の未来をになう若者をそだてたいものです。

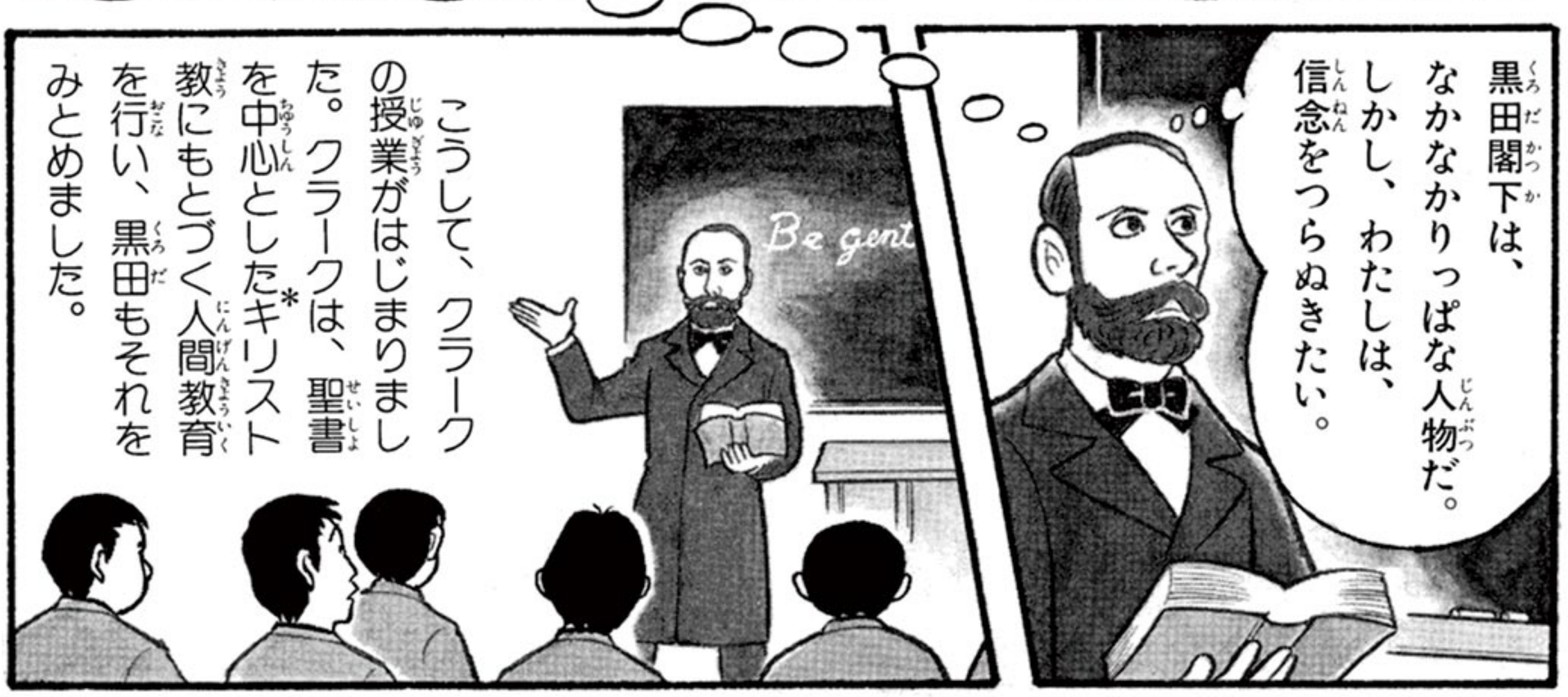
この考えが生かされ、札幌農学校がつくられました。

一八七六年(明治九)十月、札幌農学校が開校し、ウィリアム＝クラークが教頭としてまねかれました。









＊キリスト教……明治政府は、はじめキリスト教を禁止していたが、一八七三年、解禁した。

農学校の寄宿舎

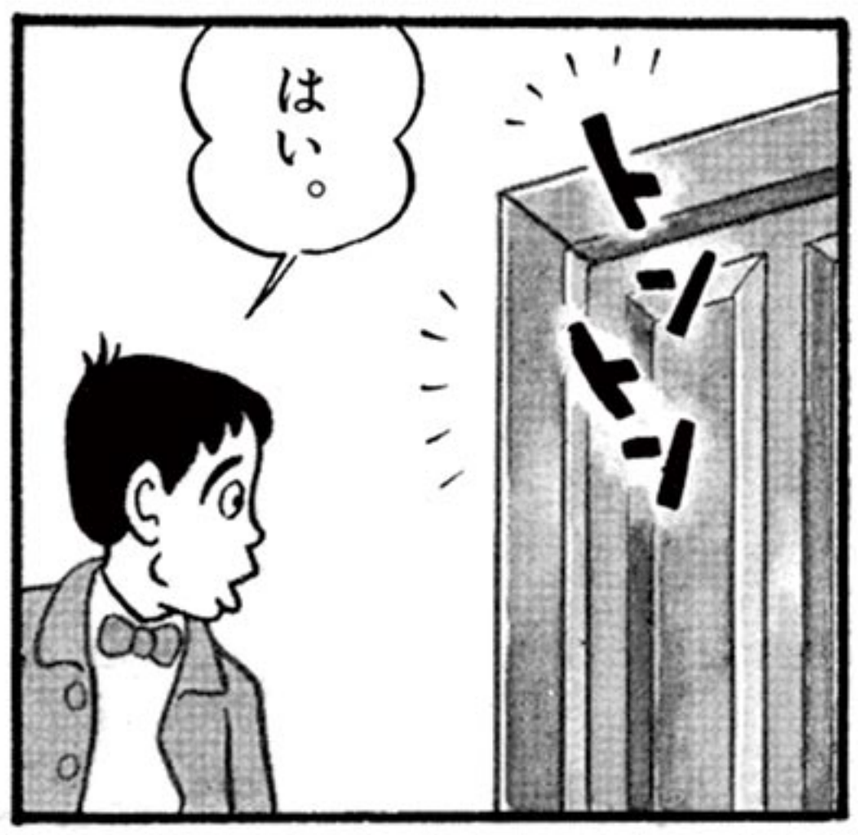
クラーク先生の授業は、英語ですからなあ。

おれたち、それを書きとめるのに苦労する…。半分以上は、さっぱりわからない。

このことばは、辞書に出てないぞ。

ラテン語じゃないのかな？

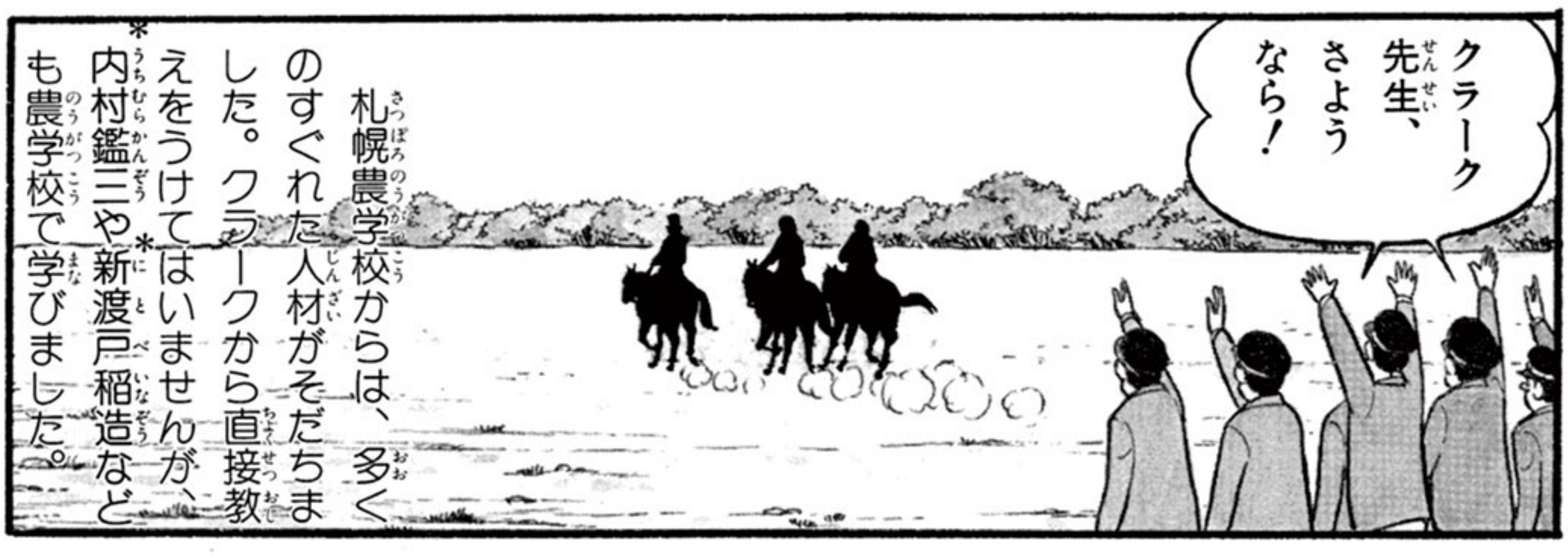
ううん、頭の中がおかしくなってきた。



こうして、クラークの指導のもとに、生徒たちはいろいろな学問を勉強しました。

*テンサイ…砂糖大根。ビート。

一八七七年四月十六日――



札幌農学校からは、多くのすぐれた人材がそだちました。クラークから直接教えをうけてはいませんが、*内村鑑三や*新渡戸稲造なども農学校で学びました。

*内村鑑三…キリスト教の思想家。無教会主義をとなえ、講演、著述などによって伝道を行った。

*新渡戸稲造…教育者、農学者。キリスト教信者として、国際親善に貢献した。五千円札の肖像にもなった（一九八四～二〇〇四年）。

明治政府の北海道開拓政策の裏で、アイヌの人びとの生活はどうなったのだろう。その様子を見てみよう。

おっ、かかっているぞ！

明治初年――

ガサ ガサ

大きな獲物だな。

ぼくも、狩りをしたいなあ。

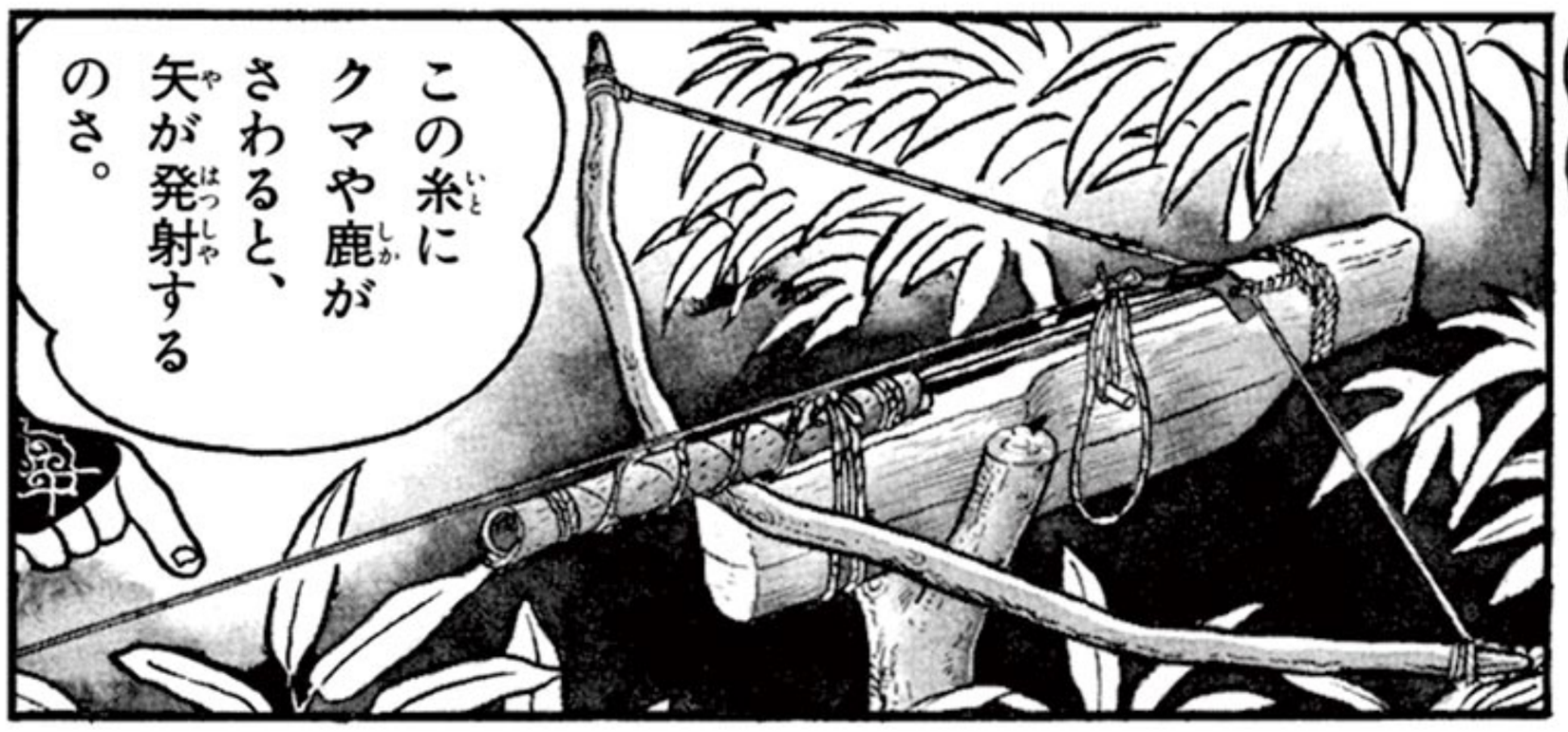
そうか、そうか。

しかしな、鹿やクマも生きているのだ。わしたちの食べるぶんだけを、とるようにしなくてはならんぞ。

うん。やたらにとったら、いなくなってしまうんだね。

よしよし。それがわかったら、このしかけのつくり方を教えよう。

これでよし。


この糸にクマや鹿がさわると、矢が発射するのさ。

この糸の高さをきめるのが、いちばんだいじなのだ。
クマと鹿では、高さをかえなくてはならん。

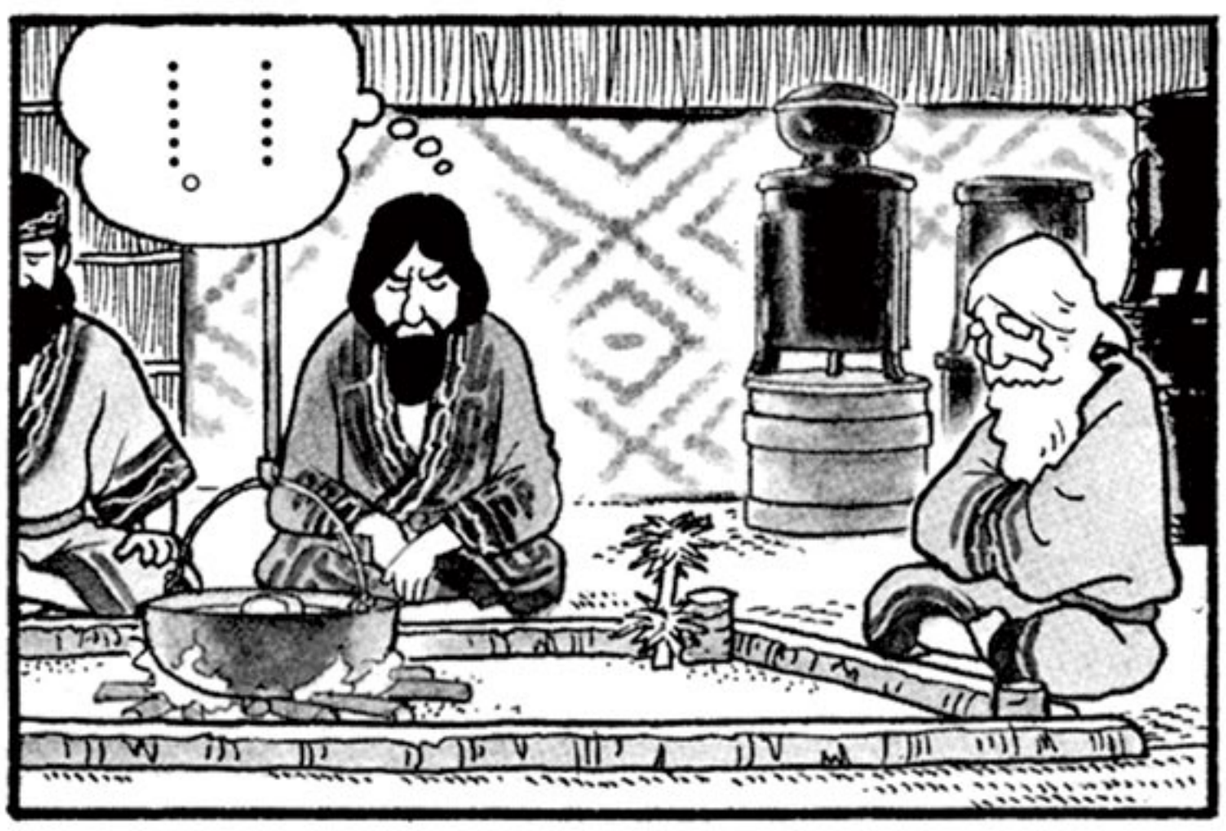
あっ、そうか！あてる位置がちがうんだね。
そう。鹿をねらうなら、クマよりほんの少し高くするのだ。

それは、おまえのしかけだ。しっかりおぼえておけ。

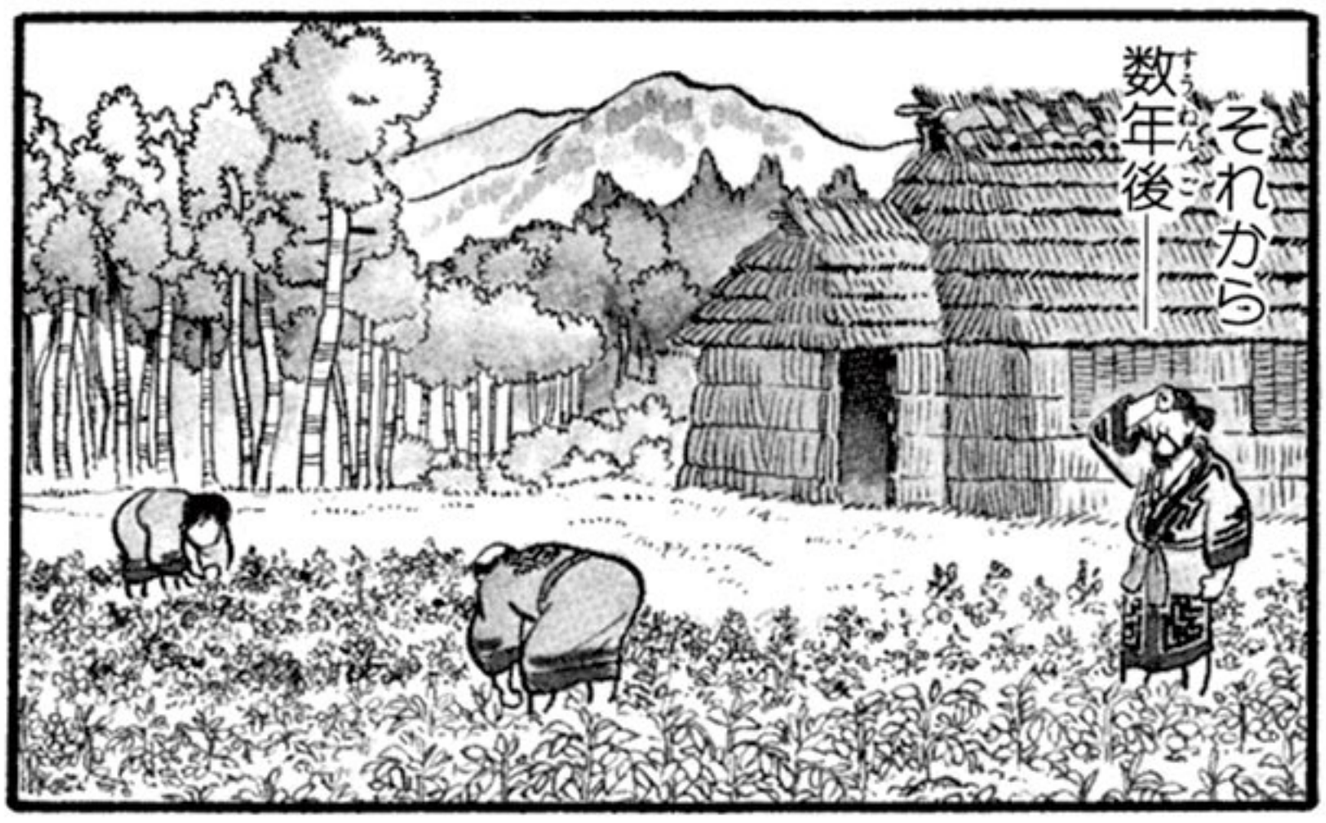
それから、矢には毒がぬってあるからな！気をつけるんだぞ。

今度は、べつの狩りの仕方を教えてやろう。

しかけの近くに、目印をつけるのさ。



*コタン…アイヌ語で村のこと。　*シャモ…アイヌ語で、となりの人たちという意味。ここでは日本人をさす。



明治政府は、アイヌの生活の場である大地と河川の大部分を「無主地」として、官有地にしてしまいました。また、漁業権を設定し、サケをとれば「密漁」としました。政府はわずかな土地をアイヌにあたえ、農業をすすめましたが、農業にふなれなアイヌの生活は、たいへん苦しくなりました。

一八七三年(明治六)ごろ、群馬県富岡——

足がいたくて、もう歩けないわ。

しっかり！もうすぐよ。

あっ、えんとつが見えてきた。

町というけど、ずいぶんさみしいところね。

まるでお城みたい…。

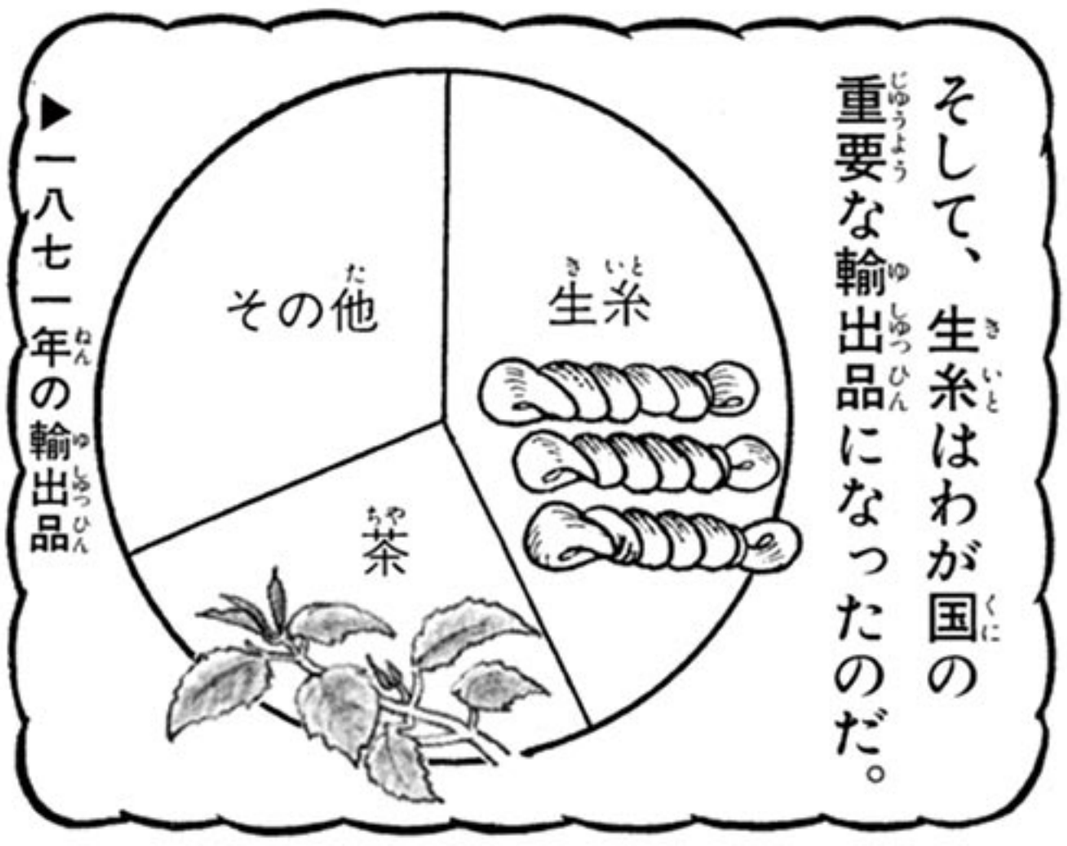
まあっ!!れんがづくりのすばらしい建物!!

お春

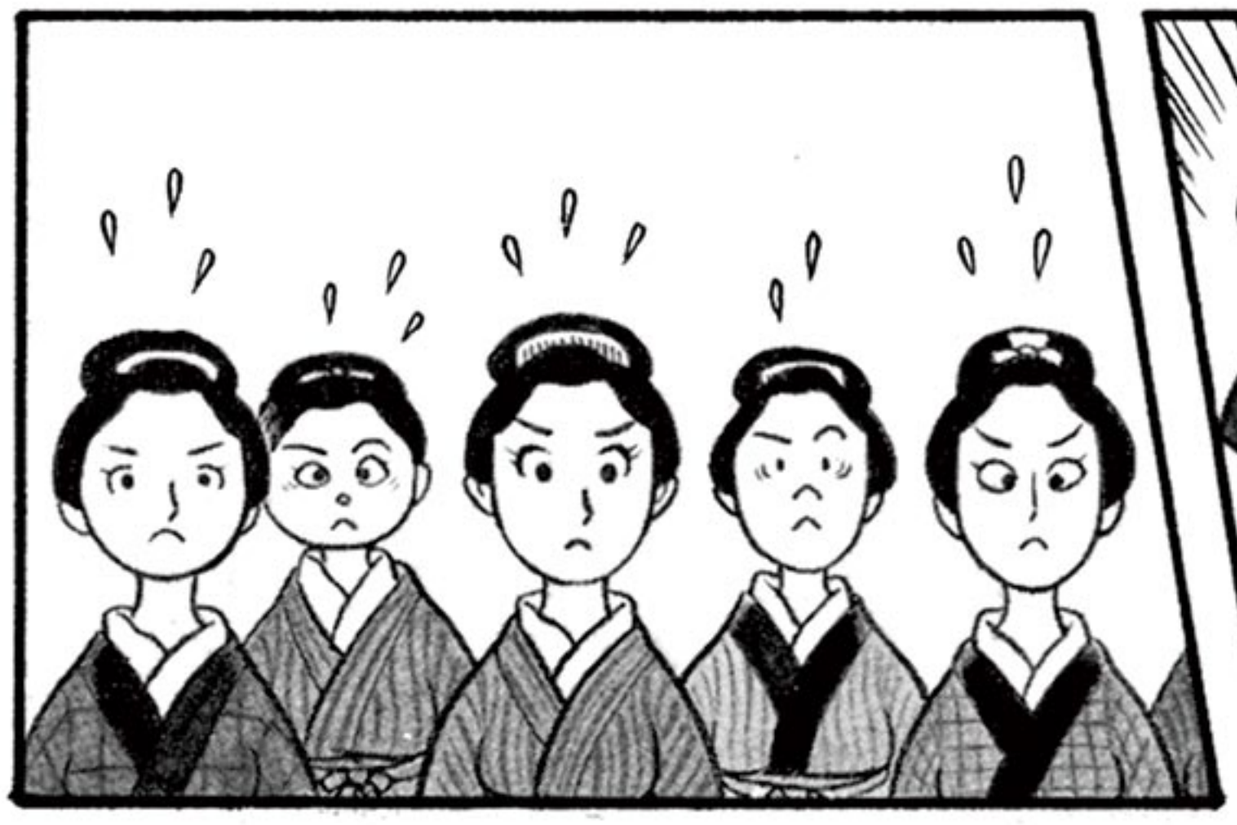
＊良からぬうわさ…富岡製糸場のフランス人技術者がワインをのむのを見た人びとのあいだに、生き血をすうというわさが広まった。

＊戸長…今の町村長にあたる役人。

*安政六年…一八五九年



▶一八七一年の輸出品



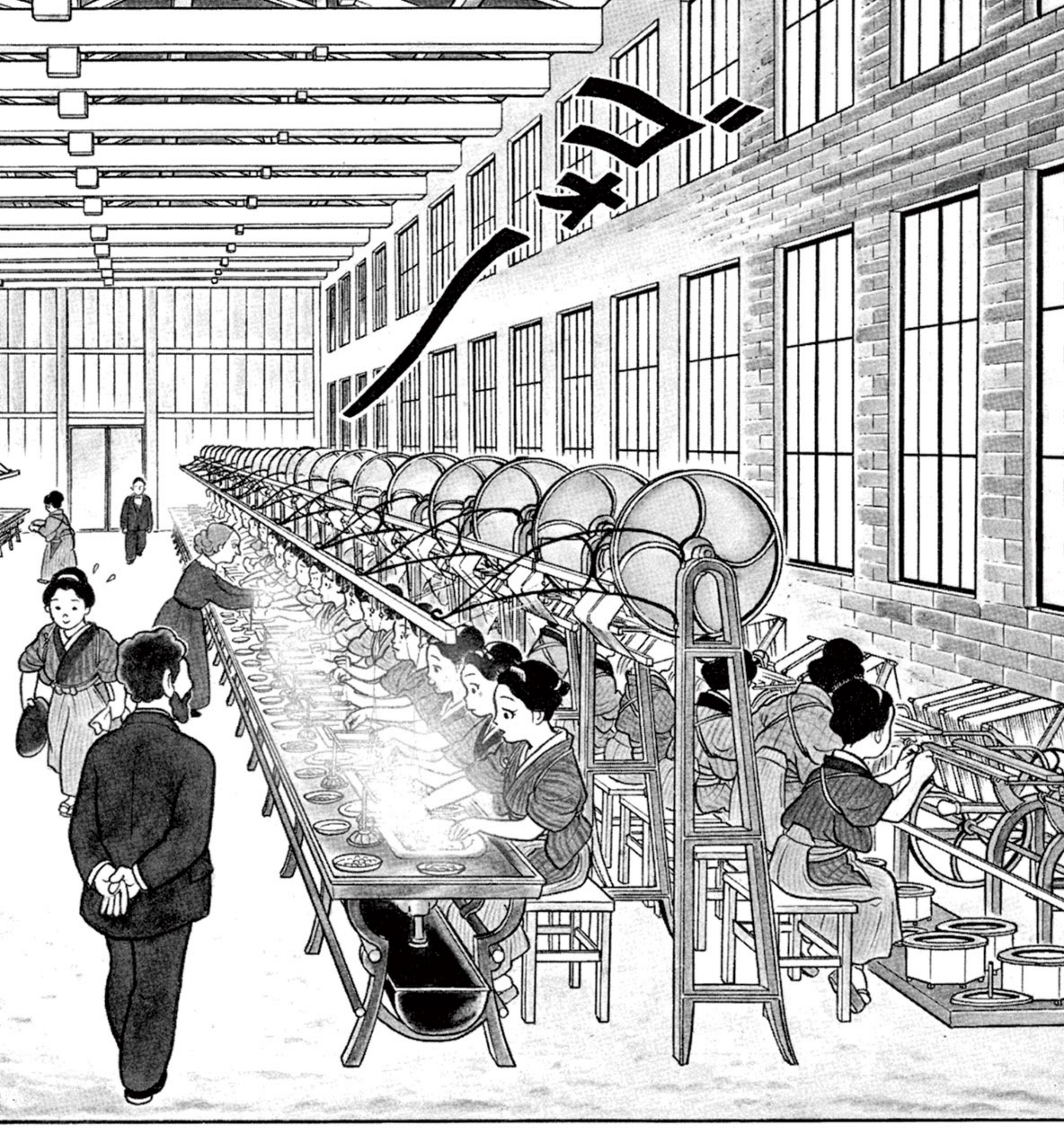
数日後――

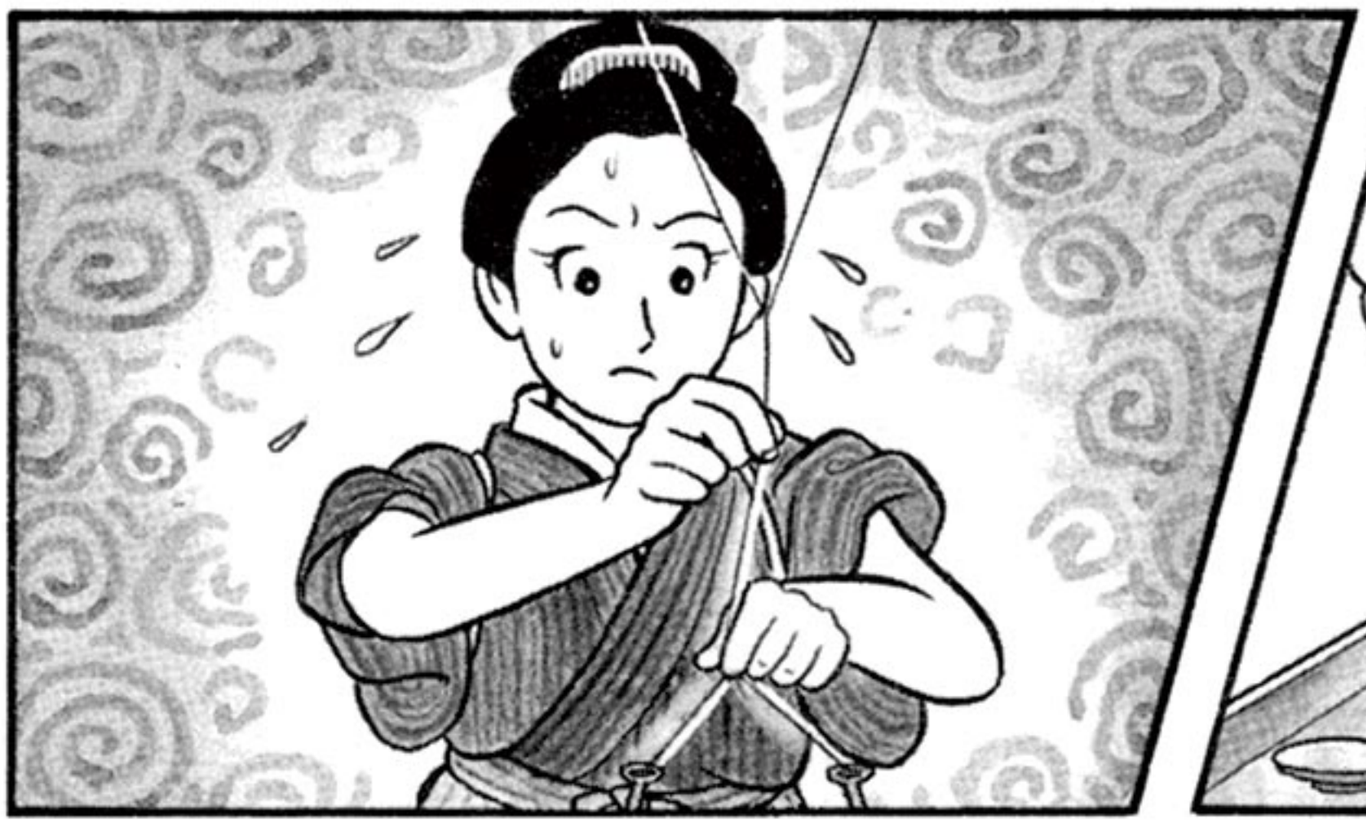
さあ、今日から仕事をおぼえてもらうぞ。

まずは、製糸の工程を教えよう。

*糸をつぎ足す…これを接緒という。接緒がうまくいかないと、糸の太さが均一でなくなるので、たいせつな作業だった。

*共撚式…一対の集緒器からとり出した二すじの糸をからみあわせ、抱合した後、ふたたび二本の糸に分ける方式。


ニッポン

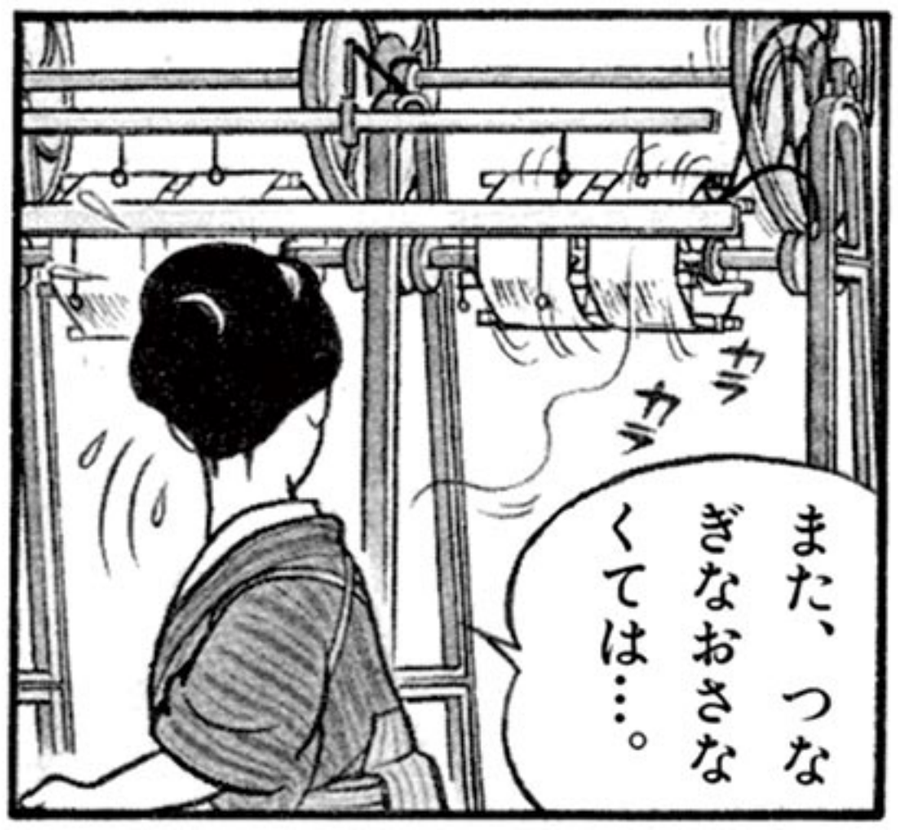


早く、一人前になりたいものだわ…。

ゴメン

富岡製糸場は、群馬県富岡に建設され、一八七二年(明治五)に操業が開始されました。

機械製糸技術を発達させるために、フランスから、製糸機械、蒸気動力などの設備を輸入しました。また、フランス人の技師や教師が、工女の指導にあたりました。



＊升…1升は約1.8リットル。250個くらいのまゆの量にあたる。

しだいに、なかまもふえ――

フランス人の女性に指導をうけて――

良質の糸がとれるかどうかは工女の技術にかかっていたため、工女たちはたがいに競争意識をもやして、必死にがんばりました。

あるときは、病気にもかかりましたが

ついに、八升とれるようになりました。

一年がすぎて――

よくやった。*一等工女をもうしつける。

やっと、一等工女になれた…！

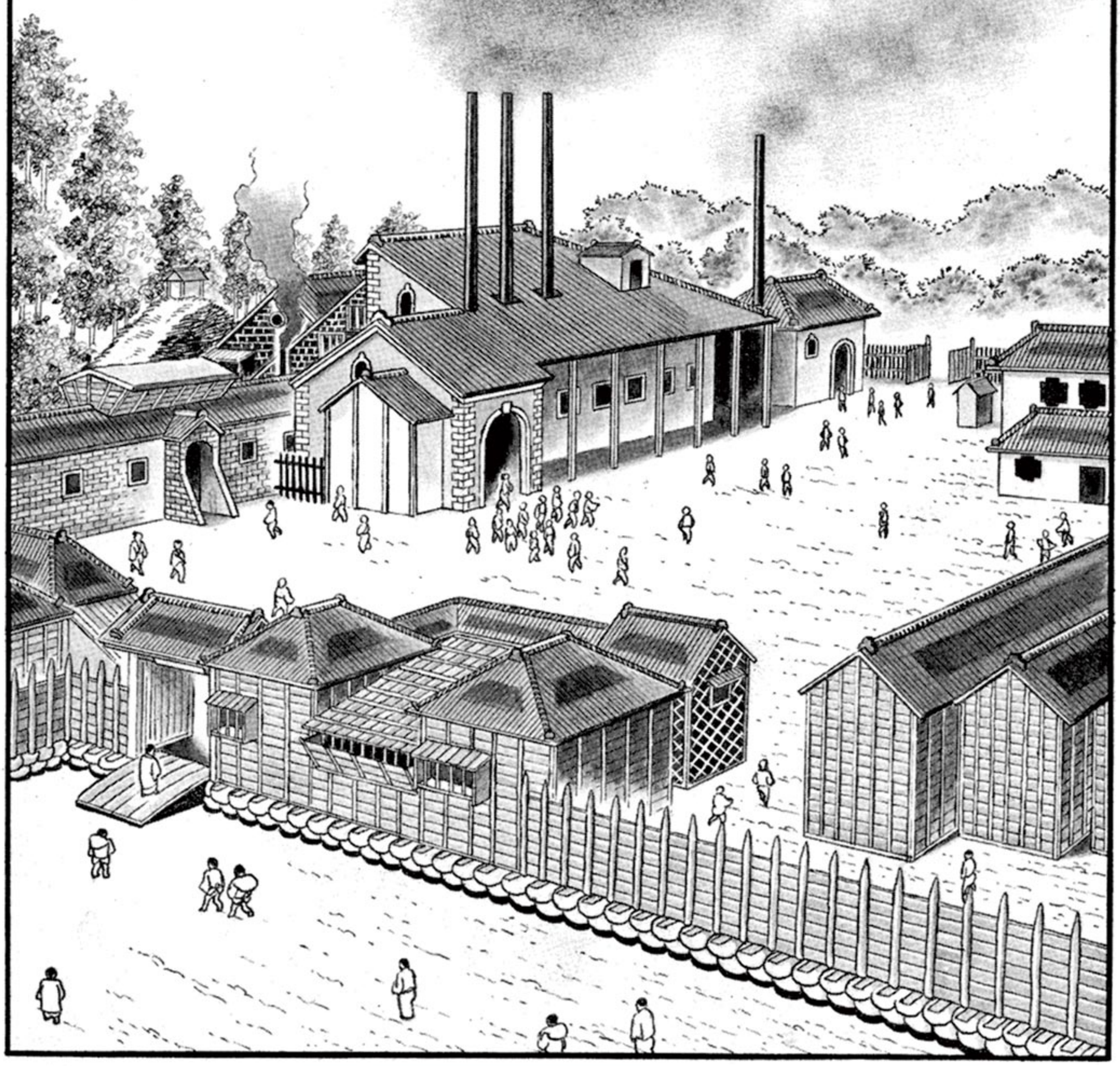
富岡製糸場で学んだ工女たちは、各地の県営工場や民間の製糸場で、技術の指導にあたりました。

さようなら……。

*一等工女…糸をとる実力によって、工女たちの等級がきめられていた。

明治政府は、日本を欧米諸国にならぶ強国にしようと、富国強兵（国をゆたかにし、軍事力を強めること）を目標にかかげました。そして、「富国」のために、まず近代産業をおこす政策をすすめていきました。これを殖産興業といいます。政府は官営工場をつくり、先進国から技術や機械をとり入れました。とくに、軍事に必要な兵器工場や造船所などに重点がおかれましたが、製糸、紡績、ガラス、セメントなどの工場も各地につくられました。

そして、明治十年代のなかばごろから、官営工場は民間にはらい下げられるようになり、政府とむすびついた大商人（政商）が資本家として成長していきます。



小学館 eBooks

第四章

士族の反乱

――明治時代前期――

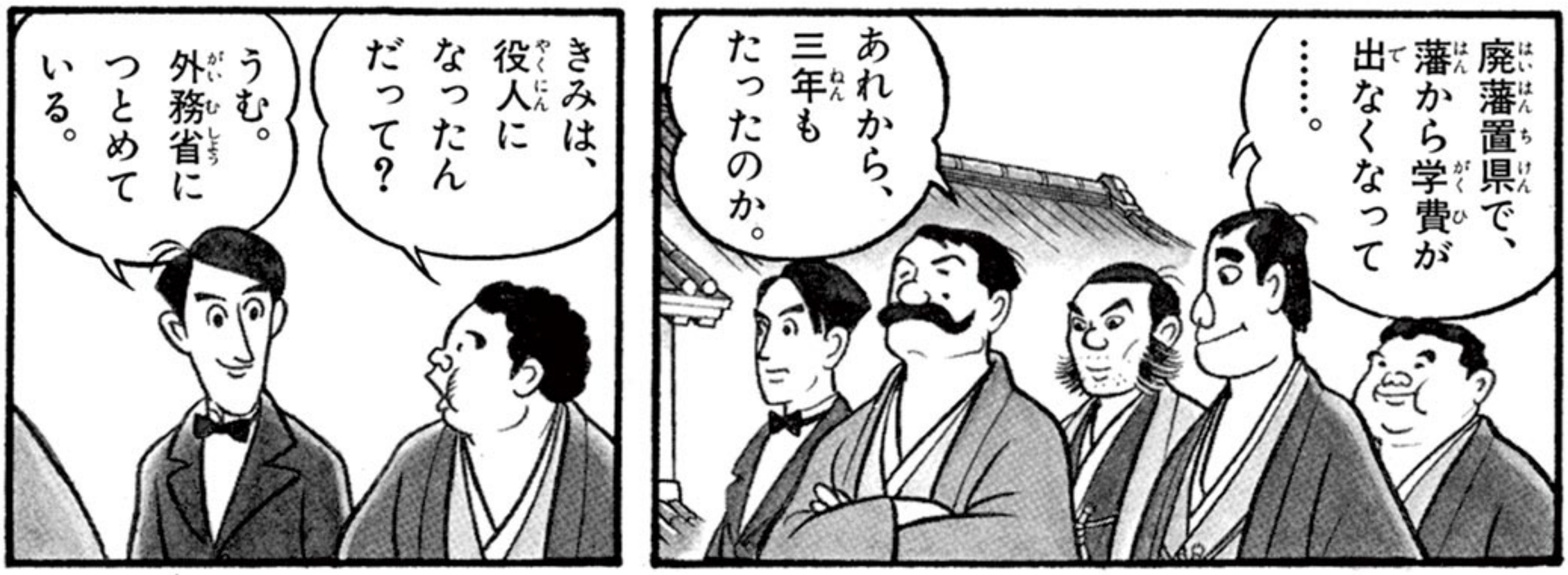
一八七三年(明治六)夏、東京のある写真館――

記念写真をとっているところです。

コチン

はいというまで、うごかないでください。

フィッ



当時、朝鮮はイギリスやアメリカから開国をせまられ、西洋の国ぐにを警戒していました。また、日本の高官の中には、対外進出のあしがかりとして、朝鮮を侵略しようと考えていた人もいました。

*条約…一八七一年、日本と清との間でむすばれた日清修好条規。対等条約であった。

＊倭館…朝鮮政府が日本からの使節を接待した館。

一八七三年七月、西郷隆盛の弟、従道邸――

朝鮮の件は、お聞きになりましたか？

西郷隆盛

板垣退助

うむ…。

これを機会に、*朝鮮に軍隊を派遣したらよいと思うのですが…。

それはそうだが、板垣さん。

メタン

*当時の朝鮮は、正式には朝鮮国で、韓国とはいいませんでした。

政府内の対立にはこまったものだ。旧薩長土肥四藩の士族たちも、政府に強い不満をもっている。

幕府をたおしたのはわれわれだ。

それなのに、なぜこんなに貧乏しなければならないんだ。

*徴兵令…第一章参照。

商人や農民といっしょにされてたまるもんか。

*徴兵令や四民平等なんて、反対だ！

このままでは、内乱にもなりかねない。

内乱をさけるためには、*外征で国内を統一するしかありませんね。

*外征…外国へ出かけてたたかうこと。

*太政大臣…太政官制の最高の官職。

*参議…第一章参照。

岩倉の帰国後、大久保利通、副島種臣が参議にくわわりました。閣議は十月になってひらかれました。

わが国は今、国内をおさめるときです！

朝鮮派遣は、閣議で一度きまっている。

いや、そんなことはない。軍備と財政を充実させるのが先だ。

この日は結論が出ず、閣議は翌日にもちこされました。

西郷は、翌日の閣議には出席しませんでした。しかし――

西郷参議の意見を採用します。

勝った！勝った！

……。

わたしはあくまで反対だ。

二日後、大久保邸――

二日後、病気の三条実美にかわって岩倉具視が太政大臣代理となりました。

岩倉は、閣議決定とは反対の意見を天皇に報告し、*裁可をえました。

西郷の朝鮮派遣は認められず、派遣賛成派の参議たちは辞任しました。西郷は、故郷の鹿児島へ帰りました。多くの鹿児島出身の*近衛兵が、西郷を追って帰郷しました。

*裁可……君主が、臣下のさしだす議案を裁決・許可すること。

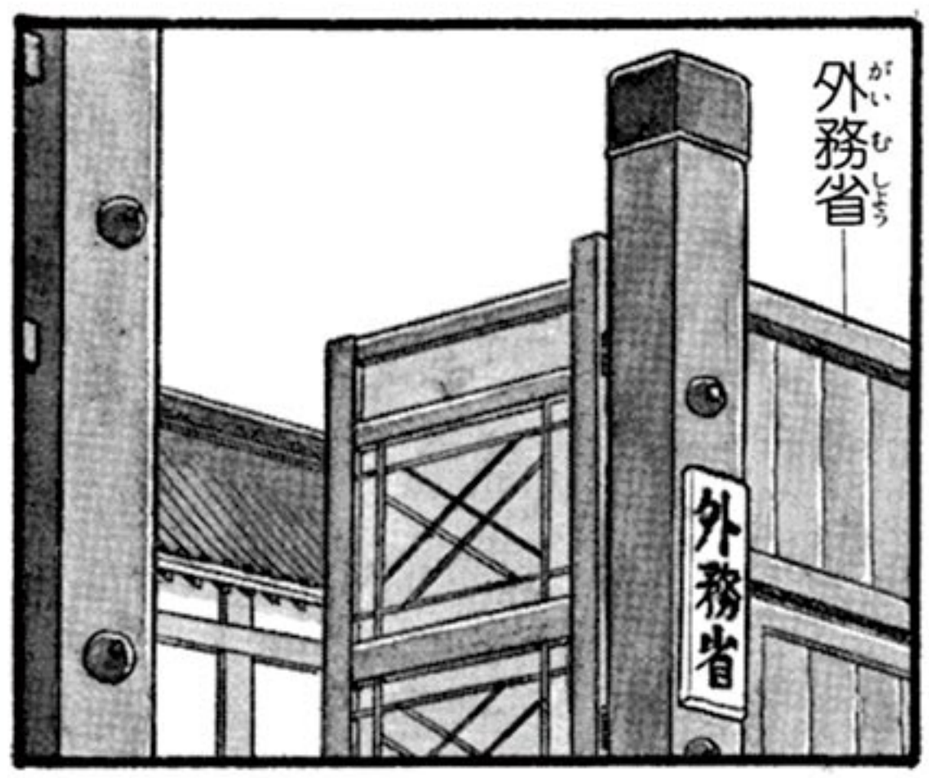
*近衛兵……近衛府にぞくし、宮中の護衛にあたった兵士。

*左院…明治初期に立法にたずさわった機関。

一方、大久保は――

これからは、てきぱきと仕事ができる人が、政治をやらなければいけないのだ。

よろしくたのみます。
ハハハ


外務省
外務省

およびですか。
おう。じつは今度、きみに内務省へ行ってもらうことになった。
はっ。内務省ともうしますと、大久保さんがつくられた新しい省ですね。

内務省の仕事は、おもに次のようなものだ。
①殖産興業を推進すること。
②新しい警察をつくること。
③地方行政を指導すること。
④その他、戸籍の調査、郵便、道路建設などの土木事業の事務を行うこと。
むこ

大久保さんは、外交より内治を優先させるおつもりだ。内務省は内治の中心となる役所だから、がんばりなさい。

はい！

新しい仕事だ。力いっぱいやるぞ！

なに！内務省だと!!

うむ、そうだ。

おまえは、西郷さんたちをうらぎった大久保の手下になるのか！

大久保たちは、われら士族のことを、まったく考えてない！

そうだ、ゆるせん！

なにをいう。わが国の財政は不足しているのだ。それどころではない！

だまれ!!

国の財政を悪くしているのは、士族へはらっている家禄なんだぞ！

なんということをいうのだ!!

ゆるせん!!
なにを!!

まあまて。

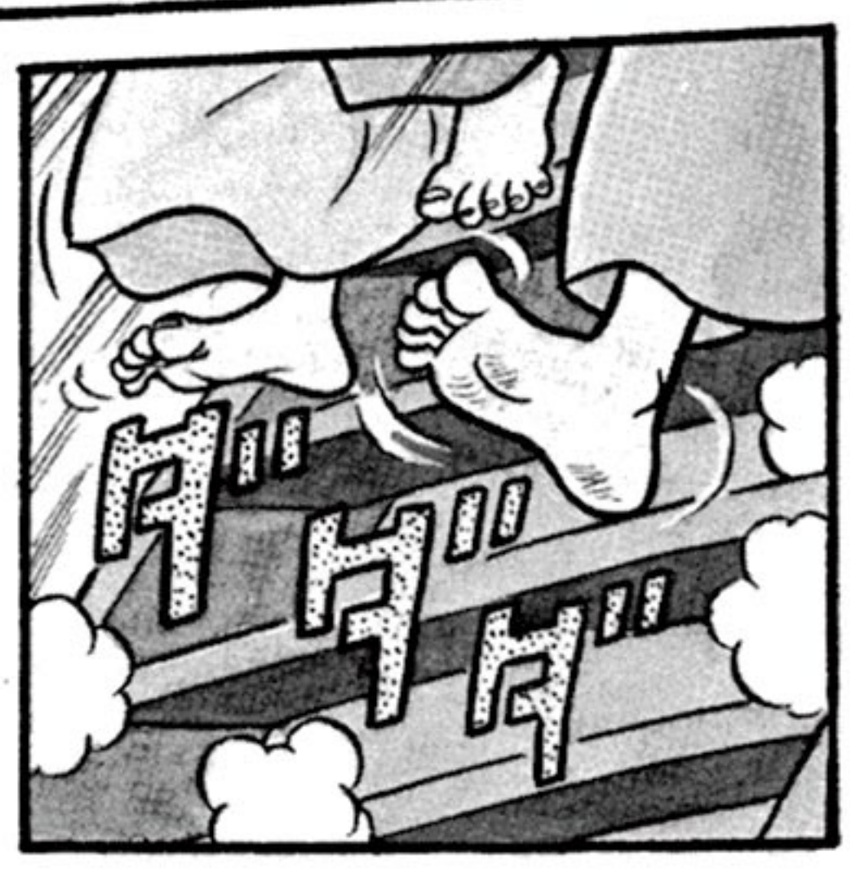
しばらく後——

あいつとは絶交だ!
プリプリ
あ!

江藤さんが、佐賀で反乱をおこしたって!
えっ!!

江藤さんはこの間、民選議院設立建白書に名をつらねていたが…。
そうか、ついに反乱をおこしたか…。

よし、おれも佐賀へ行くぞ。
江藤さんをたすけるんだ。



江藤さんが反乱をおこすとは……。

一八七四年(明治七)二月、江藤新平は佐賀で反乱をおこしました。

ワーワーワー

ズドーン

ううむ、これはまずいぞ。

反乱軍は、一時は城を占拠しましたが、まもなく最新装備の政府軍に撃破されました。

佐賀へ行ってみると――

オー!!

政府も士族たちも、すでに挙兵してしまった。もう、対決はさけられない。

戦いだ!

鹿児島県うなぎ温泉――

おいどんのいうとおりになさい!

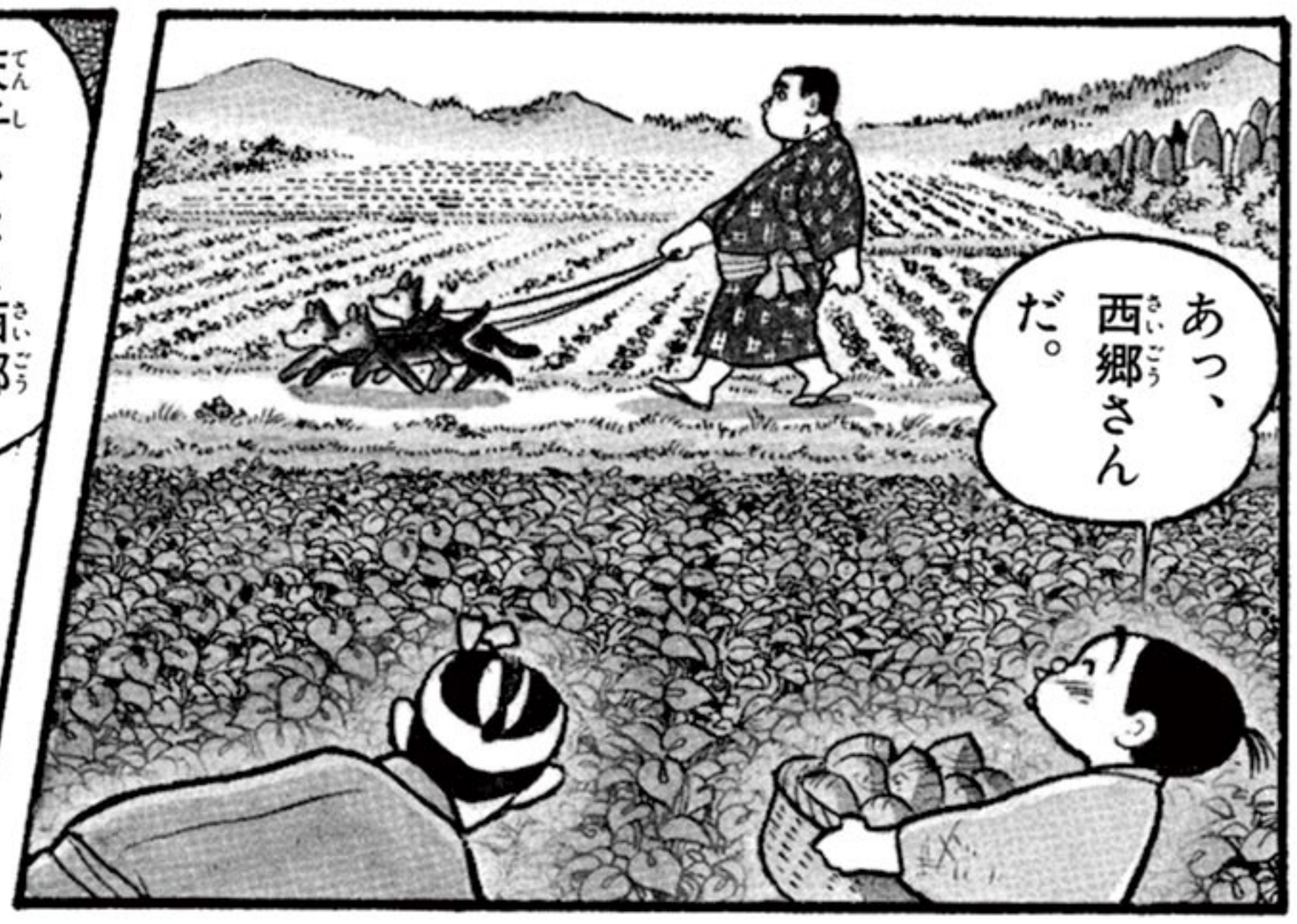
だめですか……。

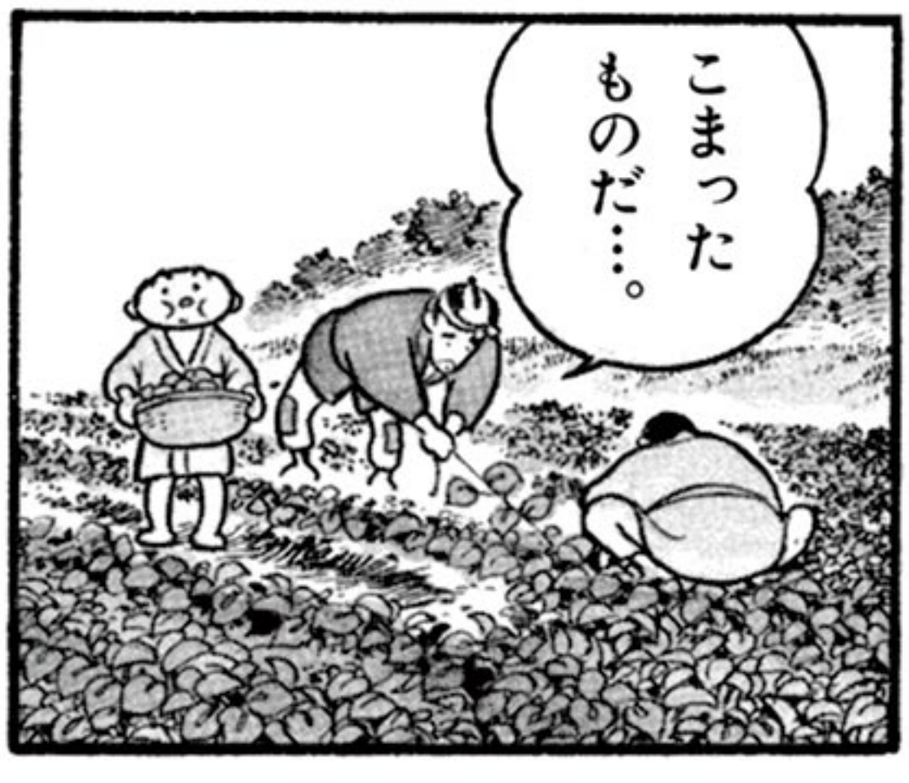
江藤新平は、その後四国までにげましたが、つかまって死刑になりました。

一度は、参議にまでなったわたしなのに…。

間に合わなかった……!

二年後、鹿児島県寺山*





*寺山…鹿児島県鹿児島市吉野町

鹿児島――

トウー
カアーッ

西郷先生は、士族をきたえるために、この私学校をつくられたのです。

カー

はあ。

先生といっしょに東京から帰ってきた者も、参加しているんですよ。

あっ、先生！

先生は、今の専制政府を倒すおつもりはないのですか。

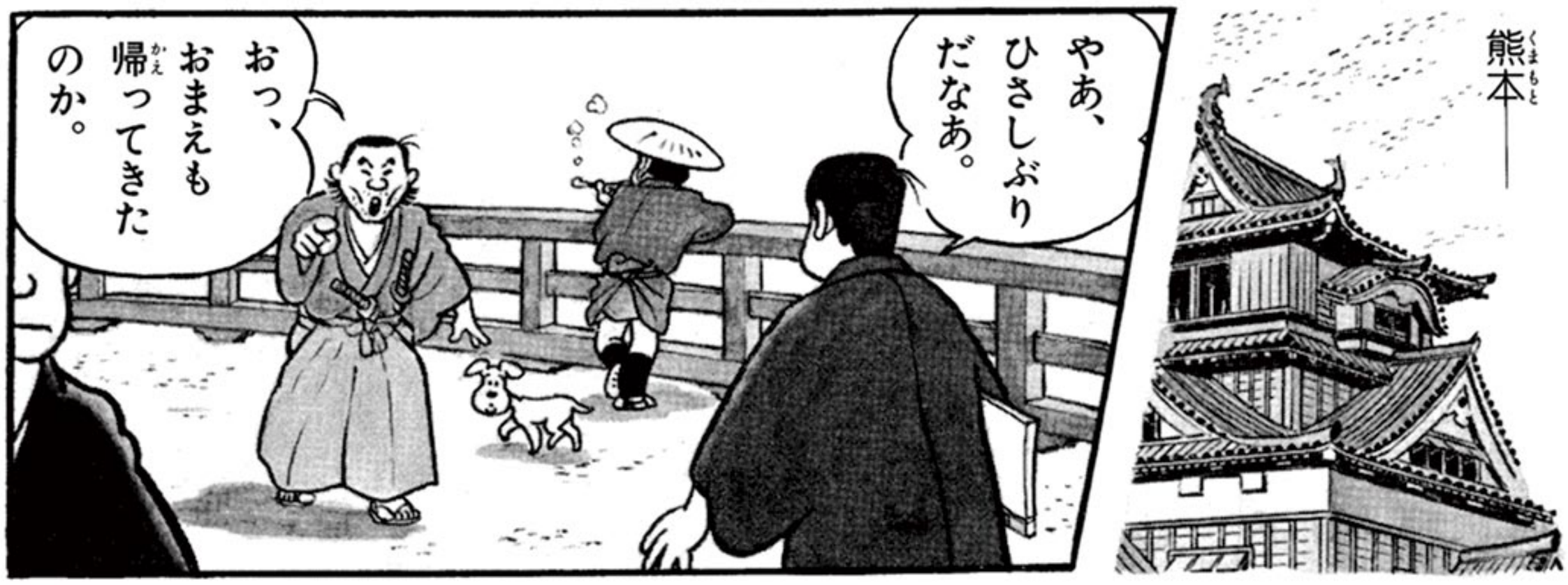
はは、東京は大久保どんにまかせておけばよか。

それでは失礼。

だいじょうぶですよ。先生は、いざとなればやりますよ。

さて、また温泉へ行って、ウサギ狩りでもするか。

熊本



「自由之理」は、*ジョン＝スチュアート＝ミルの「自由論」を翻訳した本です。

*立志社…板垣退助らが設立した自由民権運動の政治結社。*愛国社…各地の民権派政治結社があつまって一八七五年に組織された、最初の全国的政党。

*ミル…イギリスの経済学者、哲学者。

一八七六年(明治九)三月、政府は廃刀令を出しました。さらに八月には、士族の秩禄を*金禄公債にかえました。士族は、刀ももてなくなり、収入もわずかな利子だけになりました。

封建的な特権をすべてうばわれたことで士族の不満は爆発し、各地で反乱がおきました。しかし、反乱は政府軍によってことごとく鎮圧されました。

*金禄公債…華族・士族の秩禄を廃止するために、明治政府が交付した金券。

内務省――

しっ！大久保*内務卿だ。

*内務卿…内務省の長官。

パリ

こわいのは、士族よりも農民だ。

税がなければ、国はなりたたない。その税をおさめているのは農民だ。

その農民たちが、*地租改正反対の一揆をおこしております。

ここで、地租改正についてまとめてみよう。

一八七二年（明治五）、政府は土地の私有をみとめ、その証明書として、地券を発行することにしました。

地券

この土地はおれのもので、地価はいくらと書いてある。

*地租…土地を対象とする税。

つづいて、一八七三年に、地租改正条例が公布されました。

今までは、収穫量に比例して年貢をおさめていたが…。

これからは、この土地の地価を基準に、お金ではらってもらうぞ。

これによって、政府は、年ごとの収穫量にえいきょうされず、安定した収入をえるようになりました。

これで殖産興業も、計画的にすすめられるぞ。

しかし、政府は政府の収入をへらさないように地租をとろうとしたため、地価を高くきめてしまいました。

パチパチ

少しはくらしも楽になると思ったのに……。

くらしがかえって苦しくなったため、各地で地租改正反対の農民一揆がおこりました。

新政府のつくったものは全部こわせ！

ワー

役人の家もうちこわせ！

一八七六年十二月、三重・愛知・茨城でおこった一揆は、農民一揆のなかでも最大のものじゃった。

ひとまず、農民一揆は鎮圧したが、またおきないともかぎらない。

もし、士族の反乱とむすびついたらたいへんだ。

ここは、農民たちをなだめておきましょう。

一八七七年、政府は、地租引き下げを発表しました。これにより、一揆はひとまずおちつきました。

一八七七年(明治一〇)一月

鹿児島――

私学校の生徒数人は陸軍の火薬庫をおそい、弾薬を強奪したのです。翌日以後、暴動はさらに大きくなり、陸軍や海軍の火薬庫がつぎつぎにおそわれました。

＊密偵…秘密探偵の略で、スパイのこと。

なんだっ!!

弾薬をうばったと!?

なんとはやまったことをしたものだ…。

私学校――

ガヤガヤ

ワイワイ

弾薬をうばってしまった以上、政府はもう戦争の用意をしているだろう。

もはや、出兵しかない。

……ここまで来てしまったか…。

スゴ

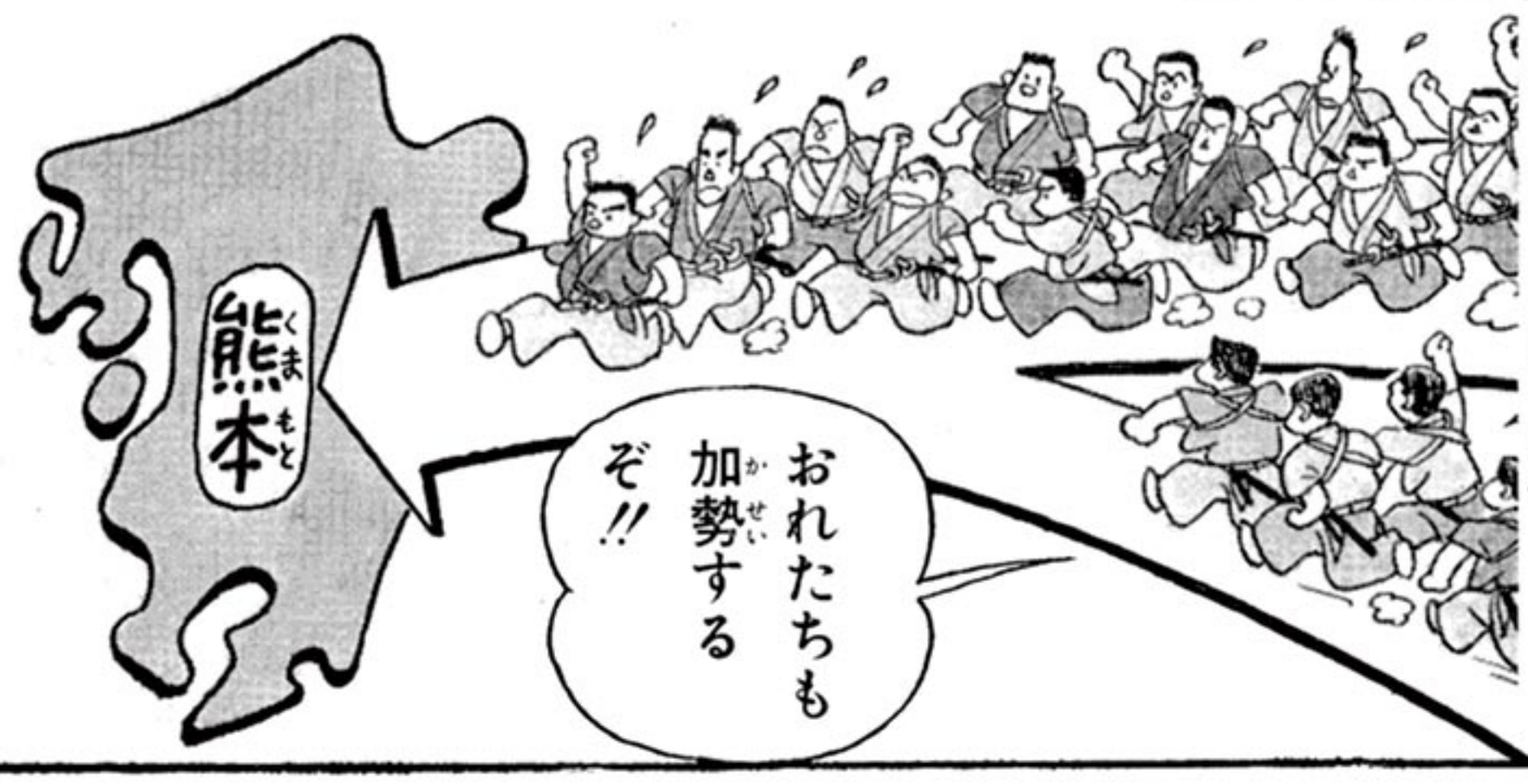
シーン

もう、何もいうことはありもうさん…。

わたしの体は、きみたちにあずけもうそう!

二月十五日、西郷はついに、一万二千の士族をひきいて出発しました。

この知らせを聞いて、九州各地から、西郷軍のもとに士族がぞくぞくとあつまってきました。その後に全国からあつまった者をふくめて、西郷軍は最大四万人に、たつしました。



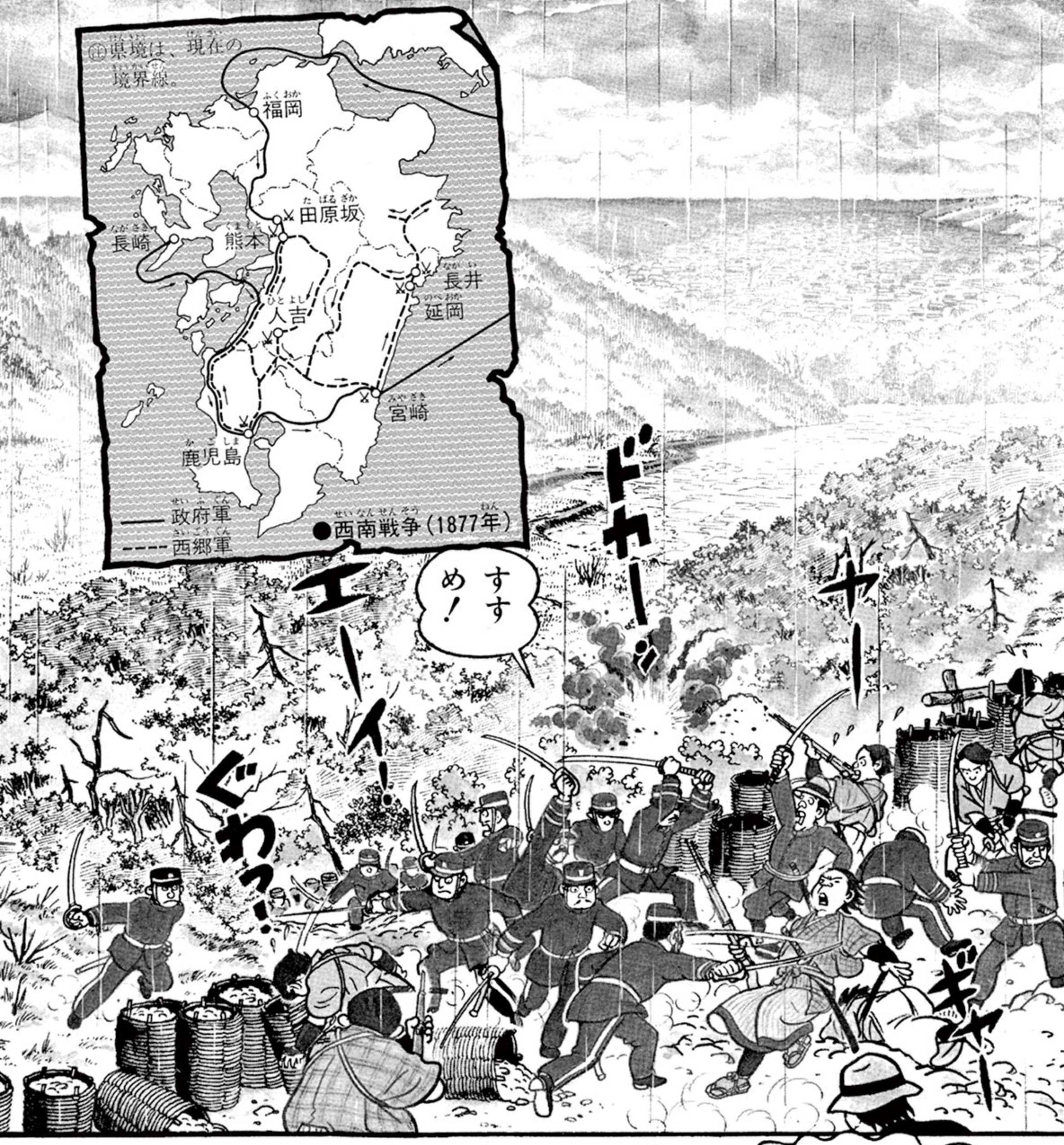
熊本城の攻防がはじまりました。

熊本城は、なかなかおちませんでした。鹿児島の士族の反乱を予期して、城ではたくさんの弾薬や食糧をたくわえていたからです。やがて、大阪などから政府軍もぞくぞくとあつまり、三月、田原坂の戦いに突入しました。

ドカーン
ズズドー
ズドー
わー!?
わー!?

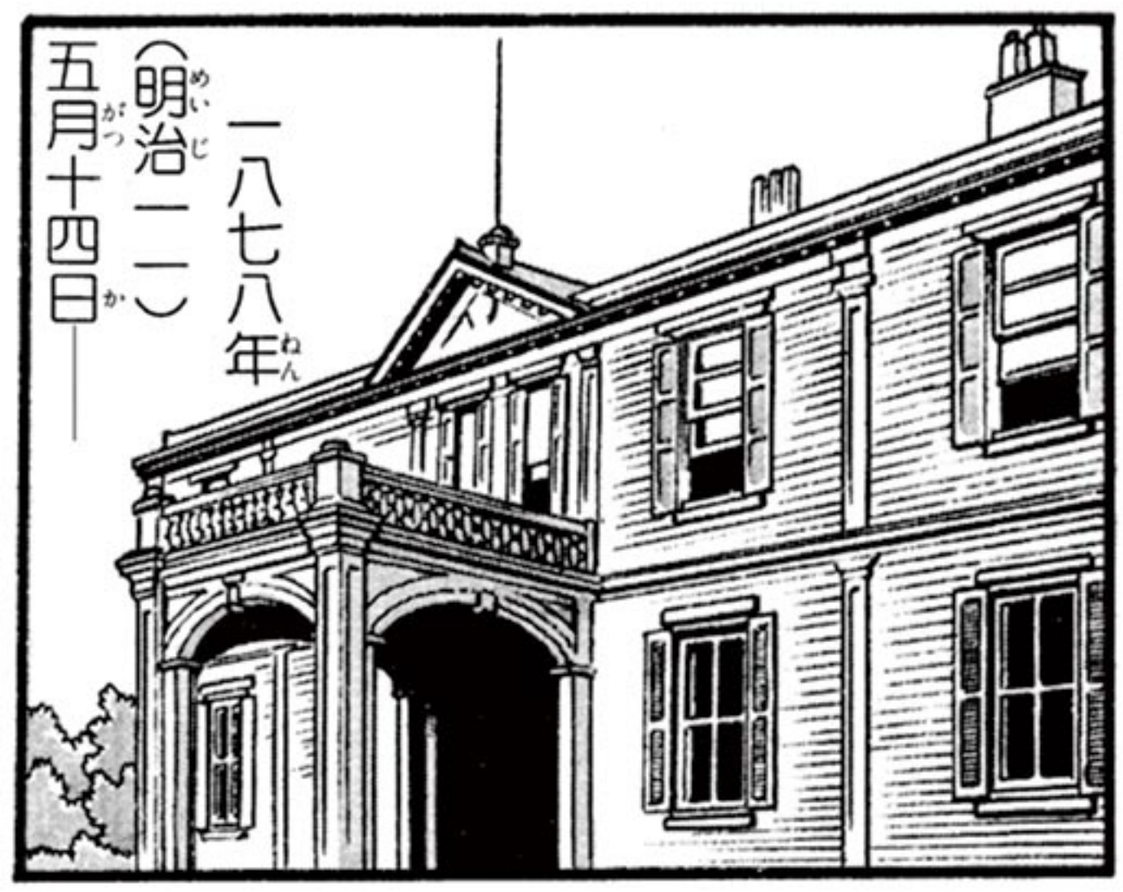
警視庁の*抜刀隊も来たぞ!

*抜刀隊…警視庁が西南戦争のため士族をあつめて編成した隊。銃を用いず、刀だけでたたかった。



田原坂の二十日間におよぶ激戦の結果、政府軍が優勢になりました。西郷軍は人吉、宮崎などを転戦しましたが、長井の戦いで大打撃をうけました。

*ゆるしゃったもんせ…「ゆるしてください。」という意味の鹿児島弁。


一八七八年
（明治一一）
五月十四日――

今までの十年は、創業と動乱の十年だった。しかし、これからの十年は建設の十年だ。そのあとの十年は、それをまもっていく十年だ。

日本をもっともっと強くしなければ……。
はい。

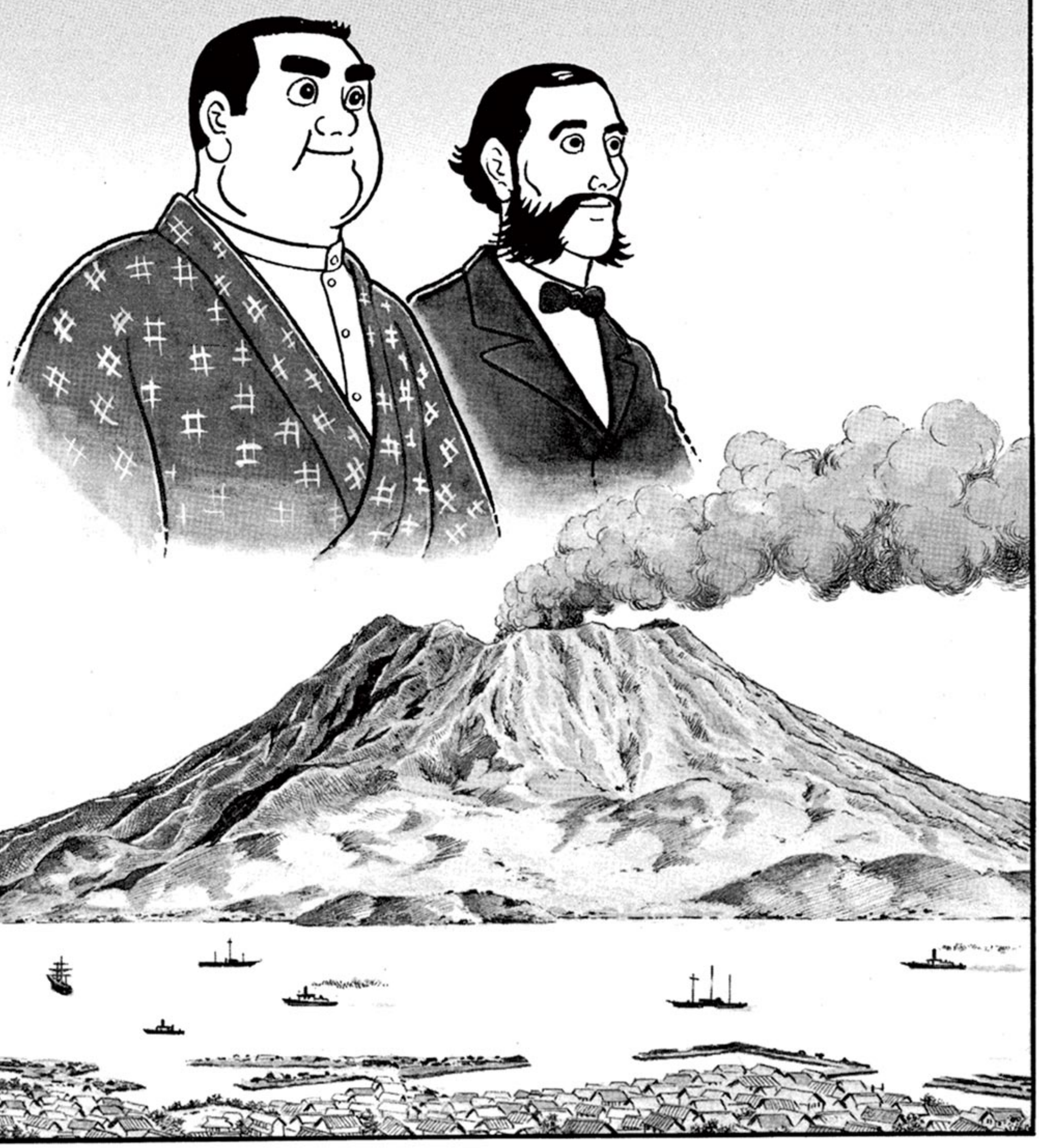
それでは、行ってくるよ。
お気をつけて。

パカ パカ
大久保、かくご！

パカ
パカ
この大久保利通暗殺事件を紀尾井坂の変といいます。

幕末から明治時代前期にかけて、わが国は近代社会への大きな方向転換をはたしました。この時代に活やくしたのが西郷隆盛や大久保利通たちだったことは、今まで見てきたとおりです。西郷と大久保に木戸孝允をくわえた三人を「維新の三傑」とよんでいます。

一八七七～一八七八年にかけて、この三人があいついでなくなり、大久保利通がいった「創業と動乱の十年」はおわりました。つづく「建設の十年」は、よりわかい人たちにうけつがれます。そして、自由民権運動、憲法の制定、国会の開設など近代国家の基礎がつくりあげられていきます。その様子は次の十八巻で見ていくことにしましょう。



小学館 eBooks

おうちの方へ

明治維新

京都教育大学名誉教授　高山博之

天皇を中心に成立した明治新政府は、五箇条の御誓文を発して新しい政治の方針を示し、国外には、開国和親を宣しました。長い間の鎖国を解いて、日本は国際社会に登場します。

明治維新は、封建社会から欧米風の近代社会への脱皮をめざす大変革でした。封建遺制を次つぎに撤廃し、欧米の近代文明を積極的に取り入れて、急速に改革が進められました。これらの過程をしっかり把握させてください。

急激な変革は民衆にとっては戸惑いでした。特権を失った武士の不満も大きくなります。こうした影の部分にも注目させたいものです。

●第1章「明治の新政府」

新政府は、天皇の権威を強く押し出し、廃藩置県によって中央集権国家の体制を確立、四民平等をスローガンに、士農工商の身分制を廃止するとともに、封建的な諸制度を次つぎに撤廃し、新しい政策をあいついで打ち出しました。その基本は「富国強兵」にあり、学制、地租改正、徴兵令などは、近代国家の体制を整える上で重要な政策でした。様々な新政策のねらいと意義をきちんととらえさせましょう。

条約改正は新政府の大きな課題の一つでしたが、岩倉一行の欧米視察の意味も重要です。また、庶民にとっての維新とは何であったか、いろいろな面から考えさせてください。

●第2章「文明開化」

明治初年からの10数年間は、いわゆる「文明開化」の時代でした。衣食や風俗をはじめ、洋風の建築、鉄道の建設、電信の開通など、西洋文化の積極的な摂取による生活の変化は、めまぐるしいほどでした。

しかし、この現象は、「日本橋の開化」といわれたように、大都市中心、上べだけの変化という皮相的な面もあり、人口の大部分を占める農村には余り関係のないものでした。

学問や思想の面では、福沢諭吉の「天は人の上に人をつくらず……」の文に関心をもたせ、封建制の下にあった人びとに、いかに新鮮な響きを与えたか、話し合ってみてください。

●第3章「北の開拓と殖産興業」

富国強兵を旗印とした明治政府は、近代産業をおこすことを急務とし、殖産興業政策を積極的に進めました。富岡製糸場に代表される官営工場が各地に設立されます。その中心は軍事関係ですが、欧米の技術や機械を導入して各種の工場を建設、民間産業育成を期しました。近代産業の発展が近代化の原動力であった点をしっかりおさえておきましょう。

政府は、北海道の開拓にも力を入れました。クラーク博士らの業績とともに、人びとの開拓の苦心を読みとらせてください。また、開拓の影には、生活の場を奪われ、差別を受けるアイヌ民族の苦痛があったことも忘れてはなりません。

●第4章「士族の反乱」

政府の新しい政策によって、士族は封建的な特権を次つぎに奪われ、大きな不満を抱くようになりました。とくに、維新の事業を担った西南日本の士族にそれが顕著でした。

一方、農民たちも地租改正や徴兵令によって新政府への期待を裏切られました。こうして、一八七六年（明治9）前後に、士族の反乱や農民一揆が各地でおこり、ついに、西南戦争という大乱がおこるのです。維新のひずみの爆発でした。

西南戦争の背景には、朝鮮派遣問題をめぐる政府の分裂があります。朝鮮派遣問題には、士族の不満を外に向けようとする意図もありました。西郷、大久保を比較して、経緯を摑ませるとよいでしょう。

児玉幸多
Kouta Kodama

歴史を漫画で説明しようというのはかなり冒険である。しかし、文字で読んでも、耳から聞いても、人それぞれに頭の中ではその光景を絵に描いているのである。それが子供たちの頭の中で全くの絵空事にならないように、今の歴史研究の段階では、このくらいのところまでは漫画にすることができるのではないかという試みがこの企画である。

それぞれの専門研究家の指導によって一巻ごとの構成を決め、作図や文章表現も考慮しているので、誤った知識を得る恐れはないと思う。そして、多分、大人が読んでも、あるいは見ても、十分に楽しみながら日本歴史の学習ができるのではないかとも考えている。遺跡の発掘、奈良の大仏の鋳造、天守閣の構築、それらの一つ一つにも、専門家の新しい研究成果が判りやすく盛りこまれているからである。楽しみながら正確な知識が得られることを願う次第である。

小学館 eBooks
学習まんが　少年少女 日本の歴史　第 17 巻　明治維新

2015 年 3 月 27 日　電子書籍版発行
監　修　児玉幸多
まんが　あおむら 純
発行人　伊藤 護
発行所　株式会社　小学館
〒101-8001
東京都千代田区一ツ橋 2-3-1
s-ebook@shogakukan.co.jp

底　本　2014 年 10 月 20 日　増補版第 22 刷発行

©SHOGAKUKAN 2015 ISBN978-4-09-298117-1

※ご注意
本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および
有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。
個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと
著作権法、その他関連法によって処罰されます。